



HP IT Executive Scorecard

ソフトウェアバージョン: 9.50
Windows®オペレーティングシステム

財務アナリスト ユーザーガイド

ドキュメントリリース日: 2014年6月 (英語版)
ソフトウェアリリース日: 2014年6月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.122の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2007-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインターフェイスが含まれています (Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.)。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかの確認には、次のサイトをご利用ください。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの取得登録は、次のWebサイトから行うことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

また、該当する製品のサポート サービスに登録しておくと、最新版を受け取ることができます。詳細については、HPの販売担当者にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsoftwaresupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアバッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

このPDF版オンラインヘルプについて

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本来、オンラインヘルプとしてWebブラウザで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこのPDF版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

目次

Financial Planning and Analysisの概要	5
ITFM_CAPコンテンツアクセラレーションパック	8
FinancialManagementコンテキスト	17
FPAコンテンツパックのアクティブ化	37
FPA関連のKPIおよびメトリック	45
ITFM財務用語 (用語集)	47
配賦管理	50
配賦シナリオ	55
配賦ステージ	68
配賦ルール	72
メトリック配賦またはExcelまたは.CSVファイルを使用した配賦	83
IT Financial Managementで使用されるKPIのカスタマイズ	86
予算管理	88
予算の作成	97
コストセンターの予算データ入力または完了マークの追加	103
統合予算	108
コストエクスプローラー	113
組織の財務パフォーマンスの表示	125
ドキュメントフィードバックの送信	127

Financial Planning and Analysisの概要

IT Financial Management (ITFM) は、透明性を提供しITファイナンスの管理を支援することで、ITファイナンスに関するよりよい意思決定を支援します。ITFMではこれを行うために、HP Asset ManagerとHP Project and Portfolio Management、および代替データソースからの計画コストと実績コストを統合、配賦して、ITによるこれらのコストの管理を支援します。

ITFMは、データ統合、データクレンジング、およびコスト情報の中央リポジトリをあらかじめ備えているため、コストと予算のデータをわかりやすいコスト情報に変換する作業の手間を大幅に削減するのに役立ちます。既製のレポートとアドホック分析により、ビジネス、会計、およびIT管理の関係者にとって有用な情報を提供します。財務管理プロセスの有効性と効率を明確に把握できるITFMの機能は、プロセスの改善で威力を発揮します。

ITFMにはITILベースの分析とダッシュボードが搭載されており、プロセスと財務のパフォーマンス傾向を表示することで、完全なビジネスインテリジェンスプラットフォームを実現します。ITFMは、計画コストと実績コストを対象とする配賦エンジン、インシデントや変更のビジネスへの金銭的影響を計算するルールエンジン、およびITの制御下での要素変更をシミュレートする最適化エンジンによって、このプラットフォームを強化します。

ITコストのさまざまなディメンションをサポートするITFMは、IT管理者、会計部門、ビジネスリーダーが必要とする情報を提供することを通じて、投資とITに関する意思決定、ITコストドライバーと予算の変動傾向の予測をサポートします。

ITFMには、配賦結果を分析するさまざまな方法が用意されています。財務アナリスト向けには、ITFMにはコストエクスプローラーと呼ばれる効率的なインターフェイスが用意されており、特定の問題についての質問にすばやく答えることができます。ビジネスユーザーやITマネジメント向けには、ITFMは組織やビジネスサービスといった団体に関する重要な財務データを表示する設定済みの分析を用意しています。ITFMにはまた、注意を必要とするIT財務分野をユーザーが容易に見つけられるダッシュボードも用意されています。

アクセス方法:

次のいずれかを行います。

- [配賦管理]、[予算管理]、[コストエクスプローラー]の各カテゴリにアクセスするには、[財務]タブをクリックします。
- すべてのタブを閉じてダッシュボードを表示し、関連ページを選択します。

詳細情報

タスク

🔍 詳細情報

特長

ITFMには以下の特長があります。

- コストドライバーと計画との差異を高速に分析できます。
- IT財務アナリスト向けの専用分析インターフェイスにより、計画コストと実績コストの複数ディメンション分析をサポートします。
- ITの財務パフォーマンスの標準的なビューを提供するビジネス向けの分析が用意されています。

コンポーネント

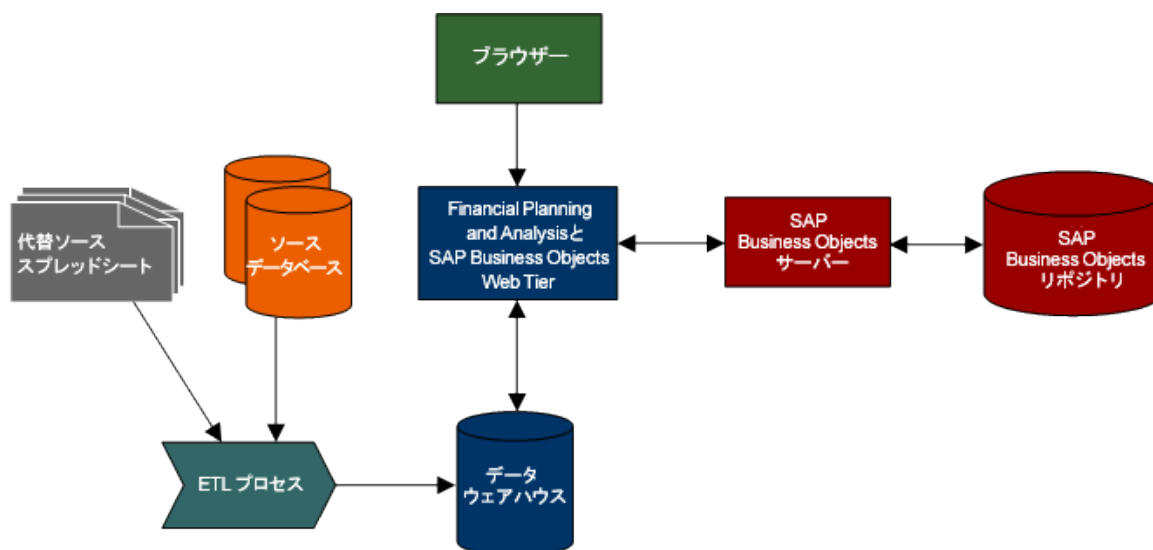
次に、IT Financial Managementコンポーネントを示します。

- **配賦管理:** 複数の仮定の配賦シナリオを作成し、その結果を使用して予算の各バージョンを実績コストおよび予算目標と比較できます。配賦ツールを使用して、コストと予算のデータから有益なコスト情報を引き出すシナリオを作成します。このコンポーネントは、コストをビジネスにとって意味のある分野に関連付けることにより、情報を強化します。
- **予算管理:** ITFMの予算作成機能を使用することによって、IT財務マネージャーは、コストセンターのコストカテゴリごとの予算を、さまざまなタイムフレームに関してさまざまな粒度で作成できます。
- **コストエクプローラー:** ITFMのコストエクプローラーを使用することで、IT財務およびコストアナリストは、組織、ビジネスサービス、アプリケーション、プログラム、プロジェクト、コストセンター、コストカテゴリ、およびその他のディメンションごとのコストの差異をシステムティックに調査できます。データを複数のディメンションに切り分けてフィルターすることにより、アナリストは、コストを左右する要因、計画との差異が最も大きい場所、および差異が発生した理由に関する新しい洞察を得ることができます。
- **ダッシュボードページとレポート:** ITエグゼクティブは、ダッシュボードページとレポートを使用することにより、IT全体のパフォーマンスの計画データと実績データを、顧客別、IT組織別、サービス別、プログラム別に確認します。ITエグゼクティブはまた、最も差異が大きい分野を特定して、マネジメントに注意を向けさせることができます。さらにWeb Intelligence分析により、パフォーマンスの計画データと実績データの最新情報を毎日確認できます。ユーザーは、必要に応じて、組織固有のコスト分析ニーズをサポートするように設定済みの分析を修正できます。また、使用頻度の低いコストデータ分析には、アドホック分析を活用できます。この場合も、すべてのユーザーで一貫したデータを元に分析が行われます。
- **HP Asset Manager (AM) ソフトウェア、HP Project and Portfolio Management (PPM) ソフトウェアとの統合:** AMおよびPPMとの統合により、コストデータの収集が効率的になります。統合プロセスにより常に最新のデータが得られます。

アーキテクチャー

IT Financial Management の内部コンポーネントを使用すると、データ駆動のシナリオを定義することにより、ビジネス意思決定の結果を予測することができます。このソフトウェアはSAP® Business Objectsを使用しています。これは企業向けのビジネスインテリジェンスソリューションであり、IT Financial Management と直接にやりとりをして、データをレポートにまとめたり、マネジメントダッシュボードに表示したりします。

SAP® BusinessObjects Data ServicesはExtract, Transform, and Load (ETL) ツールであり、データソースからデータを抽出してデータウェアハウスに格納する役割を果たします。



配賦エンジン

配賦エンジンは、IT Financial Management Webアプリケーションと通信するプロセスです。ステージまたはルールに変更が加えられた場合に、配賦のステータス情報を提供します。コストを選択し、関係を更新して、データモデルにコストを配分します。

財務アナリストは、配賦シナリオ、ステージ、ルールを使用して計画コストと実績コストを比較し、その結果からコストと予算を適切に管理できます。

タスク

はじめに

データウェアハウスにより、IT Financial Managementアプリケーションは、HP Asset Manager、HP Project and Portfolio Management、HP Business Service Management、HP Service Managerデータソースからデータを取得できます。

IT Financial Managementの使用を開始する方法：

1. IT Financial Managementの能力と機能について学びます。
2. ライセンスを使用してアプリケーションのインストールと構成を行います。詳細については、『IT Executive Scorecardリリースノート』を参照してください。
3. 役割と権限を設定します。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のユーザーと役割を参照してください。
4. データのExcelファイルを作成し、FPAコンテンツパックをアクティブ化します。詳細については、「FPAコンテンツパックのアクティブ化」(37ページ)を参照してください。

5. FPAコンテンツアクセラレーションパック (CAP) をアップロードします。

FPA CAPの詳細については、「[ITFM_CAPコンテンツアクセラレーションパック](#)」(8ページ)を参照してください。

CAPのアップロードの詳細については、『Content Acceleration Packs Guide』の[Upload a CAP to the Executive Scorecard application](#)を参照してください。FPA CAPのZIPファイルは、インストール時に次の該当フォルダーに格納されます。

```
..\HPXS\agora\glassfish\glassfish\domains\btoa\config\cap\import\languages\<言語コード>
```

6. 実績コストの配賦と計画コストの配賦に関する前提を理解します。
7. 配賦管理では、計画コストと実績コストの配賦シナリオを作成し、ルールを使用することでさまざまなコスト情報を提供します。詳細については、「[配賦管理](#)」(50ページ)を参照してください。
8. 配賦シナリオをコストエクスプローラーに転送して複数ディメンションによるコスト比較分析を行い、分析の変更とシナリオ実行を行います。詳細については、「[コストエクスプローラー](#)」(113ページ)を参照してください。
9. 予算管理では、組織の予算の転送と最終確定を行います。詳細については、「[予算管理](#)」(88ページ)を参照してください。
10. 組織の財務パフォーマンスを表示します。詳細については、「[組織の財務パフォーマンスの表示](#)」(125ページ)を参照してください。

ITFM_CAPコンテンツアクセラレーションパック

ITFM_CAPコンテンツアクセラレーションパック (CAP) の目的は、一連の項目 (ダッシュボードページ、スコアカード、コンテキスト、KPIなど) を提供し、これにより組織全体から情報を自動的に収集してFPA関連の問題に関連する重要業績評価指標 (KPI) を作成することです。

詳細情報

タスク

詳細情報

コンテンツアクセラレーションパック (CAP) とは

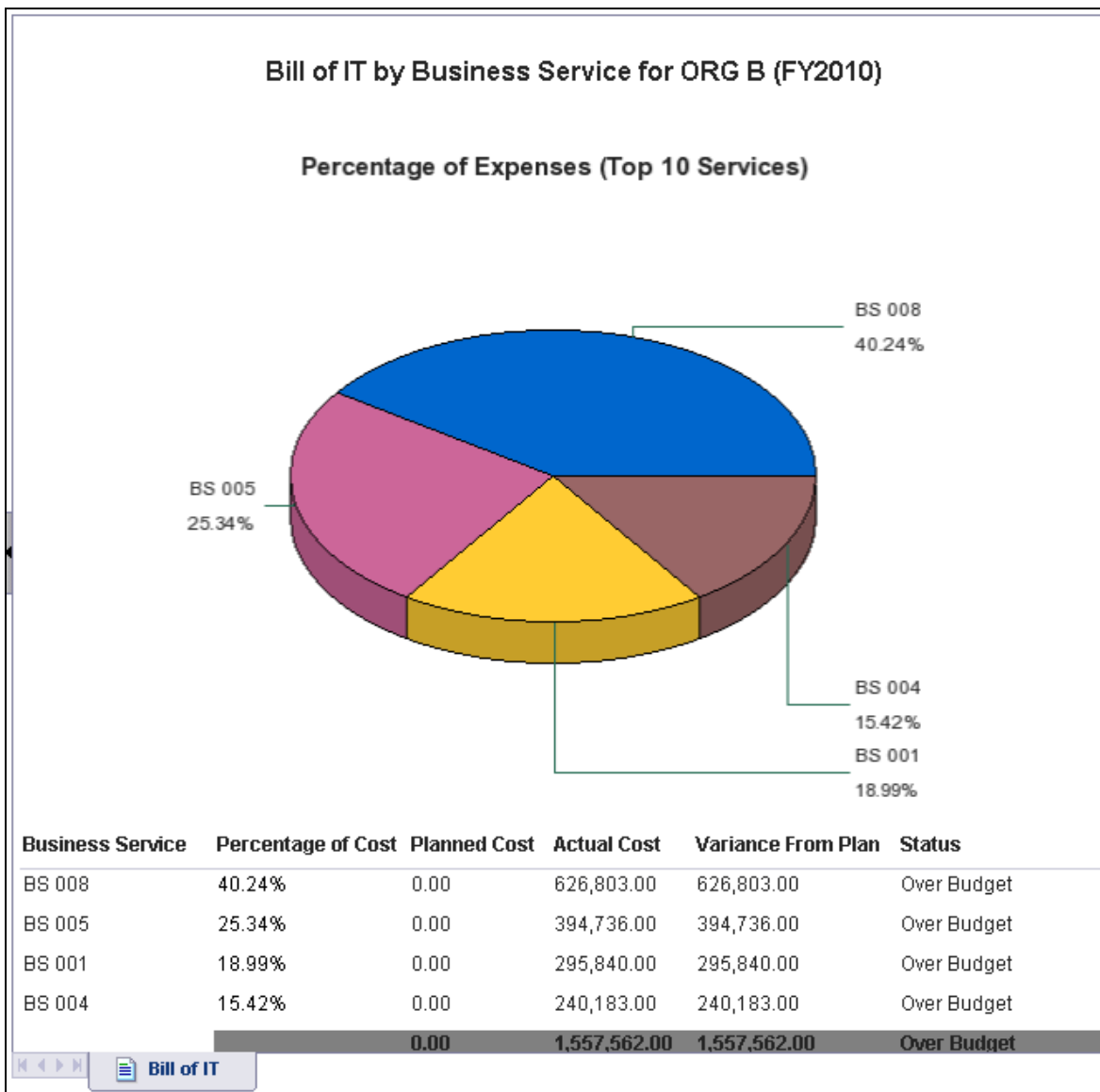
コンテンツアクセラレーションパック (CAP) は、スコアカードとコンポーネント、KPI、メトリック、コンテキスト (ユニバース)、データ (.CSVファイルまたはデータソース)、CAPのドキュメントを表示するダッシュボードページが収録されたパッケージであり、インポート可能です。

CAPでは、IT組織の業績向上とコスト削減を実現するためのツールとしてExecutive Scorecardを実装する方法を参照できます。

また、Executive Scorecardの機能の内容や、基本要素を追加してダッシュボードをカスタマイズする方法も参照できます。

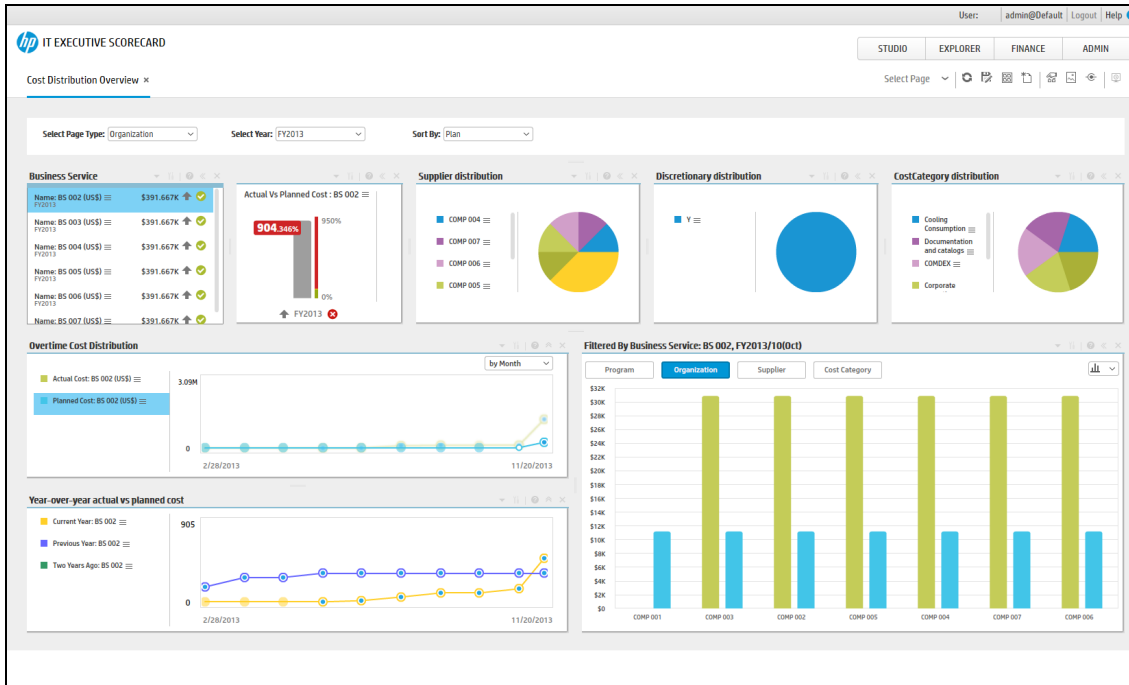
ページ

[IT一覧] ページ



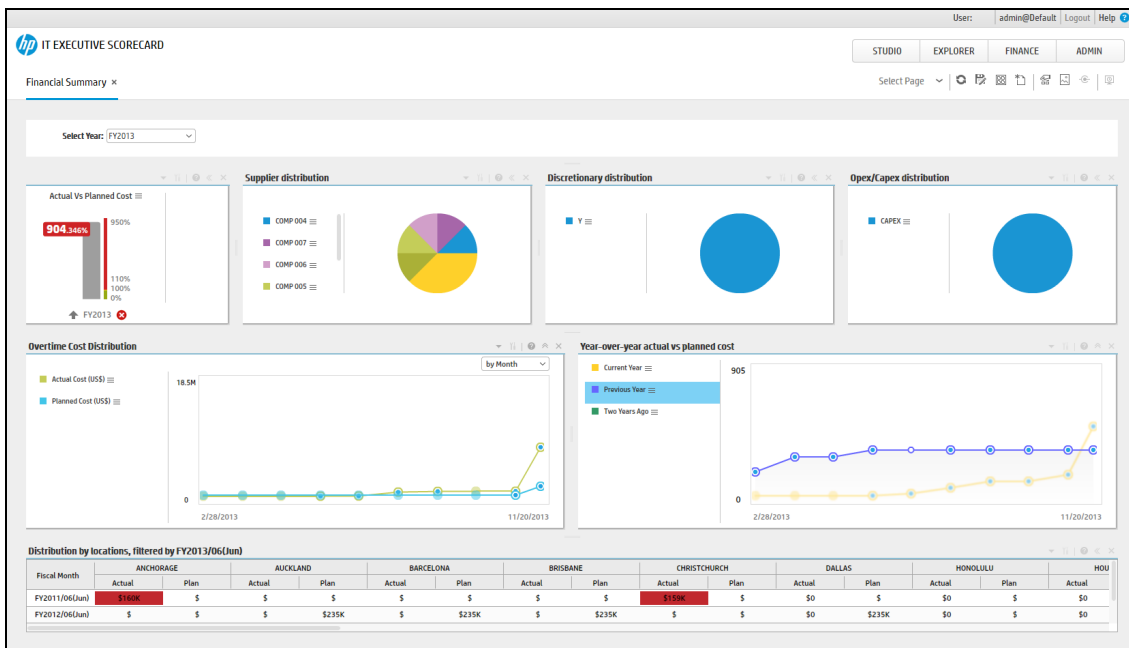
詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』のBill of ITを参照してください。

[コスト配分の概要] ページ



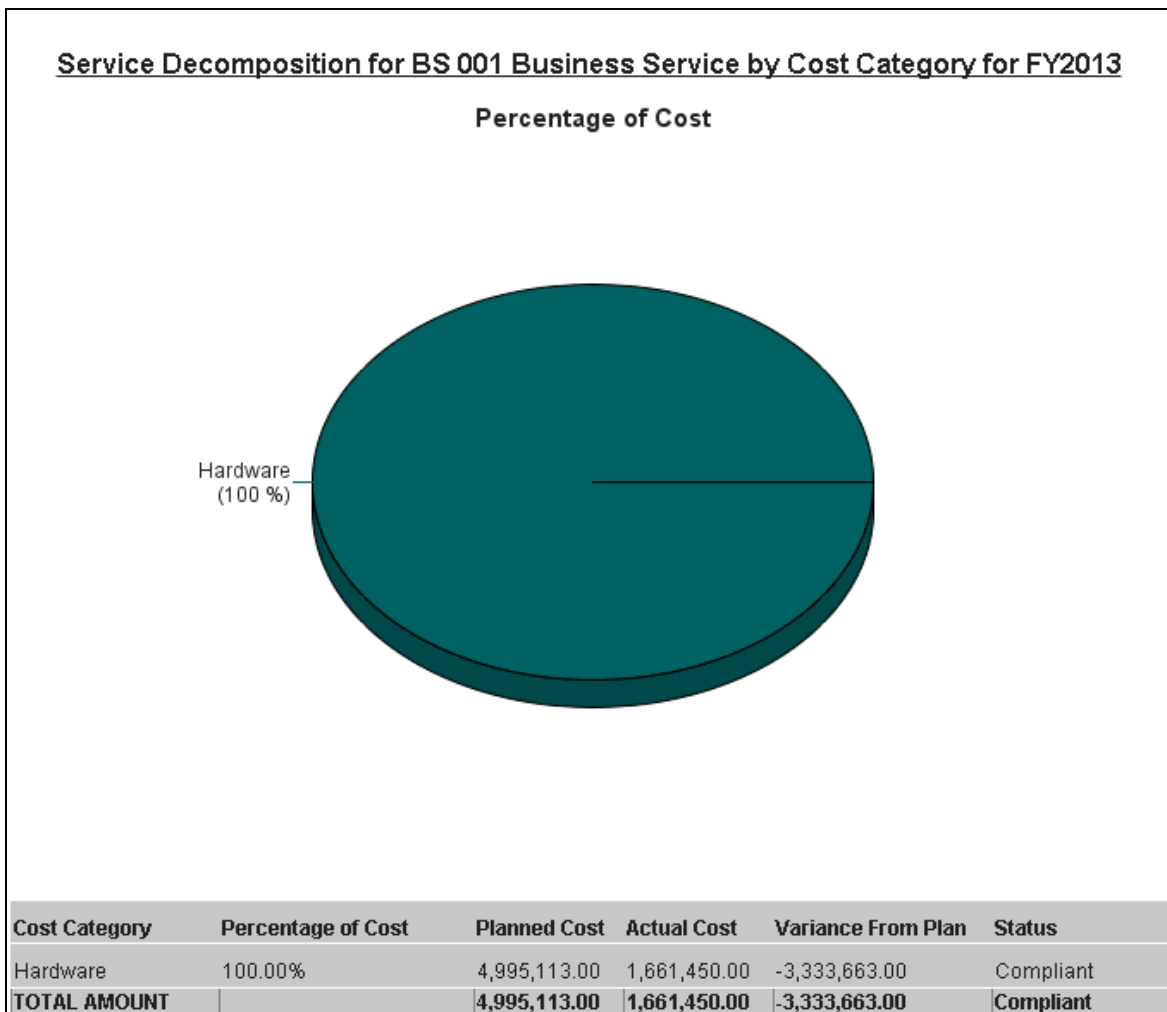
詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost Distribution Overview Page](#)を参照してください。

[財務の概要] ページ



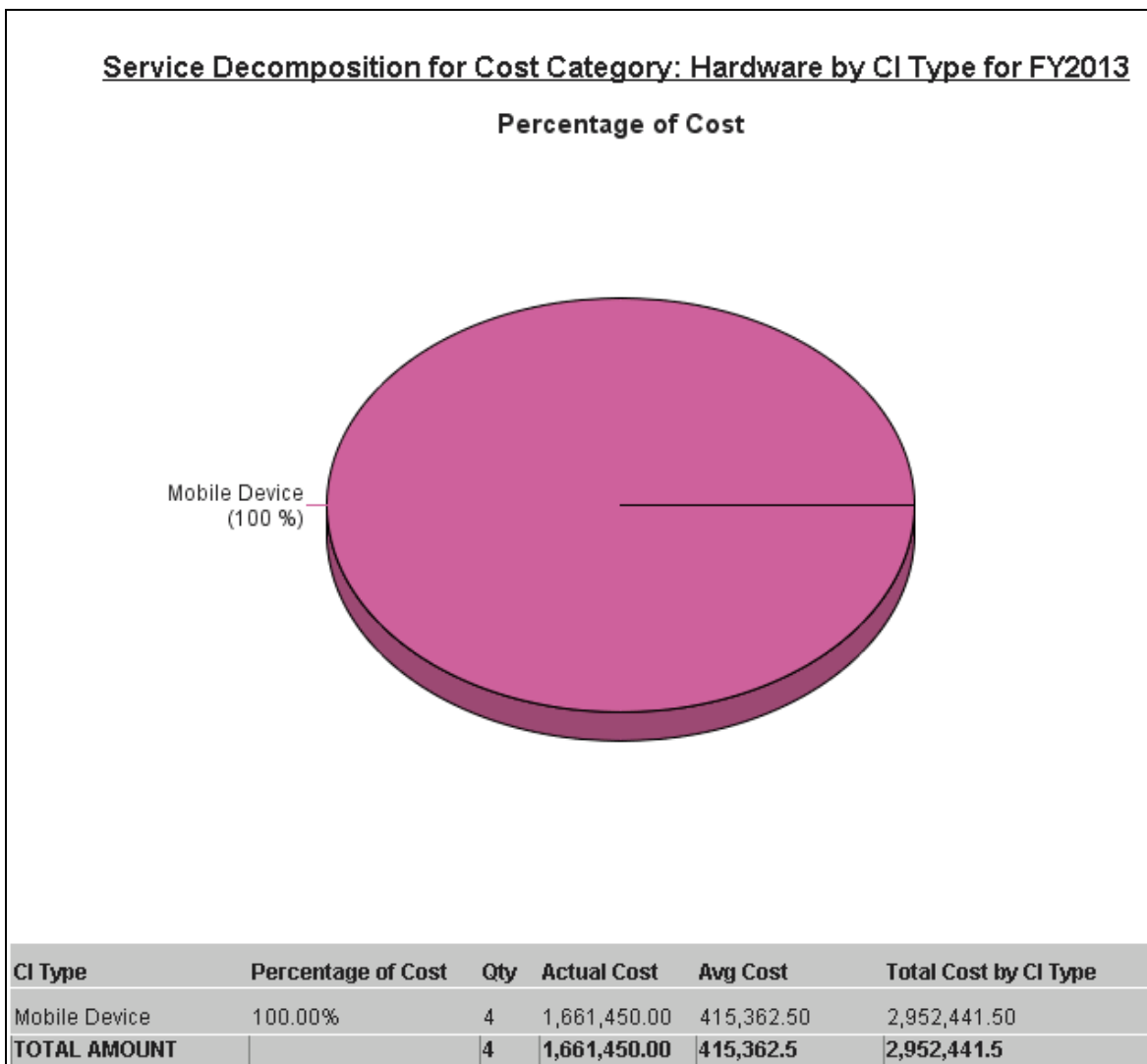
詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Financial Summary Page](#)を参照してください。

コストカテゴリ別のサービスコストページ



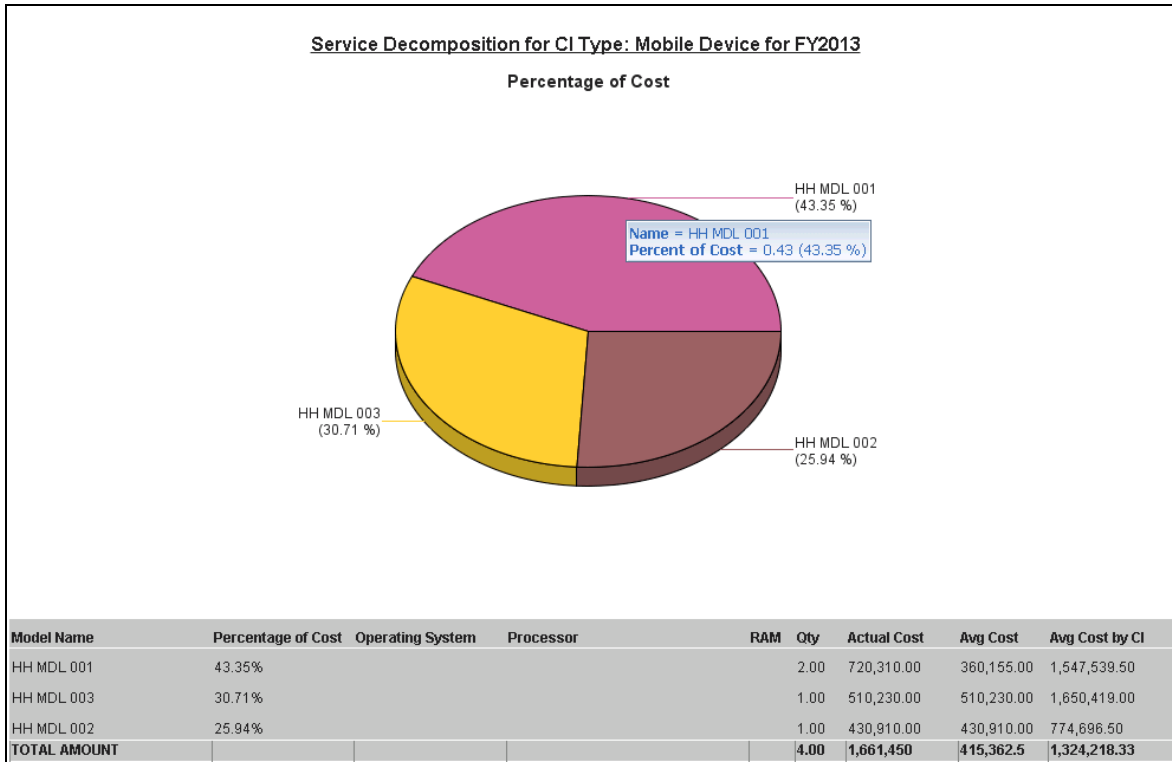
詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service Cost Categories Page](#)を参照してください。

CIタイプ別のサービスコストページ



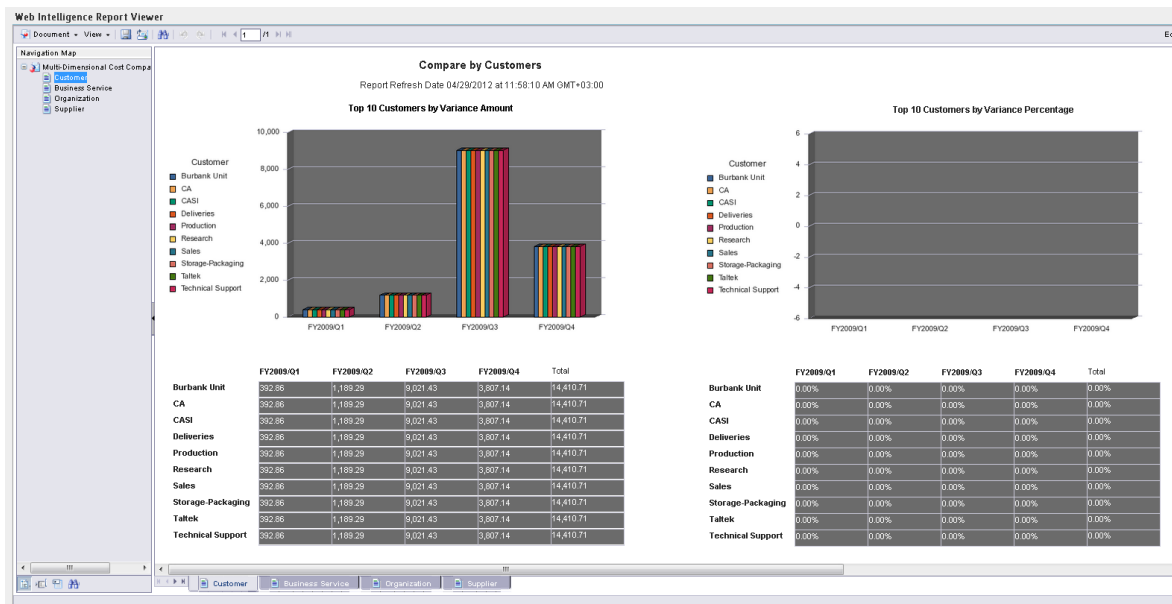
詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service CI Types Page](#)を参照してください。

CIタイプモデル別のサービスコストページ



詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service CI Types Models Page](#)を参照してください。

複数ディメンションによるコスト比較分析レポート



詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Multi-Dimensional Cost Comparison Analysis Report](#)を参照してください。

スコアカード

- Financial Planning and Analysis

設定済みビジネスコンテキスト

- Financial Management
(「[Financial Management コンテキスト](#)」(17ページ))

KPI

- 実績コスト (月別)([実績コストKPI](#)に基づく)
- 実績コスト (四半期別)([実績コストKPI](#)に基づく)
- 実績コスト対計画コスト ([実績コスト対計画コストKPI](#)に基づく)
- 2年間の実績コストと計画コストの比率 (四半期別)([実績コストKPI](#)に基づく)
- 今年度の実績コストと計画コストの比率 (四半期別)([実績コストKPI](#)に基づく)
- 前年度の実績コストと計画コストの比率 (四半期別)([実績コストKPI](#)に基づく)
- 利用可能なコスト ([利用可能なコストKPI](#)に基づく)
- コスト (場所別)([月単位のコスト \(場所別\) KPI](#)に基づく)
- コスト (場所別)([四半期単位のコスト \(場所別\) KPI](#)に基づく)
- コスト (ディメンション別)([コスト \(ディメンション\) 別 KPI](#)に基づく)
- 計画コスト (月別)([計画コストKPI](#)に基づく)
- 計画コスト (四半期別)([計画コストKPI](#)に基づく)
- 計画コスト (年別)([計画コスト \(年別\) KPI](#)に基づく)
- 2年間の実績コストと年次計画コストの比率 (%) ([プロジェクトの計画コストに対する実績コストの割合 \(%\) KPI](#)に基づく)
- 今年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%) ([プロジェクトの計画コストに対する実績コストの割合 \(%\) KPI](#)に基づく)
- 前年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%) ([プロジェクトの計画コストに対する実績コストの割合 \(%\) KPI](#)に基づく)

データファイル(CSVテーブル)

CSVテーブルはありません。

構造

スコアカード: Financial Planning and Analysis

- パースペクティブ: 財務ビュー

- 目標: 月ごとの資産コストの把握

- KPI: 実績コスト (月別)
- KPI: 計画コスト (月別)
- KPI: 今年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: 前年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: 2年前の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: コスト (場所別)

- 目標: 四半期ごとの資産コストの把握

- KPI: 計画コスト (四半期別)
- KPI: 実績コスト (四半期別)
- KPI: 今年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: 前年度の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: 2年前の実績コストと年次計画コストの比率 (%)
- KPI: コスト (場所別)

- 目標: 年次財務レポート

- KPI: 実績コスト対計画コスト
- KPI: 使用可能なコスト
- KPI: コスト (ディメンション別)
- KPI: 計画コスト (年別)

タスク

本項の内容


[「コンテンツアクセラレーションパックのアップロードおよび管理」\(17ページ\)](#)

[「CAP関連のダッシュボードページの表示」\(17ページ\)](#)

コンテンツアクセラレーションパックのアップロードおよび管理

詳細については、『Content Acceleration Packs Guide』の[Content Acceleration Pack](#)を参照してください。

CAP関連のダッシュボードページの表示

1. Executive Scorecardアプリケーションで、すべてのタブを閉じます。ダッシュボードが表示されます。
2. ダッシュボードでCAPページに対応するタブをクリックします (詳細については、「[ページ」\(10ページ\)](#)を参照)。表示されない場合は、ダッシュボードツールバーの[ページギャラリー]  ボタンをクリックし、関連するページのアイコンをダブルクリックして、[ページギャラリー] ダイアログボックスを閉じます。

Financial Managementコンテキスト

IT財務管理は、ITインフラストラクチャーを費用効果の高い価格 (必ずしも最低価格ではありません) で取得し、ITサービスの提供にかかるコストを計算することによって、組織内でのITサービスコストの理解を促します。このコストは、サービスの顧客から回収されます。

HP Project and Portfolio Managementは、このコンテキスト (ユニバース) によって使用されるデータソースです。

次のユニバースには、Financial Managementに関連する属性とクラスが含まれます。

アクセス方法:

Executive Scorecardで、[管理] > [セマンティックレイヤー] > [セマンティックレイヤー] をクリックします。[コンテキスト管理] ページで、[コンテキストデザイナーの起動] をクリックします。[コンテキストデザイナー] ページで [既存のコンテキストを開く] をクリックし、コンテキストを選択します。

詳細情報

タスク

リファレンス

詳細情報

HP Project and Portfolio Managementとの統合

HP Project and Portfolio Managementとの統合により、財務管理コンテキストをベースにしたKPIを使用できます。このKPIをダッシュボードページのコンポーネントで使用することにより、会社の財務管理に役立てることができます。KPIの詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Project and Portfolio Management』の[PPM Data Source - Integration, Associated Contexts, KPIs, Metrics, and Data Lineage](#)を参照してください。

また、財務管理コンテキストをベースにした配賦とコストも使用できます。詳細については、『IT Executive Scorecard財務アナリストユーザーガイド』の「[配賦管理](#)」(50ページ)と「[コストエクスプローラー](#)」(113ページ)を参照してください。

[財務] タブでは、既定のディメンションを使用して、配賦とコストを作成できます。また、ディメンションをFinancialManagementコンテキストに追加し、ディメンションを元に配賦とコストを作成することもできます。財務環境のニーズに合わせて、既存のディメンションの名前を変更することも可能です。詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Project and Portfolio Management』の「[FinancialManagementコンテキスト](#)」(17ページ)を参照してください。

タスク

本項の内容

[「コンテキストの表示」](#) (18ページ)

[「FinancialManagementコンテキスト」](#) (17ページ)

コンテキストの表示

1. Executive Scorecardで、[管理] > [セマンティックレイヤー] > [セマンティックレイヤー] をクリックします。
[コンテキスト管理] ページが開きます。
2. 設定済みコンテキストのリストが表示されます。
3. [コンテキストデザイナーの起動] をクリックします。
4. コンテキストデザイナー ページで、[既存のコンテキストを開く] をクリックします。
5. 適切なコンテキストを選択します。

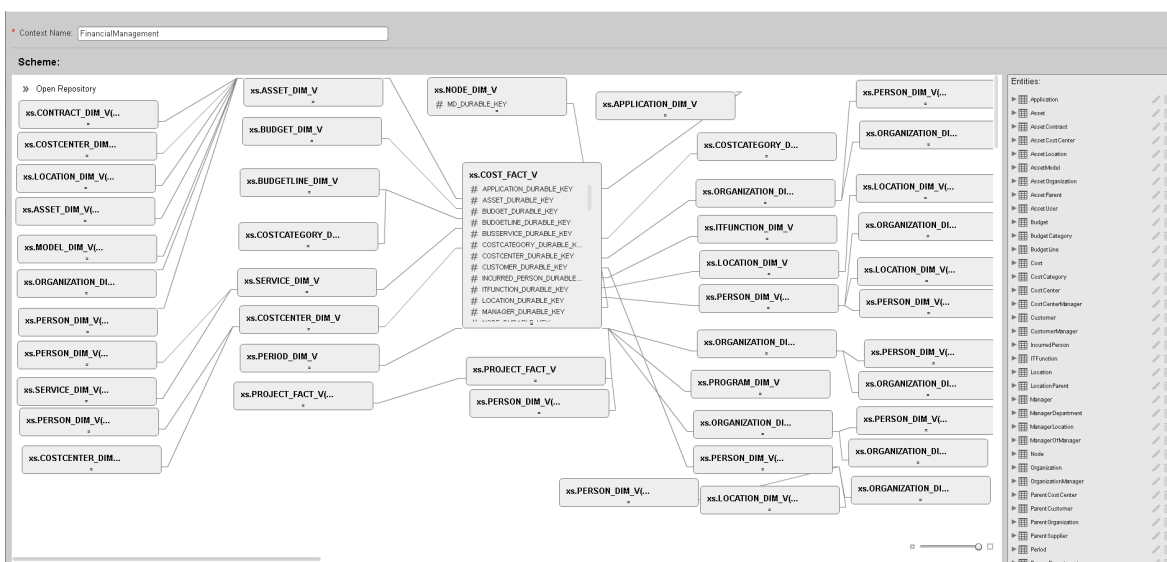
コンテキストの構造が表示されます。

コンテキストデザイナーの詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』の[Semantic Layer - Context Designer](#)を参照してください。

リファレンス

コンテキストテーブルと構造

コンテキストには、次のテーブルと関係が含まれます。



統計

エンティティカウント	フィールドカウント	テーブルカウント	エイリアスカウント	結合カウント
18	125	18	2	17

モデル構造

コンテキストの一部としてオブジェクトを選択していない状態でも、テーブルではモデルに含まれるビューとフィールドがすべて表示されます。

テーブル名	名前	タイプ
XS.APPLICATION_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.APPLICATION_DIM_V	Name	nvarchar
XS.ASSET_FACT_V	COSTCENTER_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	INSTALLED_PERIOD_DURABLE_KEY	numeric

テーブル名	名前	タイプ
XS.ASSET_FACT_V	LOCATION_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	MAINT_CONTRACT_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	MODEL_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	Name	nvarchar
XS.ASSET_FACT_V	ORG_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	PURCH_DELV_PERIOD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	PURCH_ORD_PERIOD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	PURCH_REQ_PERIOD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	RETIRED_PERIOD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	SERVICE_DURABLE_KEY	numeric
XS.ASSET_FACT_V	STATUS	nvarchar
XS.ASSET_FACT_V	Type	nvarchar
XS.ASSET_FACT_V	USER_DURABLE_KEY	numeric
XS.BUDGET_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.BUDGET_DIM_V	Name	nvarchar
XS.BUDGETLINE_DIM_V	BUDGETCATEGORY_DURABLE_KEY	numeric
XS.BUDGETLINE_DIM_V	BUDGET_DURABLE_KEY	numeric
XS.BUDGETLINE_DIM_V	ExpenseType	varchar
XS.BUDGETLINE_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.BUDGETLINE_DIM_V	Name	nvarchar

テーブル名	名前	タイプ
XS.COSTCATEGORY_DIM_V	CostCategoryCode	nvarchar
XS.COSTCATEGORY_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.COSTCATEGORY_DIM_V	Name	nvarchar
XS.COSTCENTER_DIM_V	End_Date	datetime
XS.COSTCENTER_DIM_V	GL_CODE	nvarchar
XS.COSTCENTER_DIM_V	MANAGER_DURABLE_KEY	numeric
XS.COSTCENTER_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.COSTCENTER_DIM_V	Name	nvarchar
XS.COSTCENTER_DIM_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.COSTCENTER_DIM_V	Start_Date	datetime
XS.COST_FACT_V	Amount	float
XS.COST_FACT_V	APPLICATION_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	BUDGET_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	BUDGETLINE_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	BUSSERVICE_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	ASSET_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	CONTRACT_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	COSTCATEGORY_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	COSTCENTER_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	CostType	varchar
XS.COST_FACT_V	CUSTOMER_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	EXCHANGE_BASE_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	EXCHANGE_LOC_DURABLE_KEY	numeric

テーブル名	名前	タイプ
XS.COST_FACT_V	ExpenseType	varchar
XS.COST_FACT_V	INCURRED_PERSON_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	IsDiscretionary	varchar
XS.COST_FACT_V	ITFUNCTION_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	LOCATION_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	MANAGER_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	ORG_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	PERIOD_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	PROGRAM_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	PROJECT_DURABLE_KEY	numeric
XS.COST_FACT_V	SUPPLIER_DURABLE_KEY	numeric
XS.ITFUNCTION_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ITFUNCTION_DIM_V	Name	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	Country_Or_Area	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	Locality	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.LOCATION_DIM_V	Name	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.LOCATION_DIM_V	POSTAL_CODE	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	Region	nvarchar
XS.LOCATION_DIM_V	Type	nvarchar
XS.MODEL_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.MODEL_DIM_V	MEMORY	numeric

テーブル名	名前	タイプ
XS.MODEL_DIM_V	Name	nvarchar
XS.MODEL_DIM_V	NameAlt	nvarchar
XS.MODEL_DIM_V	OS	nvarchar
XS.MODEL_DIM_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.MODEL_DIM_V	PROCESSOR	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL0	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL1	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL2	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL3	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL4	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL5	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL6	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL7	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL8	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	LEVEL9	nvarchar
XS.ORGANIZATION_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.ORGANIZATION_DIM_V	Name	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	Day	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	DESCRIPTION	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	DISPLAY_LABEL	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	END_DATE	datetime
XS.PERIOD_DIM_V	FINANCIAL_USAGE	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric

テーブル名	名前	タイプ
XS.PERIOD_DIM_V	Month	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	NAME	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	PERIODICITY	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	PERIOD_NUMBER	numeric
XS.PERIOD_DIM_V	Quarter	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	START_DATE	datetime
XS.PERIOD_DIM_V	Week	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	Year	nvarchar
XS.PERIOD_DIM_V	Year_Number	numeric
XS.PERSON_DIM_V	DATE_END_LOC	datetime
XS.PERSON_DIM_V	DATE_START_LOC	datetime
XS.PERSON_DIM_V	DEPT_DURABLE_KEY	numeric
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL0	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL1	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL2	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL3	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL4	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL5	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL6	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL7	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL8	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LEVEL9	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	LOCATION_DURABLE_KEY	numeric

テーブル名	名前	タイプ
XS.PERSON_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.PERSON_DIM_V	Name	nvarchar
XS.PERSON_DIM_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROGRAM_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROGRAM_DIM_V	Name	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	ACTIVE_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Approval_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	DESCRIPTION	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	End_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	FLAG_ACTIVE	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	FLAG_COMPLETED	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	GREEN_HEALTH_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	HAS_OBJECTIVE_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	HEALTH_INDICATOR	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	IN_CONTROL_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Initiation_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	Level0	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level1	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level2	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level3	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level4	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level5	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level6	nvarchar

テーブル名	名前	タイプ
XS.PROJECT_FACT_V	Level7	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level8	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Level9	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	LOCATION_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Name	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	ON_TIME_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	ORG_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	PARENT_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Planned_End_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	Planned_Start_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	Project_Class	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	Project_Group	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	PROJECT_MGR_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	PROJECT_OBJECTIVE_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	RED_HEALTH_INDICATOR	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	RISK_RATING	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Rollout_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	SERVICE_DURABLE_KEY	numeric
XS.PROJECT_FACT_V	Start_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	STATUS	nvarchar
XS.PROJECT_FACT_V	TOT_PLANNED_EFFORT	float

テーブル名	名前	タイプ
XS.PROJECT_FACT_V	TOT_REMAINING_EFFORT	float
XS.PROJECT_FACT_V	Work_Plan_Created_Date	datetime
XS.PROJECT_FACT_V	YELLOW_HEALTH_INDICATOR	numeric
XS.SERVICE_DIM_V	BusinessCriticality	numeric
XS.SERVICE_DIM_V	Description	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	DisplayLabel	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level0	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level1	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level2	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level3	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level4	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level5	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level6	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level7	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level8	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Level9	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	MANAGER_DURABLE_KEY	numeric
XS.SERVICE_DIM_V	MD_DURABLE_KEY	numeric
XS.SERVICE_DIM_V	Name	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	State	nvarchar
XS.SERVICE_DIM_V	Type	nvarchar

オブジェクトリスト

テーブルには、コンテキストの一部として選択されているモデルのエンティティとフィールドがすべて表示されます。

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Application	Name	XS.APPLICATION_DIM_V		Name	STRING
Asset	Name	XS.ASSET_FACT_V		Name	STRING
Asset	Status	XS.ASSET_FACT_V		STATUS	STRING
Asset	Type	XS.ASSET_FACT_V		Type	STRING
Budget	Name	XS.BUDGET_DIM_V		Name	STRING
BudgetLine	Name	XS.BUDGETLINE_DIM_V		Name	STRING
Cost	Amount	XS.COST_FACT_V		Amount	NUMERIC
Cost	CostType	XS.COST_FACT_V		CostType	STRING
Cost	ExpenseType	XS.COST_FACT_V		ExpenseType	STRING
Cost	IsDiscretionary	XS.COST_FACT_V		IsDiscretionary	STRING
CostCategory	CostCategoryCode	XS.COSTCATEGORY_DIM_V		CostCategoryCode	STRING
CostCategory	Name	XS.COSTCATEGORY_DIM_V		Name	STRING
CostCenter	Name	XS.COSTCENTER_DIM_V		Name	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Customer	Level0	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL0	STRING
Customer	Level1	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL1	STRING
Customer	Level2	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL2	STRING
Customer	Level3	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL3	STRING
Customer	Level4	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL4	STRING
Customer	Level5	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL5	STRING
Customer	Level6	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL6	STRING
Customer	Level7	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL7	STRING
Customer	Level8	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL8	STRING
Customer	Level9	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	LEVEL9	STRING
Customer	Name	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_CUSTOMER_DIM	Name	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
ITFunction	Name	XS.ITFUNCTION_DIM_V		Name	STRING
Location	Name	XS.LOCATION_DIM_V		Name	STRING
Manager	Level0	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL0	STRING
Manager	Level1	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL1	STRING
Manager	Level2	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL2	STRING
Manager	Level3	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL3	STRING
Manager	Level4	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL4	STRING
Manager	Level5	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL5	STRING
Manager	Level6	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL6	STRING
Manager	Level7	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL7	STRING
Manager	Level8	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL8	STRING
Manager	Level9	XS.PERSON_DIM_V		LEVEL9	STRING
Manager	Name	XS.PERSON_DIM_V		Name	STRING
Model	Memory	XS.MODEL_DIM_V		MEMORY	NUMERIC
Model	Name	XS.MODEL_DIM_V		Name	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Model	OS	XS.MODEL_DIM_V		OS	STRING
Model	Processor	XS.MODEL_DIM_V		PROCESSOR	STRING
Organization	Level0	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL0	STRING
Organization	Level1	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL1	STRING
Organization	Level2	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL2	STRING
Organization	Level3	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL3	STRING
Organization	Level4	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL4	STRING
Organization	Level5	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL5	STRING
Organization	Level6	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL6	STRING
Organization	Level7	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL7	STRING
Organization	Level8	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL8	STRING
Organization	Level9	XS.ORGANIZATION_DIM_V		LEVEL9	STRING
Organization	Name	XS.ORGANIZATION_DIM_V		Name	STRING
Period	Day	XS.PERIOD_DIM_V		Day	STRING
Period	Description	XS.PERIOD_DIM_V		DESCRIPTION	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Period	DisplayLabel	XS.PERIOD_DIM_V		DISPLAY_LABEL	STRING
Period	EndDate	XS.PERIOD_DIM_V		END_DATE	DATE
Period	FinancialUsage	XS.PERIOD_DIM_V		FINANCIAL_USAGE	STRING
Period	Month	XS.PERIOD_DIM_V		Month	STRING
Period	Name	XS.PERIOD_DIM_V		NAME	STRING
Period	Periodicity	XS.PERIOD_DIM_V		PERIODICITY	STRING
Period	PeriodNumber	XS.PERIOD_DIM_V		PERIOD_NUMBER	NUMERIC
Period	Quarter	XS.PERIOD_DIM_V		Quarter	STRING
Period	StartDate	XS.PERIOD_DIM_V		START_DATE	DATE
Period	Week	XS.PERIOD_DIM_V		Week	STRING
Period	Year	XS.PERIOD_DIM_V		Year	STRING
Period	YearNumber	XS.PERIOD_DIM_V		Year_Number	NUMERIC
Program	Name	XS.PROGRAM_DIM_V		Name	STRING
Project	ActiveIndicator	XS.PROJECT_FACT_V		ACTIVE_INDICATOR	NUMERIC
Project	ApprovalDate	XS.PROJECT_FACT_V		Approval_Date	DATE

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Project	説明	XS.PROJECT_FACT_V		DESCRIPTION	STRING
Project	EndDate	XS.PROJECT_FACT_V		End_Date	DATE
Project	FlagActive	XS.PROJECT_FACT_V		FLAG_ACTIVE	STRING
Project	FlagCompleted	XS.PROJECT_FACT_V		FLAG_COMPLETED	STRING
Project	HasObjectiveIndicator	XS.PROJECT_FACT_V		HAS_OBJECTIVE_INDICATOR	NUMERIC
Project	HealthIndicator	XS.PROJECT_FACT_V		HEALTH_INDICATOR	STRING
Project	InControlIndicator	XS.PROJECT_FACT_V		IN_CONTROL_INDICATOR	NUMERIC
Project	InitiationDate	XS.PROJECT_FACT_V		Initiation_Date	DATE
Project	Level0	XS.PROJECT_FACT_V		Level0	STRING
Project	Level1	XS.PROJECT_FACT_V		Level1	STRING
Project	Level2	XS.PROJECT_FACT_V		Level2	STRING
Project	Level3	XS.PROJECT_FACT_V		Level3	STRING
Project	Level4	XS.PROJECT_FACT_V		Level4	STRING
Project	Level5	XS.PROJECT_FACT_V		Level5	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Project	Level6	XS.PROJECT_FACT_V		Level6	STRING
Project	Level7	XS.PROJECT_FACT_V		Level7	STRING
Project	Level8	XS.PROJECT_FACT_V		Level8	STRING
Project	Level9	XS.PROJECT_FACT_V		Level9	STRING
Project	Name	XS.PROJECT_FACT_V		Name	STRING
Project	OnTimeIndicator	XS.PROJECT_FACT_V		ON_TIME_INDICATOR	NUMERIC
Project	PlannedEndDate	XS.PROJECT_FACT_V		Planned_End_Date	DATE
Project	PlannedStartDate	XS.PROJECT_FACT_V		Planned_Start_Date	DATE
Project	ProjectClass	XS.PROJECT_FACT_V		Project_Class	STRING
Project	ProjectGroup	XS.PROJECT_FACT_V		Project_Group	STRING
Project	RiskRating	XS.PROJECT_FACT_V		RISK_RATING	NUMERIC
Project	RolloutDate	XS.PROJECT_FACT_V		Rollout_Date	DATE
Project	StartDate	XS.PROJECT_FACT_V		Start_Date	DATE
Project	Status	XS.PROJECT_FACT_V		STATUS	STRING
Project	WorkPlanCreatedDate	XS.PROJECT_FACT_V		Work_Plan_Created_Date	DATE

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Service	BusinessCriticality	XS.SERVICE_DIM_V		BusinessCriticality	NUMERIC
Service	Description	XS.SERVICE_DIM_V		Description	STRING
Service	DisplayLabel	XS.SERVICE_DIM_V		DisplayLabel	STRING
Service	Level0	XS.SERVICE_DIM_V		Level0	STRING
Service	Level1	XS.SERVICE_DIM_V		Level1	STRING
Service	Level2	XS.SERVICE_DIM_V		Level2	STRING
Service	Level3	XS.SERVICE_DIM_V		Level3	STRING
Service	Level4	XS.SERVICE_DIM_V		Level4	STRING
Service	Level5	XS.SERVICE_DIM_V		Level5	STRING
Service	Level6	XS.SERVICE_DIM_V		Level6	STRING
Service	Level7	XS.SERVICE_DIM_V		Level7	STRING
Service	Level8	XS.SERVICE_DIM_V		Level8	STRING
Service	Level9	XS.SERVICE_DIM_V		Level9	STRING
Service	Name	XS.SERVICE_DIM_V		Name	STRING
Service	State	XS.SERVICE_DIM_V		State	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Service	Type	XS.SERVICE_DIM_V		Type	STRING
Supplier	Level0	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL0	STRING
Supplier	Level1	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL1	STRING
Supplier	Level2	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL2	STRING
Supplier	Level3	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL3	STRING
Supplier	Level4	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL4	STRING
Supplier	Level5	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL5	STRING
Supplier	Level6	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL6	STRING
Supplier	Level7	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL7	STRING
Supplier	Level8	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL8	STRING
Supplier	Level9	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	LEVEL9	STRING

エンティティ名	フィールド名	ソーステーブル名	エイリアステーブル名	DB列名	フィールドタイプ
Supplier	Name	XS.ORGANIZATION_DIM_V	XS_SUPPLIER_DIM	Name	STRING

FPAコンテンツパックのアクティブ化

FPAコンテンツパックを使用すると、Excelファイルを使用してデータをデータウェアハウスターゲットスキーマにアップロードできます。

注: ここに記載した手順を実行すると、データソースとしてExcelファイルを使用できる、特にITFM向けにカスタマイズされたソリューションが得られます。

アクセス方法:

[管理] > [データソース管理] を選択し、[データソースの追加] をクリックして、[FPA (Financial Planning Allocation)] を選択すると、ITFMの統合プロセスをアクティブ化できます。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

データをITFMアプリケーションにアップロードするその他の方法

次の方法で、データを自動的にITFMアプリケーションにアップロードすることもできます。

- HP Asset Managerデータソースをアクティブ化します。詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Asset Manager』の[AM Data Source](#)を参照してください。
- HP Project and Portfolio Managementデータソースをアクティブ化します。詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Asset Manager』の[PPM Data Source](#)を参照してください。
- Excelファイルを代替データソースとして使用します(これが一般的な手順)。詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Asset Manager』の[Alternate Source Integration](#)を参照してください。

Excelファイル構造

各ファイルには固有の構造があります。

サンプルExcelファイルの場所:<インストールディレクトリ>\agora\ContentPacks\FPA\ETL\flatfilesが格納されています。

Excelファイルの最初のタブには、下のテーブルに示すデータが含まれている必要があります。このテーブルは実績コストデータを表します。

Amount	Currency	Period	Cost Category	Cost Center	CAP EX_OPEX	Service	Application	Asset	Project	Consumer	Supplier	Location
100	USD	2/4/2013	Hardware	AZ1023	CAP EX	Billin g	Amd ocs	mys erver 100. dev	Upgr ade	Fina nce	HP	M1
101	USD	2/5/2013	Hardware	AZ1024	CAP EX	shmil ing	Exch ange	mys erver 101. dev	Dow ngra de	HR	CA	M2
102	USD	2/6/2013	Hardware	AZ1025	CAP EX	Billin g	Wind ows	mys erver 102. dev	Main tena nce	Oper ation s	HP	M3
103	USD	2/7/2013	Hardware	AZ1026	CAP EX	shmil ing	CSA	mys erver 103. dev	Upgr ade	Fina nce	CA	M4
104	USD	2/8/2013	Hardware	AZ1027	CAP EX	Billin g	Amd ocs	mys erver 104. dev	Dow ngra de	HR	HP	M5
105	USD	2/9/2013	Hardware	AZ1028	CAP EX	shmil ing	Exch ange	mys erver 105. dev	Main tena nce	Oper ation s	CA	M6
106	USD	2/10/2013	Hardware	AZ1029	CAP EX	Billin g	Wind ows	mys erver 106. dev	Upgr ade	Fina nce	HP	M7

Amount	Currency	Period	Cost Category	Cost Center	CAP EX_OPE X	Service	Application	Asset	Project	Consumer	Supplier	Location
107	USD	2/11/2013	Hardware	AZ1030	CAP EX	shmil ing	CSA	mys erver 107. dev	Dow ngrade	HR	CA	M8
108	USD	2/12/2013	Hardware	AZ1031	OPE X	Billin g	Amd ocs	mys erver 108. dev	Main tenance	Oper ations	HP	M9
109	USD	2/13/2013	Hardware	AZ1032	OPE X	shmil ing	Exch ange	mys erver 109. dev	Upgr ade	Fina nce	CA	M10
110	USD	2/14/2013	Hardware	AZ1033	OPE X	Billin g	Wind ows	mys erver 110. dev	Dow ngrade	HR	HP	M11
111	USD	2/15/2013	Hardware	AZ1034	OPE X	shmil ing	CSA	mys erver 111. dev	Main tenance	Oper ations	CA	M12
112	USD	2/16/2013	Hardware	AZ1035	OPE X	Billin g	Amd ocs	mys erver 112. dev	Upgr ade	Fina nce	HP	M13
113	USD	2/17/2013	Hardware	AZ1036	OPE X	shmil ing	Exch ange	mys erver 113. dev	Dow ngrade	HR	CA	M14
114	USD	2/18/2013	Hardware	AZ1037	OPE X	Billin g	Wind ows	mys erver 100. dev	Main tenance	Oper ations	HP	M15

注: 列をテーブルに追加することはできません。

Excelファイルのその他のタブには、現時点で実績コストデータがない追加データも含まれている必要があります。

- **[Service]** タブには、追加サービスのリストがあります。これらのサービスは、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Application]** タブには、追加アプリケーションのリストがあります。これらのアプリケーションは、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Asset]** タブには、追加資産のリストがあります。これらの資産は、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Project]** タブには、追加プロジェクトのリストがあります。これらのプロジェクトは、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Consumer]** タブには、追加顧客のリストがあります。これらの顧客は、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Supplier]** タブには、追加サプライヤーのリストがあります。これらのサプライヤーは、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。
- **[Location]** タブには、追加場所のリストがあります。これらの場所は、配賦ステージの [実績コスト] タブのルールを作成する際に、ディメンションのリストに表示されます。

The last tab of the Excelファイルの最後のタブには、フィールドの入力方法に関する指示があります。

注: ALTソースからのSERVICESTATUSエンティティは、バージョン9.3ではサポートされていません。

タスク

関連するExcelファイルの入力

Excelファイルに自分自身のデータを入力します。

1. 次のファイルを見つけます: <インストールディレクトリ>\agora\Content Packs\FPA\ETL\flatfiles\Cost_Import.xls。
2. 下記の指示 (Excelファイルの最後のタブでも利用可能)に従って、データを入力します。

指示:

このワークブックは、実績 (発生) コスト用の外部データを取得するためにFPAソースETLプロセスで使用されます。

このワークブックの最初のシートには、処理するデータが含まれていて、**Actual_Cost**という名前を付ける必要があります (詳細は、「[Excelファイル構造](#)」(37ページ)を参照)。このワークブックを処理する

ETLでは、差分データセットが許可されないため、すべてのデータがロードされ、前のすべてのロードと比較されます。

スプレッドシートの最初の行は、決して変更または削除しないでください。最初の行は列名を識別し、現時点または出荷時のままである必要があります。

データをDATAタブシートに入力するには、コピー/貼り付けを使用するか、手動で1つずつ入力します。

注: PeriodフィールドはExcelデータフィールドであり、そのままにしておく必要があります。

次に、このワークブックの列のリストと、各列に指定する必要があるデータの説明を示します。テーブルには、特別なフォーマット要件または状況に関する詳細も含まれています。

注: 金額を除くすべての列の値は、一意な行識別子を作成するために使用されます。つまり、テーブル内のいずれかの値を変更してから、ETLプロセスを再実行すると、**ACTUALCOST_FACT**テーブルに新しい行が作成されることになります。一意な識別子の最大長は100文字です。すべての値を連結して100文字を超える場合、切り捨てが行われ、ACTUALCOST_FACTテーブルで行が欠落する場合があります。

列	データ型	必須フィールド	説明:
AMOUNT	FLOAT	Y	元のソース通貨でのコスト金額。 COST_LOC 列に書き込まれ、既定のデータウェアハウス通貨に従って ACTUALCOST_FACT テーブルの COST_BASE 列に変換されます。
CURRENCY	TEXT (3)	N	COST_LOC に使用される通貨の3文字のISOコード。 ACTUALCOST_FACT テーブルの CURRENCY_LOC 列に書き込まれます。
PERIOD	DATE	Y	実績コストが支払われた日付。Excelで認識できる任意の有効な日付形式を入力します。
COSTCATEGORY	TEXT (60)	N	コストカテゴリ。 \$AGORA_HOME\DataWarehouse\ExternalSources\CostCategory.xls のいずれかの値を入力します。

列	データ型	必須フィールド	説明:
COSTCENTER	TEXT (60)	N	この列は、 COSTCENTER (コストセンター)レコードに対する外部キーになります。 コストセンター名を含めることができます。既存と新規の両方のコストセンター名が有効です。
CAPEX_OPEX	TEXT (10)	N	この費用が Operational(OPEX) または Capitalized(CAPEX) かどうかを示すフラグ。 有効な値: OPEX または CAPEX 。 ACTUALCOST_FACT テーブルの OC_FLAG_ID 列と OC_FLAG_DURABLE_KEY 列に書き込まれます。
SERVICE	TEXT (60)	N	この列は、 BUSSERVICE (ビジネスサービス)レコードに対する外部キーになります。 サービス名を含めることができます。既存と新規の両方のサービス名が有効です。
APPLICATION	TEXT (60)	N	この列は、 APPLICATION (アプリケーション)レコードに対する外部キーになります。 アプリケーション名を含めることができます。既存と新規の両方のアプリケーション名が有効です。
ASSET	TEXT (60)	N	この列は、 ASSET (資産)レコードに対する外部キーになります。 資産名を含めることができます。既存と新規の両方の資産名が有効です。
PROJECT	TEXT (60)	N	この列は、 PROJECT (プロジェクト)レコードに対する外部キーになります。 プロジェクト名を含めることができます。既存と新規の両方のプロジェクト名が有効です。

列	データ型	必須フィールド	説明:
CONSUMER	TEXT (60)	N	この列は、 ORG (組織)レコードに対する外部キーになります。 顧客名を含めることができます。既存と新規の両方の顧客名が有効です。
SUPPLIER	TEXT (60)	N	この列は、 ORG (組織)レコードに対する外部キーになります。 サプライヤー名を含めることができます。既存と新規の両方のサプライヤー名が有効です。
LOCATION	TEXT (60)	N	この列は、 LOCATION (場所)レコードに対する外部キーになります。 場所名を含めることができます。既存と新規の両方の場所名が有効です。

3. ファイルを保存します。
4. FPA (財務データソース: のアクティブ化)
 - a. [管理] > [データソース管理] を選択し、[データソースの追加] をクリックします。
 - b. [データソースの追加] ページが開きます。[FPA (Financial Planning Allocation)] データソースタイプを選択します。
 - c. 構成パラメーターを選択または入力します。
 - d. [次へ] をクリックし、確認ページに進みます。

UIの説明

[FPA (Financial Planning Allocation)] アクティブ化 ページ

次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

必須フィールドは、赤色のアスタリスクでマークされています。

Data Source Wizard
Help x

FPA (Financial Planning Allocation)

*Instance name :

FPA Version : v

Time Zone : v

Data Source Type : v

*Folder Path :

UI要素	説明
インスタンス名	アクティブ化するデータソースインスタンスの名前を入力します。
FPAバージョン	該当するFPAのバージョンを選択します。詳細については、『IT Executive Scorecard Support Matrix』を参照してください。
タイムゾーン	データソースのタイムゾーンを選択します。
データソースタイプ	Excelファイル。
フォルダーのパス	Excelファイルへの完全なパス。

FPA関連のKPIおよびメトリック

下記のKPIおよびメトリックでは、PPMからインポートされ、FinancialManagementコンテキストとProject Portfolio Management (PPM) コンテキストによって構造化されたデータを使用します。KPIおよびメトリックは、Financial Planning Analysisモジュールでは直接使用しませんが、他のKPIやメトリックと同様にダッシュボードコンポーネントで使用できます。

[財務] タブとFPA関連のページに表示されるデータは、FPAアプリケーションによって直接処理されます。

KPIおよびメトリック:

- プロジェクトの計画コストに対する実績コストの割合 (%) KPI
- 承認されたプロジェクトのスコープ変更の割合 (%)
- 資産コストの変化率 (%) KPI
- ビジネスサービスコストの変化率 (%) KPI
- プロジェクトコストの変化率 (%) KPI
- 健全なプロジェクトの割合 (%) KPI
- IT目標値の全体収益に対する割合 (%) KPI
- 運営費用 (Opex) の割合 (%) KPI
- 外部リソースにより実行されるプロジェクトの割合 (%) KPI
- スケジュールどおりに進んでいるタスクの割合 (%) KPI
- ビジネス目標に紐づくプロジェクトの割合 (%) KPI
- リスクのあるプロジェクト予算の割合 (%) KPI
- 計画どおりの期間で完了したプロジェクトの割合 (%) KPI
- 未解決で至急対応が必要な問題を抱えたプロジェクトの割合 (%) KPI
- 戦略的プロジェクトに費やされた時間の割合 (%) KPI
- 実績コストと計画コストの差異 (%) KPI
- アクティブなデマンドの平均経過時間
- アクティブな提案の平均経過時間
- 平均可用性評価KPI

- 顧客1人当たりの平均ITサービス提供コストKPI
- 新製品または新サービス平均提供時間KPI
- 平均メンテナンス性評価KPI
- 平均パフォーマンス評価KPI
- プロジェクト開始までの平均時間KPI
- 平均提案評価時間
- 平均スコープ変更評価時間
- 平均製品不具合解決時間KPI
- 保留状態のデマンド数
- 計画工数の偏差KPI
- 革新の提供KPI
- ライフサイクルカテゴリにあるアプリケーションの数メトリック
- ポートフォリオにあるアプリケーション数メトリック
- エスケープされた不具合の数KPI
- 識別された問題数KPI
- オープンされたリスク数KPI
- 保留状態のプロジェクトのスコープ変更KPI
- 保留状態の提案数KPI
- プロジェクトのスコープ変更の解決にかかった時間KPI

ITFM財務用語 (用語集)

A

ABC

Audit、Balance、Control (ABC) は、ETLプロセスを起動するアプリケーションです。Auditでは、ETL処理中の整合性を保証します。各ステップで入出するレコード数が測定され、これらのランタイム統計が一連のAuditレポートに表示されます。Balanceでは、データウェアハウスのデータがソースシステムのデータと一致するかどうかを検証します。たとえば、データウェアハウスにプロジェクトの金額が格納されている場合、Balanceプロセスによって、データウェアハウスのプロジェクト金額合計とソースアプリケーションデータのプロジェクト金額合計が一致するかどうかを検証されます。ControlはETLプロセスを管理します。Controlにより、システムエラーが発生した場合に適切な再起動とリカバリが行われます。また、Controlによって、ランタイムのジョブの依存関係も管理されます。

E

ETL (Extract, Transform, Load)

E - Extract (抽出) プロセスでは、ソースシステムから差分データを抽出して、ファイルシステム上の区切られたフラットファイルに書き込みます。データウェアハウスは、変更データのキャプチャー (CDC) 法を使用して、ソーステーブルからデータを抽出します。T - Transformation (変換) プロセスでは、ITFMがデータをターゲットテーブルの形式に変換し、ロード可能なターゲットステージングテーブルにデータを書き込みます。Transformationレイヤーには、データウェアハウスのターゲットテーブルの内部構造に一致するロード可能なテーブルが含まれます。L - Load (ロード) プロセスでは、データウェアハウスのターゲットレイヤーのファクトおよびディメンションテーブルに対して、新しいレコードを追加し、既存のレコードを更新し、削除されたレコードにフラグを付けます。

N

NPV (正味現在価値)

特定の投資から得られる将来の全キャッシュフロー (収入 - コスト) から投資のコストを引いた値。

P

P&L (損益計算書)

財務報告書の1つで、特定の期間 (通常は会計四半期または年度) に発生した収益、コスト、費用の一覧を示します。これらの記録は、会社が収益を増やしてコストを減らすことで利益を発生させる能力に関する情報を提供します。P&L計算書は、損益計算書、所得計算書、所得/費用計算書とも呼ばれます。詳細については次の文書を参照してください

い: <http://www.investopedia.com/terms/p/plstatement.asp#ixzz1kR6STAM6>

ア

アクティビティベースのコスト計算 (ABC)

ABC法では、組織のリソースコストを、アクティビティを通じて、顧客に提供される製品やサービスに割り当てます。

シ

ショーバック

ショーバックは課金を行いませんが、組織が消費しているサービスにどれだけコストがかかっているかを通知します (ITシステム表 サービス)。

チ

チャージバック

チャージバックにより、組織はビジネスサービスやITサービスに対して課金することができます。

テ

ディメンション

ビジネスユーザーが分析しようとしている測定値 (ファクト) に関して、記述、限定、その他の意味の追加を行うエンティティ。

メ

メタデータ

ビジネスユーザーが重要なビジネス用語に関して共通の用語法を使用できることを保証するために、集中化されたリポジトリに格納されている合意済みの定義とビジネスルールの集合。

メトリック

成功または失敗の測定結果を規則的、計画的に決定して収集するための監査および検証可能なフレームワーク。

営

営業費用 (OPEX)

製品、ビジネス、またはシステムの運用にかかる継続的コスト。たとえば、研究開発費など。

計

計画

未来の指定された期間に対する承認済みの予算額。

差

差異

データポイントの集合がその平均値の周りにどれだけばらついているかの尺度。たとえば、コストの差異は、プロジェクトの計画コストと実績コストの差を表します。

資

資本費用 (CAPEX)

物理的資産の購入またはアップグレードに使用される資金。たとえば、設備や機器の購入費など。

自

自由裁量費用

必要ではないが入手したいものに対する費用。

実

実績支出

ある期間内に使用されたリソース/資金の量。

測

測定値

実行可能ファイルが実行中に収集する値。例としては、ETLジョブ中に処理される行の数や、ソースアプリケーションで費用を記述するテーブルから抽出された金額などがあります。ABCアプリケーションは、実行可能ファイルが実行するビジネスタスクに関して何の仮定も置かず、計算される測定値の意味に関する制約を課すこともありません。ABCアプリケーションは、実行可能ファイルが測定値を保存するためのインターフェイスを提供します。ABCレポートでは、保存されている測定値に対するドリルダウン機能が使用できます。

貸

貸借対照表

企業の財務報告書の1つで、特定の時点での企業の資産、負債、純資産を示します。

配

配賦

項目を単一のコストまたは予算単位に割り当てること。配賦を使用することで、これらの視点から計画コストと実績コストを比較し、ビジネスの管理を改善することができます。コスト配賦は、コストをビジネスにとって意味のある分野に関連付けることにより、情報を強化します。これにより、コストがビジネスモデル全体に配分されます。

非

非自由裁量費用

営業の継続に不可欠なコスト。

複

複数ディメンション

ビジネスの各ディメンションごとのデータの集計。たとえば、地域ごと、製品ごと、時期ごとの売り上げなど。

予

予算

未来の指定された期間内の費用に関する予測。

配賦管理

Financial Analystは、配賦ツールを使用することにより、コスト関連データに各種データベースの情報を付加し、このコストデータと予算データを使って役立つコスト情報を提供するためのシナリオを作成します。シナリオは、HP Asset ManagerとHP Project and Portfolio Managementから収集されたデータを使用します。配賦ツールを使用すると、さまざまな予算やコストの目標を管理できます。

詳細情報

タスク

● 詳細情報

仮定

IT Financial Managementでは、配賦は定義済みの仮定と組織のビジネスルールに基づきます。実績コストと計画コストの配賦には、これらの共通の仮定が含まれます。

- 配賦するコストの意味を正しく理解するためには、コストに関連する詳細情報にアクセスする必要があります。たとえば、コストが資産に関連している場合、適切な方法で配賦を行うためには、その資産レコードのフィールドにアクセスする必要があります。ITFMは必要な情報のほとんどを提供します。
- コストは配賦前に集計されることはありません。コストは可能な最も細かいレベルで配賦され、集計はプロセスの後の段階で行われます。
- 配賦ルールは、トランザクションの生成には用いられません。
- コストは現地通貨でデータウェアハウスに送られ、現地通貨は為替レートに基づいて基準通貨に変換されます。
- 複数の日付にまたがるコストは、配賦前に少なくとも月単位の短い期間に分割しておく必要があります。
- 財務アナリストは、次のいずれかの理由で実績コストを配賦します。
 - コストに1:1の関係を追加して100%の配賦を実現することにより、コストを強化するため。または
 - コストを複数の関係に分割して部分的配賦を実現することにより、コストを配分するため。

この表は、実績コストの配賦と計画コストの配賦の相違を示しています。

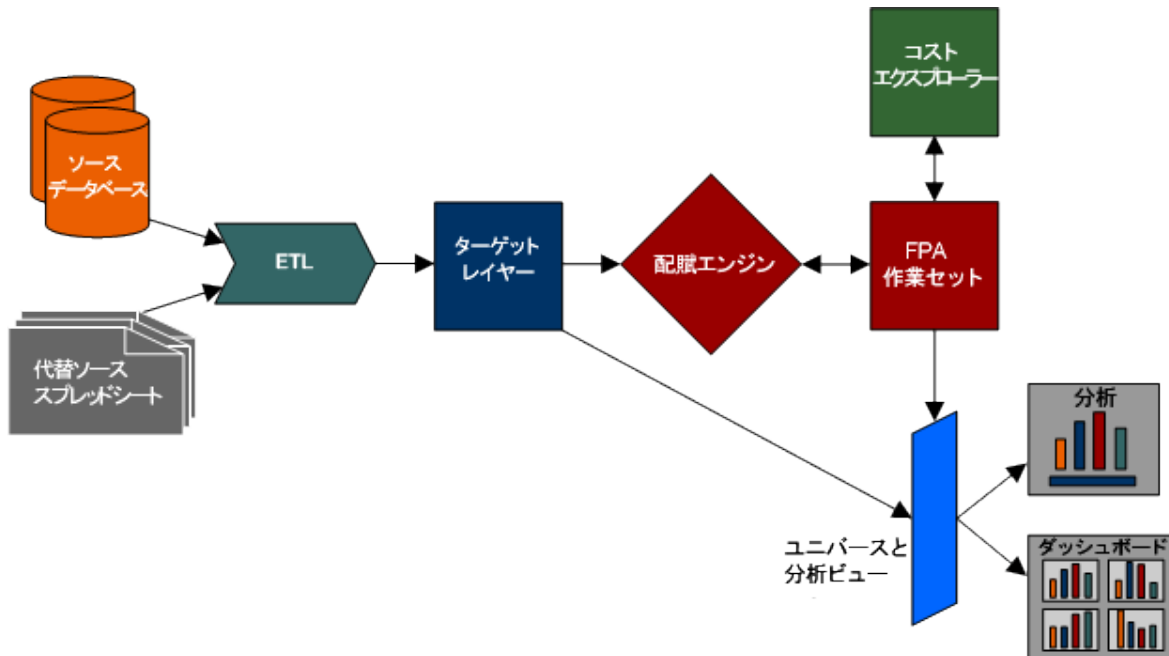
実績コストの配賦	計画コストの配賦
<p>実績コストはすべて、コストタイプ/カテゴリに関連しています。</p> <p>サポートされているコストタイプの詳細については、「配賦管理」(50ページ)を参照してください。</p> <p>サポートされているコストカテゴリの詳細については、「配賦管理」(50ページ)を参照してください。</p>	<p>計画コストは予算に関連している場合があります。</p>
<p>コストを個別に配賦するのではなく、一括して配賦します。最善の方法は、コストセットの選択と、そのコストセットに適用する配賦の種類の設定に使用される基準を指定することです。</p>	<p>コストを一括で配賦するのではなく、個別に配賦します。</p>
<p>ITFMのこのリリースは、コストのキャッシュフロービューを明示的にサポートしています。</p>	<p>計画コストは将来のコストの見積りの集計を表しており、配賦の主な目的は、これらの集計を、実績コスト配賦を通じて実績コストが集計されるのと同じレベルに分解することです。</p>
<p>実績コストは1つの日付に関連付けられています。コストはこの日付を使用して会計期間に関連付けられます。</p>	<p>計画コストは1つの会計期間に関連付けられています。</p>

ITFMデータ

IT Financial Managementコンポーネントをインストールすると、コンポーネントはこれらのアプリケーションの1つまたは複数から抽出されたデータを使用します。

- HP Asset Manager
- HP Project and Portfolio Management
- 代替ソーススプレッドシート

次の図は、ITFMが使用するデータフローを示します。

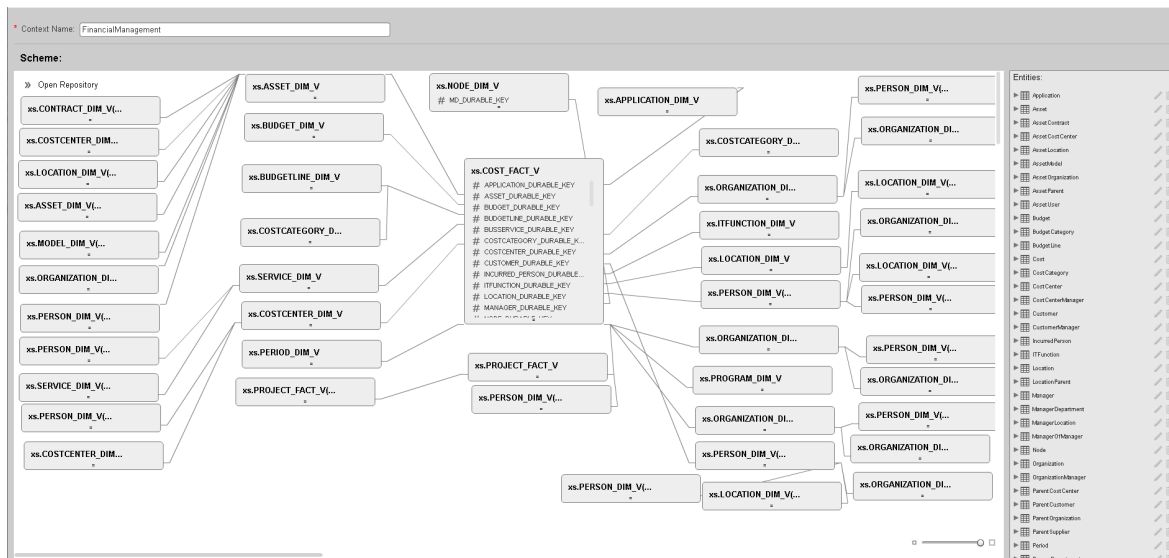


ソースデータは、データウェアハウスのExtract, Transform, and Load (ETL) プロセスによって定期的に更新されます。

ETLジョブの実行の詳細については、『IT Executive Scorecard 管理者ガイド』の[ETLの管理と監視](#)をご参照ください。

コストデータモデル

IT Financial Managementのコストデータモデルは、2つのレイヤーを持つ複雑なスタースキーマです。これは、関係を含む関連するディメンションのコストファクトテーブルから構成されます。これは財務管理のコンテキストに基づいています。詳細については、『IT Executive Scorecard 財務アナリストユーザーガイド』の「[Financial Management コンテキスト](#)」(17ページ)を参照してください。



配賦ステージを定義する際には、これらの関係を使用してコストをビジネスモデル全体に配分することができます。各ディメンションは、別のビジネスモデルまたはコストの管理方法を表します。これはコストテーブルのデータを強化します。配賦ステージを定義する際には、xs.COST_FACT_Vビューの周辺の第1レイヤーのテーブルからディメンションを選択します。

配賦ステージのルールを定義する際には、xs.COST_FACT_Vビューの周辺の第2レイヤーのテーブルと、xs.COST_FACT_Vビュー自体からディメンションを選択します。ルールは配賦ステージに対するフィルターとして働きます。

Extract, Transform, and Load (ETL) プロセス中に、SAP® BusinessObjects Data Services (BODS) は複数のソースシステムからのエンティティに関するデータを収集します。その後、BODSはデータをターゲットデータモデルに統合してから、データウェアハウスのターゲットレイヤーにロードします。

ETLが実行され、配賦が完了したら、FinancialManagementコンテキストに基づくKPIを使用して、独自のダッシュボードページを作成し、これらのKPIに基づく関連するコンポーネントを配置できます。

さらに、[財務] タブのレポートにもデータを表示できます。詳細については、「[組織の財務パフォーマンスの表示](#)」(125ページ)を参照してください。

これらのレポートは、[\[ダッシュボードに表示\]](#) オプションで設定した配賦によって影響されます。

タスク

本項では次のタスクについて説明します。

[「配賦の定義」](#) (53ページ)

[「コストエクスプローラーで配賦管理シナリオを開く」](#) (53ページ)

配賦の定義

1. メインメニューバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. 配賦シナリオを定義します。
3. 配賦ステージの表示、定義、追加、変更を行います。詳細については、「[配賦ステージ](#)」(68ページ)を参照してください。
4. 配賦ルールを定義します。詳細については、「[配賦ルール](#)」(72ページ)を参照してください。
5. コストエクスプローラーに表示します。コストエクスプローラーには、ステータスが**[完了済み]**の配賦のみが表示されます。詳細については、「[コストエクスプローラー](#)」(113ページ)を参照してください。

コストエクスプローラーで配賦管理シナリオを開く

1. **[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. **[シナリオのリスト]** でシナリオを選択します。ステータスが**[完了済み]**のシナリオを選択してください。

3. **[コストエクスプローラーでテスト]** をクリックします。

コンテキストに応じて **[コストエクスプローラー]** ページが開きます。シナリオの表示と分析が実行可能になります。

4. **[配賦に戻る]** をクリックすると、コンテキストに応じて **[配賦管理]** ページに戻ります。

コストエクスプローラーの詳細については、**「コストエクスプローラー」(113ページ)** を参照してください。

配賦シナリオ

配賦シナリオは、どの計画および実績ITコスト情報を分析するかを記述します。

シナリオの新規追加や、既存のシナリオの変更または削除もできます。その後、シナリオに配賦ステージを追加し、配賦ルールを定義し、結果を発行し、コストエクスプローラーに結果を表示できます。

アクセス方法:

[財務] > [配賦管理] を選択します。



● 詳細情報

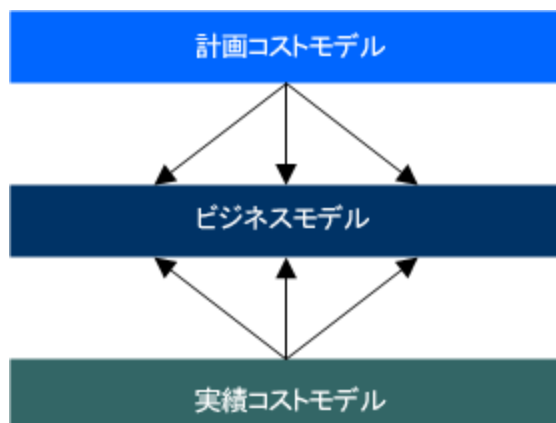
配賦シナリオの詳細について

配賦シナリオは、予算の配賦のフロー全体、すなわちプールの受け取りからすべての額の配賦までのシナリオ(仮定の状況)を表現します。シナリオは、それぞれがコストの配賦方法を示しています。

配賦シナリオは、計画コストと実績コストの分類によって分析を可能にするツールです。分類したコストを使用して、計画コスト(予算)と実績コストを比較できます。

組織は、どこで費用が支出され、組織のどの分野でコストがかかっているかを知る必要があります。コストは、IT部門ごとやプログラムごとといったさまざまな異なる視点から観察できます。配賦機能を使用すれば、これらの異なる視点を利用して、計画コストと実績コストを比較し、ビジネスの管理を改善することができます。

コスト配賦は、コストをビジネスにとって意味のある分野に関連付けることにより、情報を強化します。これにより、コストがビジネスモデル全体に配分されます。



たとえば、財務アナリストがIT部門、プログラム、アプリケーションごとの計画コストと実績コストの比較ビューを作成したいと思ったとします。これらのビューは、資産管理およびプロジェクト管理データソー

システムから収集されます。

組織が資産管理およびプロジェクト管理システムでコスト情報を収集する際に、これらのコストは、プロジェクトや組織などのビジネスにとって意味のある分野に関連付けられます。これらのシステムで確立される関係では、IT財務管理プロセスのニーズを満たすには不十分な場合があります。

ITの財務管理ニーズを満たすには、コスト関連の情報をさらに強化する必要があります。たとえば、現在存在しないコストに関係を追加する方法や、コストの一部を複数のディメンションに関連付ける方法（コストの70%を1つの組織に、30%を別の組織に分割するなど）があります。このプロセスは、コスト配賦と呼ばれています。

IT Financial Managementは、コスト配賦の方法を使用して、元のコストレコードを変更せずに、実行したい変更を反映する新しいレコードを作成します。ITFMは、配賦ルールを使用して、変更するコストレコードを選択し、新しいコストレコードがどのように表示されるかを指定します。

目標の詳細レベルに到達するには、一連の手順を通じてコストレコードを変更することが必要な場合があります。この一連の手順には、数百個のルールが含まれる場合があります。配賦ルールの管理に便利なように、IT Financial Managementではルールが配賦ステージにグループ分けされます。ステージを利用すれば、元のコストを強化されたコストセットにシステムティックに変換できます。このプロセスの結果を利用して、計画コストと実績コストの分析を行うことができます。

配賦プロセスは、仮定のセットを使用して、ビジネスエンティティの間でのコストの配分方法を変化させる方法です。さまざまな仮定のセットを同じコストセットに適用して、異なる結果を作成することができます。複数の仮定を比較したり、異なる分析目的を達成するために異なる仮定のセットを使用したりすることができます。このようなニーズに応えるため、IT Financial Managementでは配賦シナリオを作成できます。各シナリオには仮定のセットが組み込まれており、生成される結果は、ほかの配賦結果と独立に分析できます。

適切に作成された配賦シナリオには、計画コストと実績コストの両方に関する仮定が含まれます。両方のタイプのコストを同じ関係のリストに関連付けることで、予算の達成状況を分析し、コストドライバーについて理解を深めることができます。IT Financial Managementには、配賦結果を分析するさまざまな方法が用意されています。財務アナリスト向けには、IT Financial Managementにはコストエクスプローラーと呼ばれる効率的なインターフェイスが用意されており、特定の問題についての質問にすばやく答えることができます。ビジネスユーザーやITマネジメント向けには、ITFMは組織やビジネスサービスといったディメンションに関する重要な財務データを表示する設定済みの分析を用意しています。IT Financial Managementにはまた、注意を必要とするIT財務分野をユーザーが容易に見つけられるダッシュボードも用意されています。

シナリオには、コストセンターや組織などの配賦ステージが含まれていて、コスト情報を強化するのに役立てることができます。さらに役立つデータを取得する方法として、配賦ルールがあります。配賦ルールは、元データを変更せずに既存のレコードを使用し、ディメンションに割り当てます。配賦ステージと配賦ルールのシーケンスによって、配賦エンジンによるデータの計算方法が決まります。

タスク

主なタスク: [「配賦管理」\(50ページ\)](#)

本項の内容

[「ユースケースシナリオ」\(57ページ\)](#)

[「配賦シナリオの追加」\(57ページ\)](#)

[「特定のルールの検索」\(57ページ\)](#)

ユースケースシナリオ

詳細については、『IT Executive Scorecardスタートアップガイド』の[使用例 -ITFM - 配賦シナリオの作成](#)を参照してください。

配賦シナリオの追加

1. メインツールバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. **[配賦管理]** ページの左側のペインで、**Add Scenario** をクリックします。
3. 固有のシナリオ名と関連情報を右側のペインに入力します。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。

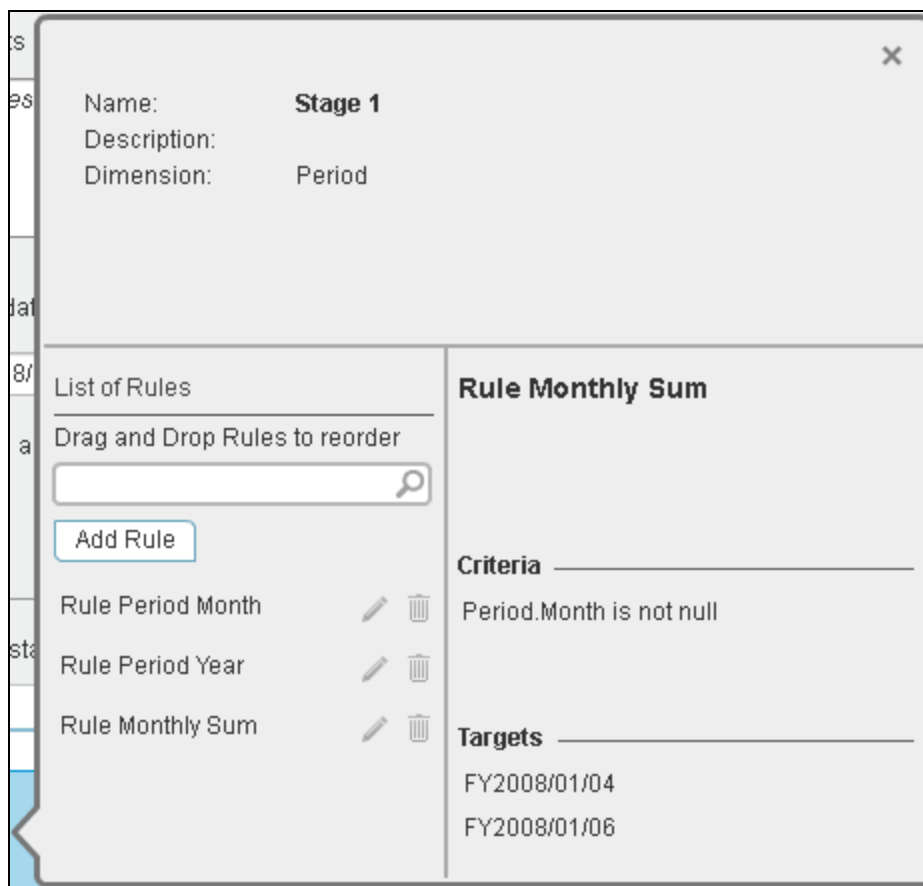
例: メトリックベースの配賦を使用すると、企業は組織が電子メールビジネスサービスを維持するのにかかるITコストを、指定された期間にわたって追跡できます。財務アナリストは次の要因を考慮します。

- 社内の全員が電子メールサービスを使用する。
- 人員は組織にグループ分けされている。
- 組織の人数は期間ごとに変化する。
- ITは社内のすべての組織に対してビジネスサービスの1つとして電子メールを提供する。
- ITはこの電子メールサービスを維持するコストを各会計期間(月)ごとに追跡する。
- ITはビジネスサービスのコストを人数に基づいてすべての組織に配分したいと望んでいる。

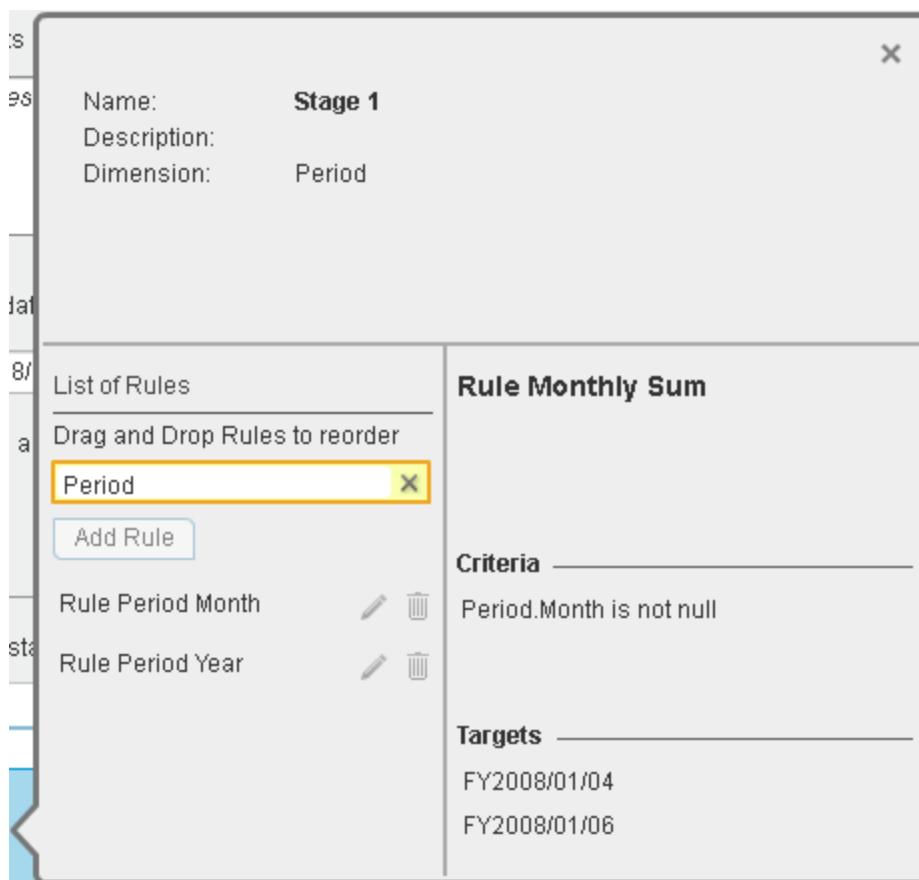
アナリストは、配賦シナリオと日付範囲を定義します。シナリオの1つのステージは、組織をターゲットとします。アナリストはこのステージ内で、電子メールサービスに関連付けられたすべてのコストを検索するルールを定義し、人数のメトリック値を使用してコストを配分します。

特定のルールの検索

1. メインツールバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. 配賦シナリオを選択します。
3. 該当する**[計画コスト/実績コスト]** タブで、該当するステージを選択します。
4. ダイアログボックスが開いたら、**[検索]** ボックスに該当する検索文字列を入力します。例: **期間**。



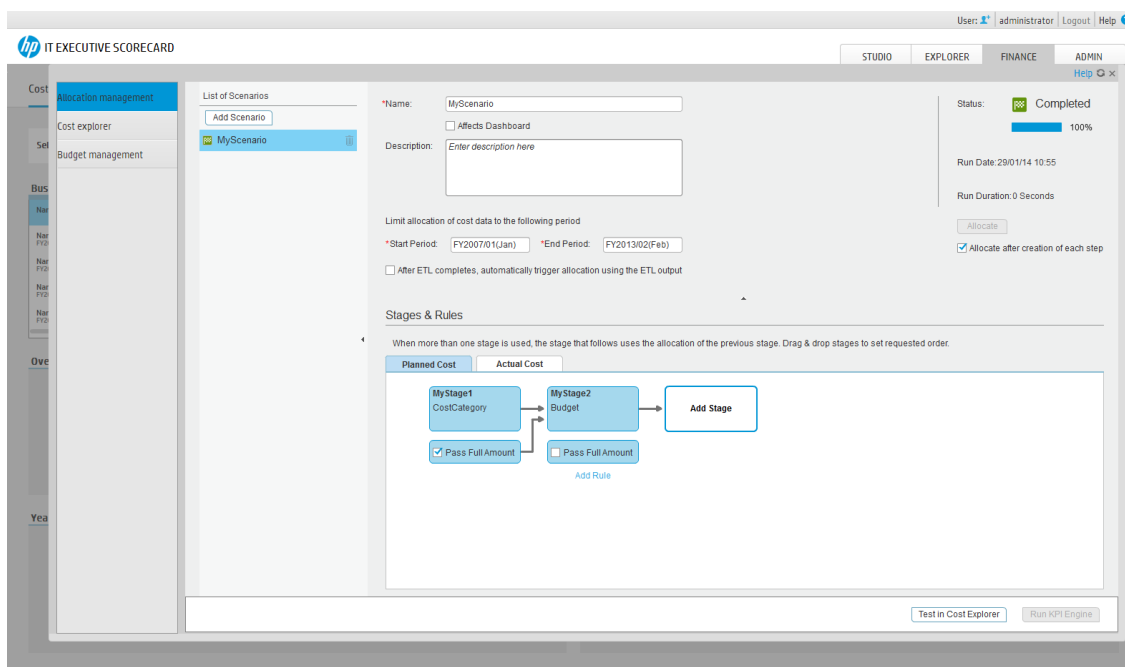
期間を含む名前を持つルールが表示されます。



UIの説明

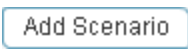





配賦管理ページ

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦管理]、[予算管理]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。



シナリオのリスト

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
	クリックすると、新しいシナリオがリストに追加されます。その後、シナリオペインに詳細を入力できます。
	<シナリオ>の削除。シナリオ名の上にマウスポインターを移動し、ボタンをクリックすると、選択したシナリオをリストから削除できます。
	シナリオのステータスが[完了]であることを示します。
	シナリオのステータスが[ドラフト]であることを示します。
	シナリオのステータスが[実行中]であることを示します。
	シナリオのステータスが[エラー]であることを示します。

シナリオペイン






ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
名前	<p>シナリオの名前。</p> <p>[配賦管理] ページが開いたときに、既定のシナリオが自動的に表示されます。</p>
ダッシュボードに表示	<p>現在の配賦シナリオを使用して、ダッシュボードを表示します。</p> <p>このオプションを選択するには、現在のシナリオをダッシュボード表示に適用することを確認する必要があります。確認すると[計算] ボタンが有効になるので、クリックするとITFM KPIがKPIエンジンによって再計算され、ダッシュボードに新しい値が表示されます。シナリオのステータスが[完了済み]になると、現在の配賦シナリオの計算結果が財務の概要レポートに反映されます。ダッシュボードに計算結果を反映するには、[開始期間] フィールドと[終了期間] フィールドを更新する必要があります。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』のFinancial Summary Pageを参照してください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ヒント: ダッシュボードレポートには、既定の配賦シナリオ ([ダッシュボードに表示] オプションが設定されているシナリオ) に基づくデータが表示されます。このオプションをシナリオに設定する前、または現在の既定のシナリオからオプションを削除した後 (すなわち既定のシナリオが存在しない状態) では、ダッシュボードレポートに表示されるデータはデータウェアハウスから得られた生データに基づきます。</p> </div> <p>[計算] ボタンをクリックするとKPIエンジンが再計算を開始しますが、これによってパフォーマンスに影響が発生します。</p>
説明	<p>シナリオの説明を入力します。</p>

UI要素	説明
<p>開始期間および終了期間</p>	<p>特定のシナリオの配賦期間を次のように選択します。</p> <p>開始期間: 配賦期間の開始日付 (月と年)。</p> <p>終了期間: 配賦期間の終了日付。これが適用されるのは、配賦エンジンによる計算のみです。</p> <p>[開始] または [終了] ボックスをクリックすると、[開始期間と終了期間の変更] ダイアログボックスが開き、情報を入力できます。</p> <p>配賦が[完了]になった後に期間の開始日付と終了日付を変更すると、再計算が必要になり、パフォーマンスに影響が生じます。</p> <div data-bbox="467 674 1365 1031" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">Change Start or End Periods ×</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">Changing the start or end periods requires recalculation and affects performance.</p> <p>*Start Period: <input type="text" value="FY2005/01 (Jan)"/></p> <p>*End Period: <input type="text" value="FY2005/03 (Mar)"/></p> <p style="text-align: right; margin: 10px 0;"> <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Cancel"/> </p> </div> <p>開始期間を選択する際には、以下のガイドラインに従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 予算の粒度が毎年の場合、会計年度の最初の月を開始期間として配賦シナリオを定義します。たとえば、会計年度が2012年4月に始まる場合、予算は2012年4月から2013年4月までで定義されます。この場合、予算配賦シナリオの開始期間を2012年4月に設定します。 • 予算の粒度が毎四半期の場合、予算の配賦を開始する四半期の最初の月を選択します。 • 予算の粒度が毎月の場合、任意の月を選択できます。

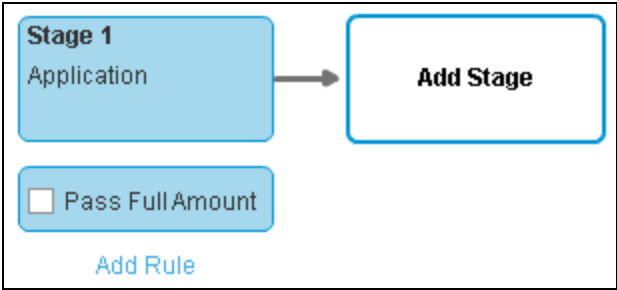
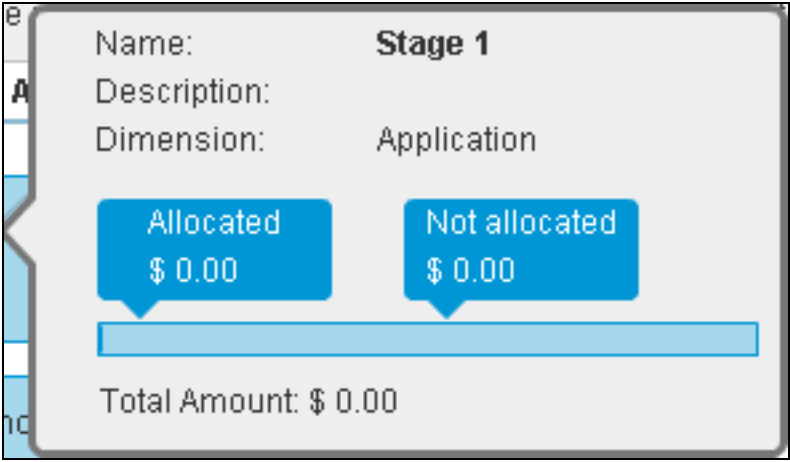
UI要素	説明
<p>ETLの完了後に、ETL完了後にETL出力を使用した配賦を自動的にトリガーする</p>	<p>選択すると、データが新しくなったときに常に配賦エンジンがコストを再計算します。</p> <p>再計算を行うと、パフォーマンスに影響が及びます。</p> <p>注: このオプションをオンにし、ETL出力に更新されたソースデータまたは削除のマークが付いたデータが含まれている場合、現在のステージの最終配賦済み金額は正しくない場合があります。正しいデータを表示するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ステージの[全額を渡す] オプションがオフになっている場合、オプションをオンにして、配賦エンジンを一度トリガーします。次に、[全額を渡す] オプションをオフにして、配賦エンジンを再度トリガーし、正しいデータを取得します。 • ステージの[全額を渡す] オプションがオンになっている場合、オプションをオフにして、配賦エンジンを一度トリガーします。次に、[全額を渡す] オプションをオンにして、配賦エンジンを再度トリガーし、正しいデータを取得します。
<p>[各ステップの作成後に配賦する] および [配賦] ボタン</p>	<p>このオプションは既定で選択されています。このオプションを選択し、配賦ステージまたは配賦ステージ (ステップ) のルールを作成した場合、ルールウィザードの[完了] ボタンをクリックすると、すぐに計算が行われます。この計算はパフォーマンスに影響を与えます。</p> <p>このオプションを選択解除して、複数のステージとルールの作成を有効にし、計算の実行を後のステージに遅延することができます。この場合、[配賦] ボタンをクリックしたときに計算が実行されます。</p> <p>また、配賦ステージとルールの作成中に、いつでもこのオプションを選択/選択解除できます。計算は、[配賦] ボタンをクリックするたびに実行されます。</p> <p>ヒント: 新しいステージとルールを作成する場合、このチェックボックスを選択解除することをお勧めします。</p>

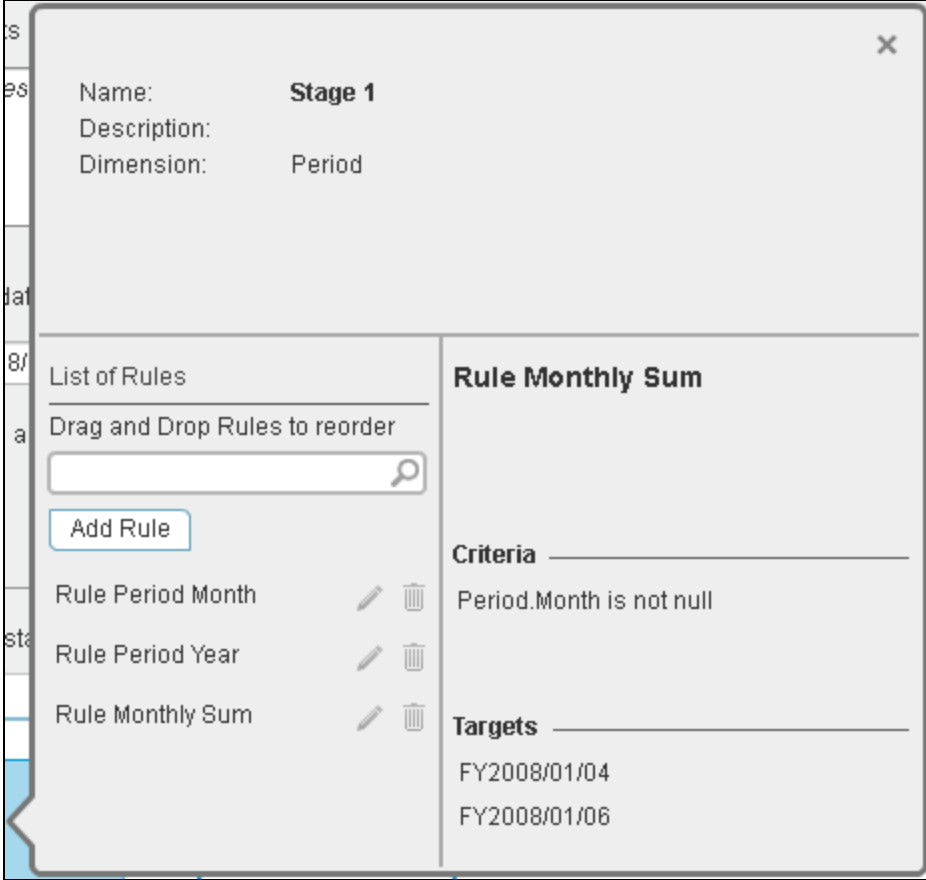
[ステータス] ペイン

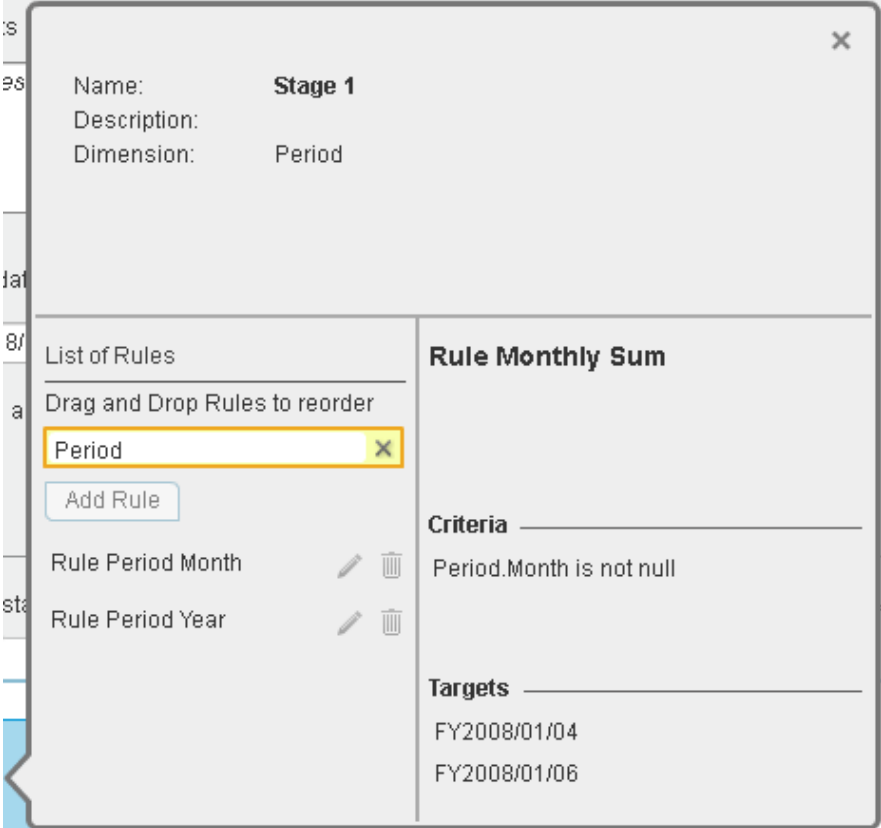


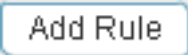
[ステータス] ペインには、シナリオのステータスが表示されます。ステータスは、**[ドラフト]** 、**[エラー]** 、**[実行中]**  (開始されたが終了していない)、または**[完了済み]**  です。また、進行状況  0%、シナリオが最後に実行された日付、実行時間も表示されます。

[ステージとルール] ペイン

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<p>[計画コスト] タブ [実績コスト] タブ</p>	<p>計画/実績コストモードに応じて、相互接続されたステージを表示します。</p> <p>[計画コスト] タブでは、計画コストの配賦を行います (たとえば、特定の部署が計画したプロジェクトのためにコンピューターを新規購入する場合など)。</p> <p>[実績コスト] タブでは、現在のコストの配賦を行います (たとえば、本会計年度の最初の四半期に購入したコンピューターの総額を、複数の部署に割り当てる場合など)。</p> <p>このタブには、配賦のステージに関する説明が表示されます。</p> 
<p><ツールヒント></p>	<p>ステージボックスの上にマウスを移動すると、ツールヒントが表示されます。ツールヒントに表示される情報の詳細については、下の<ステージウィンドウ>を参照してください。</p> 
<p>ステージの追加</p>	<p>[ステージの追加] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、配賦シナリオに新しいステージを追加できます。詳細については、「配賦ステージ」(68ページ)を参照してください。</p>

UI要素	説明
<p><ステージウィンドウ></p>	<p>ステージ名をクリックすると、特定のステージウィンドウが開きます。</p>  <p>一番上のセクションには、ステージの名前、説明、選択したディメンションの名前が表示されます。</p> <p>[ルールのリスト] セクションには、使用可能なルールのリストが表示されます。次のいずれかの操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存のルールの1つをクリックして、名前、条件、ターゲットを右ペインに表示します。 ルールをドラッグアンドドロップして順序を変更します。 検索文字列を入力して、その文字列が名前に含まれるルールのみを表示します。検索文字列に大文字と小文字の区別はありません。検索は、現在のステージにアタッチされているルール上でのみ実行されます。 <p>検索文字列を使用して選択したルールをドラッグアンドドロップすることはできません。</p>


UI要素	説明
	<p>たとえば、期間を検索した場合、次のようになります。</p>  <ul style="list-style-type: none">  をクリックすると、ルールウィザードが起動し、ルールを編集できます。詳細については、「[ルールの追加] ウィザード」(75ページ)を参照してください。  をクリックすると、ルールを削除できます。このアクションは、このステージからルールを削除します。配賦エンジンは、シナリオのコストを再計算します。 <p>右側のペインには、現在のステージで使用されているルールの一覧と、ルールの説明が表示されます。</p>
<p>ルールの追加</p>	<p>ルールを追加するには、 をクリックします。</p>

UI要素	説明
<p>全額を渡す</p>	<p>このオプションを選択すると、前のステージで配賦された額の合計が次のステージに渡されます。この合計額には、前のステージで配賦された額と、前のステージで配賦されなかった額が含まれます。矢印は、コストが渡されていることを示します。</p> <div data-bbox="462 426 1058 657" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR subgraph Stage1 [Stage 1] A[Application] C[Pass Full Amount <input -->="" 2]="" <="" <input="" [stage=""]]="" a="" amount="" b="" b[budget]="" c="" checked="" d[pass="" end="" full="" pre="" stage2="" subgraph="" type="checkbox"/> </pre></div> <p>このオプションを選択しない場合、前のステージで配賦された額だけが次のステージに渡されます。前のステージで配賦されなかった額は破棄されます。</p> <div data-bbox="462 772 1370 932" style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例: ステージ1に100.000ドルが入力されました。ステージ1のルールは、40.000ドルを配賦しました。ステージ1で [全額を渡す] が選択されていると、ステージ2での入力額は100.000ドルになります。ステージ1で [全額を渡す] が選択されていないと、ステージ2の入力額は40.000ドルになります。</p> </div>
<p>コストエクスプローラーでテスト</p>	<p>コストエクスプローラーで、シナリオを表示および構成します。詳細については、「コストエクスプローラー」(113ページ)を参照してください。</p> <p>このボタンが有効になるのは、配賦ステータスが[完了]の場合のみです。</p>
<p>KPIエンジンの実行</p>	<p>配賦を計算します。</p>

配賦ステージ

配賦ステージを使用すると、ビジネスモデル内でコストを配分することにより、コスト情報を強化できます。コストをステージに配賦するには、配賦ルールを追加して、使用する基準を指定します。各ステージは、前のステージの結果を使用します。シナリオを定義したら、ステージを追加して構成し、さらに財務配賦を行うことができます。

アクセス方法:

- ステージの追加: [財務] > [配賦管理] をクリックし、[ステージとルール] 領域の [ステージの追加] をクリックします。
- ステージの編集: [財務] > [配賦管理] をクリックし、[ステージとルール] 領域で、編集するステージの  をクリックします。

タスク

UIの説明

タスク

主なタスク: [「配賦管理」\(50ページ\)](#)

本項の内容

[「シナリオの配賦ステージのリストの表示」\(68ページ\)](#)

[「シナリオへの配賦ステージの追加」\(68ページ\)](#)

[「シナリオ内の配賦ステージの順序変更」\(69ページ\)](#)

シナリオの配賦ステージのリストの表示

1. メインツールバーで、[財務] をクリックします。
2. ページ内で、[配賦管理] をクリックします。
3. 配賦シナリオをクリックします。
4. [計画コスト] または [実績コスト] タブをクリックします。
配賦ステージがグラフィカル形式で表示されます。詳細については、[「配賦管理ページ」\(59ページ\)](#) を参照してください。

シナリオへの配賦ステージの追加

コストセンターや組織などの配賦ステージを追加することにより、コスト情報はさらに使いやすくなります。さらにデータを強化する方法として、元データを変更せずに新しいレコードを作成する配賦ルールを使用す

ることができます。配賦ステージと配賦ルールのシーケンスによって、配賦エンジンによるデータの計算方法が決まります。

1. メインツールバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. 配賦シナリオをクリックします。
3. **[計画コストステージ]** タブまたは **[実績コストステージ]** タブをクリックします。
4. **[ステージの追加]** をクリックします。**[ステージの追加]** ウィンドウが開きます。詳細については、「[\[ステージの追加\]](#) / [\[ステージの編集\] ダイアログボックス](#)」(69ページ)を参照してください。
5. 適切な情報を入力して **[保存]** をクリックします。
6. これで、ルールをステージに追加できます。詳細については、「[配賦ルール](#)」(72ページ)を参照してください。
7. **[保存して閉じる]** をクリックして、配賦シナリオ詳細ページに戻り、コストステージのリストを表示します。

シナリオ内の配賦ステージの順序変更

1. メインツールバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. 適切な配賦シナリオを選択します。
3. **[計画コストステージ]** タブまたは **[実績コストステージ]** タブをクリックします。
4. 移動するステージを選択して、新しい位置にドラッグします。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。
5. 配賦エンジンは、新しい順序に基づいてコストを再計算します。

UIの説明

[ステージの追加] / **[ステージの編集]** ダイアログボックス

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 **[財務]** タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、**[配賦管理]**、**[予算管理]**、**[コストエクスプローラー]** のいずれかのタブをクリックしてください。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
名前	ステージの名前を入力します。 ボックスのサイズは、ステージに配賦されている予算を視覚的に表現します。 ステージのボックスをドラッグアンドドロップして、順序を変更できます。
説明	ステージの説明を入力します。

UI要素	説明
ディメンション	<p data-bbox="467 302 1019 331">ドロップダウンリストからディメンションを選択します。</p> <p data-bbox="467 354 1373 451">ディメンションとディメンションプロパティのリストは、ターゲットスキーマから得られます。[計画コスト] タブと[実績コスト] タブに表示されるディメンションのリストは、ターゲットスキーマのディメンションとディメンションプロパティのサブセットです。</p> <div data-bbox="467 478 1373 793" style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"><p data-bbox="483 499 1357 766">注: [財務] タブでは、既定のディメンションを使用して、配賦とコストを作成できます。また、ディメンションをFinancialManagementコンテキストに追加し、ディメンションを元に配賦とコストを作成することもできます。財務環境のニーズに合わせて、既存のディメンションの名前を変更することも可能です。これらの新しいディメンションまたは名前が変更されたディメンションは、このフィールドに表示されます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のIntegration with PPM and Add Dimensions to FinancialManagement Contextを参照してください。</p></div>

配賦ルール

シナリオと配賦ステージを定義したら、配賦ルールを使用して、計画コストと実績コストの間に比較のためのリンクを作成できます。

アクセス方法:

[財務] > [配賦管理] を選択し、ステージのウィンドウで [ルールの追加] をクリックします。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

ルールとステージ

アナリストは、一連の手順を通じてルールを定義することにより、コストレコードを変更できます。配賦ルールを管理するため、ITFMではルールが配賦ステージにグループ分けされます。ステージは、元のコストを強化されたコストセットに変換します。

- 定義されたステージ内で、アナリストはコスト配賦ルールを定義するルールステートメントを作成します。ルールステートメントの最初の部分はソース選択と呼ばれ、配賦する計画または実績コストを定義する役割を果たします。
- ルールステートメントの次の部分はターゲットと呼ばれ、コストの配賦先となります。配布先としては、単一または複数のディメンションが選択できます。
- 計画と実績のステージとルールを定義すると、コストエクスプローラーツールが使用可能になります。コストエクスプローラーは、複数ディメンションのコスト分析を可能にします。アナリストは、計画および実績コストのサマリービューからドリルダウンを行うことができます。

配賦を使うと、コストデータを異なる観点から分析することができます。正確な情報を収集することで、コストの管理が改善されます。

ステージのプレースホルダーとしてルールを追加しておき、後で配賦基準を定義することもできます。すべてのルールが定義されるまで、シナリオはドラフトモードのままです。

新しいデータをロードするETLプロセスは5分ごとにチェックされ、このプロセスが影響を与える配賦シナリオが再計算されます。

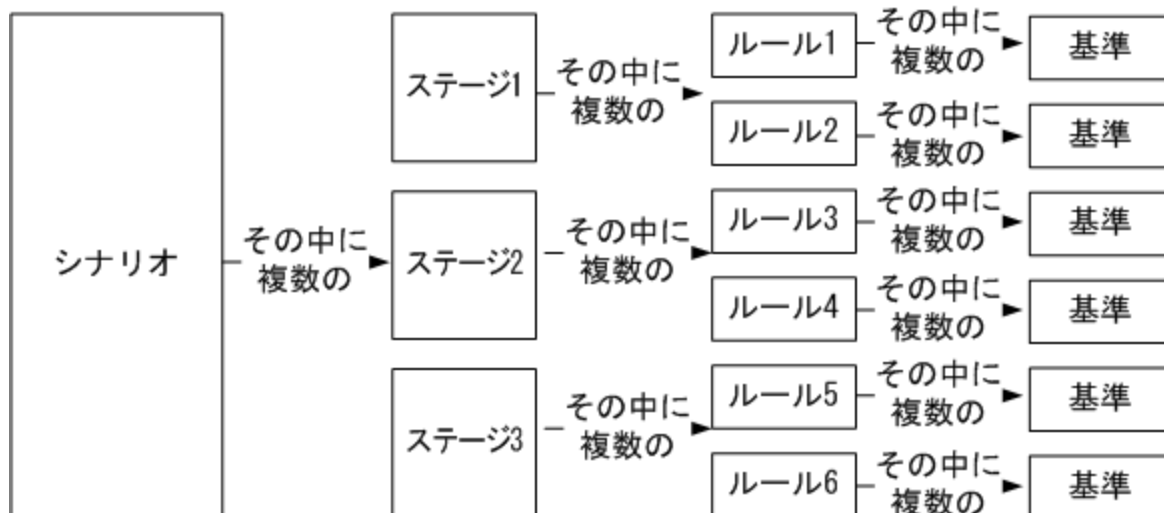
基準

ルール基準では、ルールを適用する条件を指定します。

配賦ルールとは、複数の基準項目をまとめたものであり、コスト明細にフィルターを適用することができます。ステージには0個以上のルールが含まれます。

基準はルールの基本要素であり、特定のディメンション値項目とその条件を含みます。たとえば、アプリケーション名 (側面) が "xs" に等しい (条件) という基準が考えられます。

ディメンションは、特定のプロジェクトの論理的側面を表します。たとえば、BudgetまたはCustomerです。



タスク

主なタスク: 「配賦管理」(50ページ)

本項の内容

「配賦ステージの配賦ルールの表示」(73ページ)

「配賦ステージへの配賦ルールの追加」(74ページ)

「ステージ内の配賦ルールの順序変更」(74ページ)

配賦ステージの配賦ルールの表示

1. メインツールバーで、[財務]> [配賦管理] をクリックします。
2. 配賦シナリオをクリックします。
3. [計画コスト] または [実績コスト] タブをクリックします。

配賦ステージがグラフィカル形式で表示されます。詳細については、「配賦管理ページ」(59ページ)を参照してください。

4. 関連するステージをクリックします。<ステージウィンドウ> ダイアログボックスが開きます。詳細については、「配賦管理ページ」(59ページ)を参照してください。

配賦ステージで使用されるルールのリストは、[ルールのリスト] ペインに表示できます。

配賦ステージへの配賦ルールの追加

1. メインツールバーで、**[財務]** > **[配賦管理]** をクリックします。
2. 配賦シナリオをクリックします。
3. **[計画コスト]** または **[実績コスト]** タブをクリックします。

配賦ステージがグラフィカル形式で表示されます。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。

4. 関連するステージをクリックします。**<ステージウィンドウ>** ダイアログボックスが開きます。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。

配賦ステージで使用されるルールのリストは、**[ルールのリスト]** ペインに表示できます。

5. **[ルールのリスト]** ペインで **[ルールの追加]** をクリックします。**[ルールの追加]** ウィザードが起動します。指示に従ってください。詳細については、「[\[ルールの追加\] ウィザード](#)」(75ページ)を参照してください。

注: ステージのプレースホルダーとしてルールを追加しておき、後で配賦基準を定義することもできます。すべてのルールが定義されるまで、シナリオはドラフトモードのままです。

6. **[ルール基準]** ウィザード ページが開くまで、**[次へ]** をクリックします。
7. **[ディメンションのプロパティのリスト]** から、プロパティまたはディメンションを右ペインにドラッグします。右側にオペレーションのボックスが開きます。
8. ルールによって実行されるオペレーションを **<演算リスト>** で選択します。右側に値ボックスが開きます。
9. **<値>** ボックスに値を入力します。既存の値を持つディメンション ([Application Name] や [Manager Name] など) を選択した場合、このボックスには値のリストが表示されます。
10. または、別のディメンションを選択して、右ペインにドラッグします。右ペインにボックスが追加されるので、**[AND]** または **[OR]** でルールの基準を選択します。または、**[次へ]** をクリックしてルールのターゲットを定義します。
11. **[完了]** をクリックすると、配賦ステージ詳細ページに戻り、ルールのリストが表示されます。

ステージ内の配賦ルールの順序変更

配賦ステージ内の配賦ルールの順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. 配賦シナリオをクリックします。
2. **[計画コスト]** または **[実績コスト]** タブをクリックします。

配賦ステージがグラフィカル形式で表示されます。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。

3. 関連するステージをクリックします。<ステージウィンドウ> ダイアログボックスが開きます。詳細については、「[配賦管理ページ](#)」(59ページ)を参照してください。

配賦ステージで使用されるルールの一覧は、「ルールの一覧」ペインに表示できます。

4. 移動するルールをクリックして、新しい位置にドラッグします。

UIの説明

[ルールの追加] ウィザード

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦管理]、[予算管理]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。

[ルールの追加] ウィザードを使用すると、元データを変更せずに新しいレコードを作成する配賦ルールを追加できます。配賦ステージと配賦ルールのシーケンスによって、配賦エンジンによるデータの計算方法が決まります。

ウィザードマップ

[「\[ルールの一般的な詳細\] ページ」\(75ページ\)](#) > [「\[ルール基準\] ページ」\(76ページ\)](#) > [「ルールのターゲットページ」\(78ページ\)](#)

[ルールの一般的な詳細] ページ

配賦ルールは、計画コストと実績コストの間に比較のためのリンクを作成するために使用します。配賦ルールのインターフェイスを使用すれば、有効なルールをすばやく容易に作成できます。

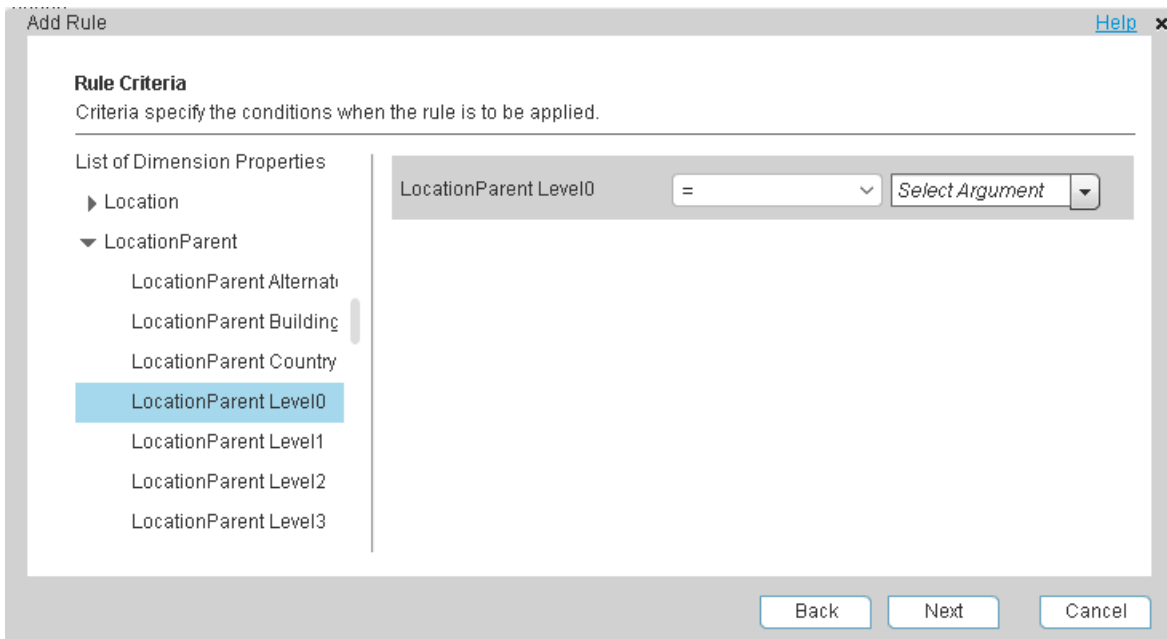
このウィザードページでは、特定の計画コストまたは実績コストの配賦を定義できます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
名前	ルールの名前。
説明	ルールの説明。

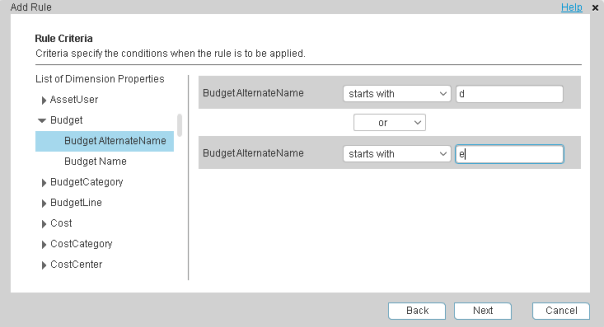
[ルール基準] ページ

このウィザードページでは、ルールを適用する条件を指定できます。



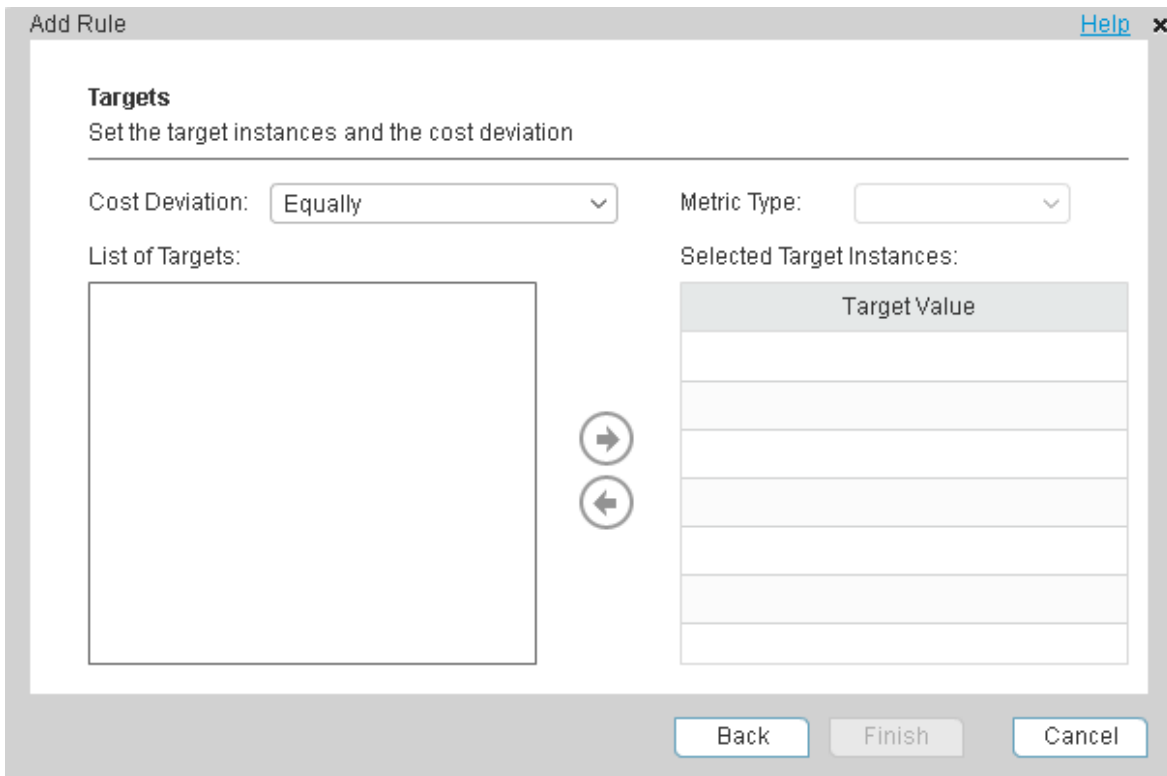
ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<p>ディメンションのプロパティのリスト</p>	<p>ディメンションとディメンションプロパティのリストは、ターゲットスキーマから得られます。[計画コスト] タブと[実績コスト] タブに表示されるディメンションのリストは、ターゲットスキーマのディメンションとディメンションプロパティのサブセットです。</p> <p>注: [財務] タブでは、既定のディメンションを使用して、配賦とコストを作成できます。また、ディメンションをFinancialManagementコンテキストに追加し、ディメンションを元に配賦とコストを作成することもできます。財務環境のニーズに合わせて、既存のディメンションの名前を変更することも可能です。これらの新しいディメンションまたは名前が変更されたディメンションは、このフィールドに表示されません。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』の Integration with HP Project and Portfolio Management (PPM) and Impact on ITFM を参照してください。</p>
<p><ドラッグアンドドロップ></p>	<p>[ディメンションのプロパティのリスト] から、プロパティまたはディメンションを右ペインにドラッグします。右側にオペレーションのボックスが開きます。</p> <p>ルールによって実行されるオペレーションを <演算リスト> で選択します。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ディメンションまたはプロパティが文字列形式の場合、[=]、[<>] (「異なる」の意味)、[(次のいずれか)] (複数のディメンションまたはプロパティを指定でき、ルールはそれらに含まれるディメンションまたはプロパティに対して適用されます)、[(Null)]、[(Null以外)]、[(次で始まる)]、[(次で終わる)]、または [(次を含む)]。

UI要素	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • デイメンションまたはプロパティが数値形式の場合、[=]、[<]、[<=]、[>]、[>=]、[<>]、[(Null)]、[(Null以外)]。 • デイメンションまたはプロパティがデイメンション形式の場合、[(現在次と等しい)]、[(履歴で次と等しい)]、[(有効)]、[(不明)]、[(無効)]。このオプションは、デイメンション自体 (例: 組織 やアプリケーションなど) を選択すると指定できます。 • デイメンションまたはプロパティが日付形式の場合、[(次の日より後)]、[(次の日以降)]、[(次の日より前)]、[(次の日以前)]、[<>] (「異なる」という意味)、[(Null)]、または [(Null以外)]。 <p>右側に値ボックスが開きます。</p> <p><値> ボックスに値を入力します。既存の値を持つデイメンション ([Application Name] や [Manager Name] など) を選択した場合、このボックスには値のリストが表示されます。手動で値を入力することもできます。</p> <p>例: 基準額が4500を超え、予算名がNullでない場合に配賦を行うには、次のフィールド入力を行います。</p> 

ルールのターゲットページ

このウィザードページでは、ルールのターゲットを選択できます。



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
コスト偏差	<p>コストは次のようにターゲットに配賦できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Equally: 額を均等に配分します。たとえば、Dept1とDept2がある場合、配賦エンジンは、各コスト行の50%をDept1に、50%をDept2に配賦します。ターゲットを1つだけ指定した場合は、コストの100%がそのターゲットに配賦されます。 Equally - すべてのターゲット: すべてのターゲット間で額を均等に配分します。 By percentage: 各ターゲットの割合 (%) を入力して配分します。たとえば、Dept1とDept2がある場合、配賦エンジンは、各コスト行の70%をDept1に、30%をDept2に配賦します。 Metric based - selected targets. メトリックベースの配賦は、期間ごとに変化する値で動的にコストを配分します。たとえば、組織の人数、プロジェクトが消費しているディスクスペースの大きさ、ユーザーが登録したサービスチケットの数などです。 Metric based - all targets: メトリックベースの配賦は、期間ごとに変化する値で動的にコストを配分します。たとえば、組織の人数、プロジェクトが消費しているディスクスペースの大きさ、ユーザーが登録したサービスチケットの数などで

UI要素	説明																						
	<p>す。</p> <p>詳細については、「配賦シナリオ」(55ページ)を参照してください。</p> <p>メトリックベースの配賦のデータは、ディメンション名、メトリック名、および期間の組み合わせに基づく情報を含むテーブルから得られます。有効なデータの提供と、テーブルを使用したメトリックベース配賦のロードについては、『Data Warehouse Administration Guide』を参照してください。</p>																						
<p>メトリックタイプ</p>	<p>メトリックベースの配賦 ([Metric based - selected targets] または [Metric based - all targets]) を選択した場合、リストからメトリックタイプを選択します。選択したディメンションのメトリックテーブルに、メトリック名のリストが表示されます。配賦の合計額の分割には、メトリックを使用することもできます。たとえば、会社名の先頭の文字に基づいて合計額を分割するメトリックを作成し、使用することができます。</p> <p>メトリックタイプの配賦を使用する場合、配賦メトリック構成を維持する必要があります。ステージで配賦されるディメンションには、配賦メトリック構成内のディメンション名とのマップされた関係があり、マッピングは以下の既定のテーブルに従う必要があります。既定のテーブルは、 <HPXS>\agora\DataWarehouse\ExternalSources\AllocationMetric.xlsにあります。ETLを実行すると、AllocationMetric.xlsファイルがロードされます。</p> <p>既定のテーブルを使用する場合、Customerディメンションでステージを作成し、Metric basedメトリックタイプを追加すると、[メトリックタイプ]ドロップダウンフィールドにORGディメンションの値が表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="467 1115 1377 1749"> <thead> <tr> <th>ステージディメンション</th> <th>メトリックディメンション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Application</td> <td>APPLICATION</td> </tr> <tr> <td>Asset</td> <td>ASSET</td> </tr> <tr> <td>Budget</td> <td>BUDGET</td> </tr> <tr> <td>BudgetLine</td> <td>BUDGETLINE</td> </tr> <tr> <td>Cost</td> <td>COST</td> </tr> <tr> <td>CostCategory</td> <td>COSTCATEGORY</td> </tr> <tr> <td>CostCenter</td> <td>COSTCENTER</td> </tr> <tr> <td>Customer</td> <td>ORG</td> </tr> <tr> <td>IncurredPerson</td> <td>PERSON</td> </tr> <tr> <td>ITFunction</td> <td>ITFUNCTION</td> </tr> </tbody> </table>	ステージディメンション	メトリックディメンション	Application	APPLICATION	Asset	ASSET	Budget	BUDGET	BudgetLine	BUDGETLINE	Cost	COST	CostCategory	COSTCATEGORY	CostCenter	COSTCENTER	Customer	ORG	IncurredPerson	PERSON	ITFunction	ITFUNCTION
ステージディメンション	メトリックディメンション																						
Application	APPLICATION																						
Asset	ASSET																						
Budget	BUDGET																						
BudgetLine	BUDGETLINE																						
Cost	COST																						
CostCategory	COSTCATEGORY																						
CostCenter	COSTCENTER																						
Customer	ORG																						
IncurredPerson	PERSON																						
ITFunction	ITFUNCTION																						

UI要素	説明																		
	<table border="1" data-bbox="467 302 1369 827"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 302 899 359">ステージディメンション</th> <th data-bbox="899 302 1369 359">メトリックディメンション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 359 899 415">Location</td> <td data-bbox="899 359 1369 415">LOCATION</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 415 899 472">Manager</td> <td data-bbox="899 415 1369 472">PERSON</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 472 899 529">Organization</td> <td data-bbox="899 472 1369 529">ORG</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 529 899 585">期間</td> <td data-bbox="899 529 1369 585">PERIOD</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 585 899 642">Program</td> <td data-bbox="899 585 1369 642">PROGRAM</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 642 899 699">プロジェクト</td> <td data-bbox="899 642 1369 699">PROJECT</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 699 899 756">Service</td> <td data-bbox="899 699 1369 756">SERVICE</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 756 899 812">Supplier</td> <td data-bbox="899 756 1369 812">ORG</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="483 869 1352 1003">注: レコードをテーブルに追加できますが、既定のテーブルにリストされているものを削除することはできません。変更する場合、構成ファイルは <HPXS>\agora\DataWarehouse\ExternalSources\AllocationMetric.xls として保存します。</p>	ステージディメンション	メトリックディメンション	Location	LOCATION	Manager	PERSON	Organization	ORG	期間	PERIOD	Program	PROGRAM	プロジェクト	PROJECT	Service	SERVICE	Supplier	ORG
ステージディメンション	メトリックディメンション																		
Location	LOCATION																		
Manager	PERSON																		
Organization	ORG																		
期間	PERIOD																		
Program	PROGRAM																		
プロジェクト	PROJECT																		
Service	SERVICE																		
Supplier	ORG																		
<p data-bbox="240 1052 431 1079">ターゲットのリスト</p>	<p data-bbox="467 1052 724 1079">次のように選択します。</p> <ul data-bbox="475 1115 1377 1833" style="list-style-type: none"> • [Equally] を選択し、ターゲットを選択した場合、ターゲットがリストされ、配賦される額はターゲットの間に均等に分配されます。 • [Equally - すべてのターゲット] を選択するとすべてのターゲットが選択され、配賦される額はターゲットの間に均等に分配されます。 • [By percentage] を選択し、ターゲットを選択した場合、割合を指定するための追加の列が表示されます。配賦される額は、指定した割合に基づいてターゲットの間に配分されます。ターゲットに割り当てる割合の合計は100%である必要があります。 • [Metric based - selected targets] を選択すると、選択したメトリックタイプに応じて、配賦額が選択したターゲットに配分されます。すべてのターゲットのコストはユーザー定義のメトリックにより配分されます。 • [Metric based - all targets] を選択すると、ターゲットがすべて選択されます。配賦額は、選択したメトリックに基づいてすべてのターゲットに配分されます。 • 複数のターゲットを選択するには、[Ctrl] キーを押しながら、目的のターゲットを選択します。 • すべてのターゲットを選択するには、[Ctrl] キーと[Shift] キーを同時に押しなが 																		

UI要素	説明
	<p>ら、[ターゲットのリスト] または [選択したターゲットインスタンス] にカーソルを置きます。</p>
<p>選択したターゲットインスタンス / ターゲット値 / パーセント</p>	<p>選択したターゲットインスタンスのリスト。</p> <p>[By Percentage] を選択すると、[Target Values] 列と [Percentage] 列が表示されます。この列で、ターゲット値と、各ターゲット値に適用する割合 (%) を指定します。</p> <p>ターゲットはアルファベット順に表示されます。</p>

メトリック配賦またはExcelまたは.CSVファイルを使用した配賦

Excelまたは.CSVファイルを使用して配賦を行うことができます。

注: 通常、配賦は各期間で同じ割合を使用して作成されます。Excelまたは.CSVファイルを使用して配賦を作成すると、各期間にそれぞれ異なる割合を割り当てることができます。

アクセス方法:

[財務] > [配賦管理] をクリックします。

詳細情報

タスク

● 詳細情報

配賦の詳細については、「[配賦管理](#)」(50ページ)を参照してください。

● タスク

主なタスク: 「[配賦管理](#)」(50ページ)

Excelまたは.CSVファイルを使用した配賦

1. 各メトリックに対して使用する配賦を指定するExcelまたは.CSVファイルを作成します。

ファイルの形式は、各メトリック(たとえばRegisteredUsersProcessingServicesメトリック)に対して次の形式を取ります。必要な情報は、ディメンションの名前と、各期間(期間の開始と期間の終了で指定)に対して、ディメンションの値、メトリックの大きさです。

METRIC_NAME	METRIC_DESCRIPTION	DIMENSION_NAME	PERIOD_DATE_START	PERIOD_DATE_END	DIMENSION_VALUE	METRIC_AMOUNT
RegisteredUsersProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	I.S. Department	12000
RegisteredUsersProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	Production	10000

METRIC_NAME	METRIC_DESCRIPTION	DIMENSION_NAME	PERIOD_DATE_START	PERIOD_DATE_END	DIMENSION_VALUE	METRIC_AMOUNT
RegisteredUsersProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	Research	9000
RequestsProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	I.S. Department	1500000
RequestsProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	Production	1200000
RequestsProcessingServices		ORG	1/1/2010	1/31/2010	Storage-Packaging	1200000

- DIMENSION_NAME列に入力する文字列は、ディメンションに対応するターゲットデータベーステーブル名 (dwt.<dimension_name>_DIM) の内部文字列です。

ビューの名前は、XS.<dimension_name>_DIM_Vです。

例: テーブルの名前がdwt.ORG_DIMの場合、DIMENSION_NAME列に入力する文字列はORGです。ビューの名前は、XS.ORG_DIM_Vです。

- ExcelまたはCSVファイルのDIMENSION_VALUE列に表示される値は、ターゲットデータベースのdwt.<dimension_name>_DIMテーブルの<dimension_name>_NAMEまたは<dimension_name>_NAME_ALT列にある必要があります。

例: ターゲットデータベースのdwt.ORG_DIMテーブルのORG_NAMEまたはORG_NAME_ALT列に値 I.S. Departmentが存在する必要があります。

- すべてのターゲットを選択した場合、指定した期間でMETRICIZEの特定のDIMENSION_VALUEに与えられる配賦の割合は、METRIC_AMOUNT (DIMENSION_VALUEの)を、同じMETRIC_NAMEと同じ期間内のすべてのMETRIC_AMOUNTの合計で割った値として計算されます。

例: 上の表で、I.S. Departmentの2010年1月の配賦割合は、12000/(12000 + 10000 + 9000)です。

推奨事項: すでに存在するdwtテーブルと同じ名前の外部テーブルを使用しないでください。たとえば、dwt.PERSON_DIMテーブルが存在している場合に、XS.PERSON_DIMテーブルを作成しないでください。

2. Excelまたは.CSVファイルを次のディレクトリに保存します。
<HPXS>\agora\DataWarehouse\ExternalSources
3. ETLを実行します。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』の[ETLの管理と監視](#)を参照してください。

ETLはExcelまたは.CSVファイルをターゲットデータベースにロードして、FinancialManagementコンテキストで使用できるようにします。

ETLは、.CSVファイルの次に示す列の情報を使用して、ターゲットデータベースの **dwt.ALLOCATION_METRIC** テーブルの関連する列に情報を入力します。

- PERIOD_DATE_STARTおよびPERIOD_DATE_END列を使用して、PERIOD_ID列の内容を計算し、入力します。
- .CSVファイルのDIMENSION_VALUE列を使用して、DIMENSION_IDおよびDIMENSION_DK列に入力します。
- .CSVファイルのDIMENSION_NAME列を使用して、DIMENSION_ID、DIMENSION_DK、MD_DURABLE_KEY列に入力します。
- .CSVファイルのMETRIC_AMOUNT列を使用して、METRIC_AMOUNT列に入力します。

dwt.ALLOCATION_METRIC テーブルは次のようになります。

	MD_DURABLE_KEY	MD_LASTMODDATE	MD_TRANSENDDATE	MD_TRANSLASTIND	ORG_NAME	PK_ORG_ID
21	24	NULL	NULL	Y	Deliveries	24
22	25	NULL	NULL	Y	Dell Computer	25
23	26	NULL	NULL	Y	DistriAll	26
24	27	NULL	NULL	Y	E.A.F	27
25	28	NULL	NULL	Y	Finance	28
26	29	NULL	NULL	Y	Hardware House	29
27	30	NULL	NULL	Y	Helpdesk	30
28	31	NULL	NULL	Y	Hewlett Packard	31
29	32	NULL	NULL	Y	I.S. Department	32
30	33	NULL	NULL	Y	IBM Corp.	33

4. **[財務] > [配賦管理]** をクリックします。
5. 配賦シナリオを追加します。詳細については、「[配賦シナリオの追加](#)」(57ページ)を参照してください。
6. シナリオに配賦ステージを追加します。詳細については、「[シナリオへの配賦ステージの追加](#)」(68ページ)を参照してください。
7. 配賦ステージにルールを追加し、ルールの一般的詳細とルール基準を指定します。詳細については、「[配賦ステージへの配賦ルールの追加](#)」(74ページ)を参照してください。
8. [ルールの編集] ページの **[コスト偏差]** フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。

- **Metric based - selected targets.** メトリックベースの配賦は、期間ごとに変化する値で動的にコストを配分します。たとえば、組織の人数、プロジェクトが消費しているディスクスペースの大きさ、ユーザーが登録したサービスチケットの数などです。

このオプションを選択すると、コストは選択したターゲットに配分されます。

- **Metric based - all targets:** メトリックベースの配賦は、期間ごとに変化する値で動的にコストを配分します。たとえば、組織の人数、プロジェクトが消費しているディスクスペースの大きさ、ユーザーが登録したサービスチケットの数などです。

このオプションを選択すると、コストは上記のようにExcelまたはCSVファイルに定義された配賦割合 (比率) で各ターゲットに配分されます。

詳細については、「[ルールのターゲットページ](#)」(78ページ)を参照してください。

9. **[メトリックタイプ]** フィールドで、適切なタイプを選択します。このフィールドに表示される値は、ExcelまたはCSVファイルのMETRIC_NAMEに対応します。すべてのターゲットが**[ターゲットのリスト]**に表示されます。
10. **[ターゲットのリスト]** で、適切なターゲット (リストに表示されるのはExcelまたはCSVファイルのDIMENSION_VALUE列の内容) を選択し、**[選択したターゲットインスタンス]** にドラッグします。配賦は、ExcelまたはCSVファイルのMETRIC_AMOUNT列に記述された大きさに基づいて、選択したターゲット (DIMENSION_VALUE) に対してのみ行われます。
11. **[完了]** をクリックします。

IT Financial Managementで使用されるKPIのカスタマイズ

注: 次の手順は上級ユーザー向けです。

サポートされているHPデータソースの一部をカスタマイズするには、これらのデータソースからインポートされたKPIを変更するか、これらのデータソースから新しいKPIを追加します。

関連する各データソースからインポートされた設定済みKPIのリストは、ITFM_KPIS.xlsxファイルに含まれています。詳細については、[Excel形式のITFM KPI](#)を参照してください。

タスク

ITFMモジュール用のワークブックの変更

AllocationMetric.xls、**CostCategory.xls**、**Budget.xls**の各ワークブック (ファイル) には、ITFMの配賦および予算モジュールに必要な情報のリストが含まれています。これらは外部ソースと見なされ、独自のITFMビジネスに基づいて独自のカスタマイズ済みデータを入力できます。

これらのワークブックは、ETLプロセスで外部データを取得するために使用されます。

KPIは関連するデータソースから抽出され、XSIにインポートされます。KPIを変更したり、これらのデータソースから他のKPIを**AllocationMetric.xls**、**CostCategory.xls**、**Budget.xls**ファイルに追加したりできます。

これらのワークブックは、ETLプロセスでステータス指標用の外部データを取得するために使用されます。

これらのワークブックを変更するには、次の手順を実行します。

1. 関連するワークブックフォルダー <\$INSTALL_
DRIVEPATH\$>\HPXS\Iagora\DataWarehouse\ExternalSources の関連するワークブックにアクセスし、具体的な指示 (使用可能な場合) に従ってワークブックを変更します。各ワークブックの詳細は以下に示します。

ワークブックは自動的にアクティブ化されます。

2. すべてのKPI値を表示するには、AMおよびPPMのデータソースをアクティブ化する必要があります (詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Asset Manager』の [AM Data Source](#) と『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of HP Project and Portfolio Management』の [PPM Data Source](#) を参照してください)。
3. 一部のコストデータがAMおよびPPM関連のコンテンツパックから直接取得できない場合、代替データソース (ALT) 手順を活用して、これらの関連コストを入力できます (詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of Alternate Data Sources』の [Alternate Source Integration](#) を参照してください)。これで、これらのコストをITFMモジュールとKPIで表示できます。
4. 代替ソース統合手順を使用してワークブックをアクティブ化します。詳細については、『IT Executive Scorecard Content Reference Guide for the Integration of Alternate Data Sources』の [Alternate Source Integration](#) を参照してください。

予算管理

予算ツールは、IT Financial Management (ITFM) のコンポーネントの1つです。このツールを使用して、IT 財務マネージャーは、3つの異なる計画期間に対して予算を計画できます。1年、2年、または3年です。予算ツールでは、次のオプションが提供されています。

- 予算を定義します。
- すべてまたは選択したITコストセンターマネージャーに通知を送信します。
- コストセンターごとに予算データを入力します。
- 1つまたはすべてのITコストセンターについて、レビュープロセスのステータスをチェックします。
- 統合した予算のグラフィカルビューをレビューします。
- 予算を公開して割り当てモジュールで使用できるようにします。

アクセス方法:

[財務] タブをクリックし、[予算管理] を選択します。

詳細情報

タスク

UIの説明

詳細情報

役割と権限

- 予算コーディネーターとコストセンターマネージャーには、設定済みの役割である**BUDGET_COORDINATOR** (**View consolidated budget**権限と**Manage cost center budget**権限を含む) が割り当てられています。
- 財務アナリストとCIO/CFOには、設定済みの役割である**FINANCIAL_ANALYST** (**Manage Cost Center Budget**権限、**View Consolidated Budget**権限、**Manage allocation scenarios**権限を含む) が割り当てられています。

役割と権限の詳細については、『IT Executive Scorecard 管理者ガイド』の[役割の機能](#)を参照してください。

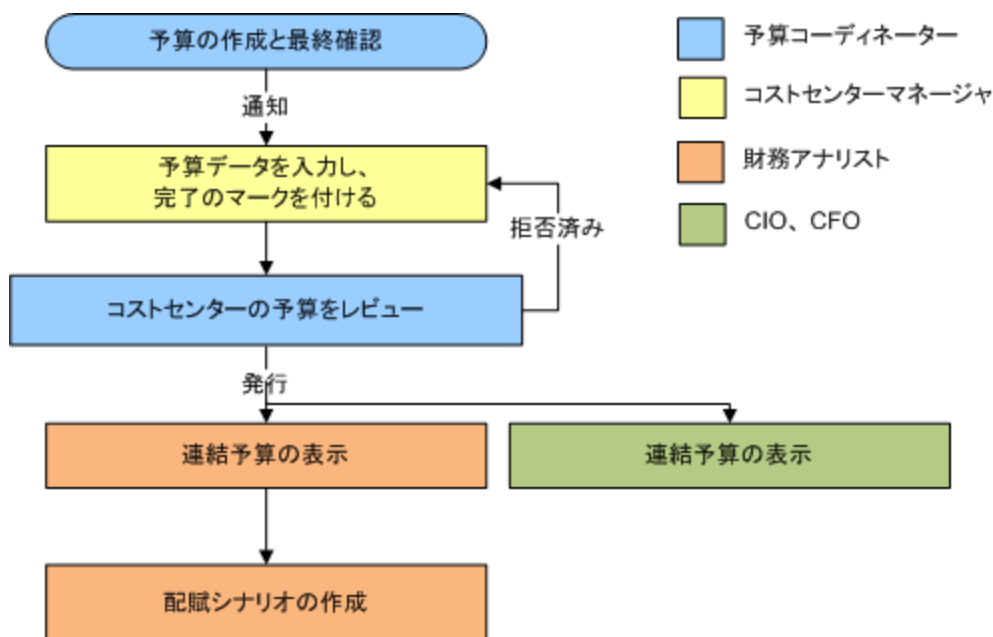
重要な情報

- ユーザーに割り当てられた役割と権限、および組織内でのユーザーの役割によっては、このページの一部の機能が使用できない場合があります。

- また、ライフサイクル中の1つのステップが正常に完了していない場合、その次のステップに進めない場合があります。たとえば、予算情報を入力しない限り、予算を最終確定することはできません。

予算のライフサイクル

予算の作成のための手順には、複数のエグゼクティブが関与します。予算コーディネーター、コストセンターマネージャー、財務アナリスト、およびCIOまたはCFOです。



タスク

本項では次のタスクについて説明します。

[「予算の作成と管理」\(89ページ\)](#)

[「コストセンターマネージャーへの通知の送信」\(90ページ\)](#)

予算の作成と管理

1. 予算コーディネーターは、予算の作成、予算の構成、予算定義の最終確定、担当コストセンターマネージャーへの通知を行います。予算コーディネーターの作業の詳細については、「[予算の作成](#)」(97ページ)を参照してください。
2. コストセンターマネージャーは、担当するコストセンターの予算データを入力し、コストセンターの予算に完了のマークを付けます。コストセンターマネージャーの作業の詳細については、「[コストセンターの予算データ入力または完了マークの追加](#)」(103ページ)を参照してください。

3. 予算コーディネーターは、コストセンターの詳細予算をレビューし、承認または拒否します。拒否された予算は、担当のコストセンターマネージャーにレビューのために戻されます。承認された予算には、承認済みのマークが付けられます。予算のコストセンターがすべて承認されると、予算コーディネーターは統合予算の表示と発行を行います。予算コーディネーターの作業の詳細については、「[予算の作成](#)」(97ページ)を参照してください。
4. CIOは統合予算を表示できます。
5. 財務アナリストは、統合予算を表示して、配賦シナリオを作成できます。財務分析の作業の詳細については、「[統合予算の発行](#)」(109ページ)を参照してください。

コストセンターマネージャーへの通知の送信

予算コーディネーターの権限がある場合、コストセンターマネージャーにそれぞれが担当するコストセンターのステータスを通知できます。

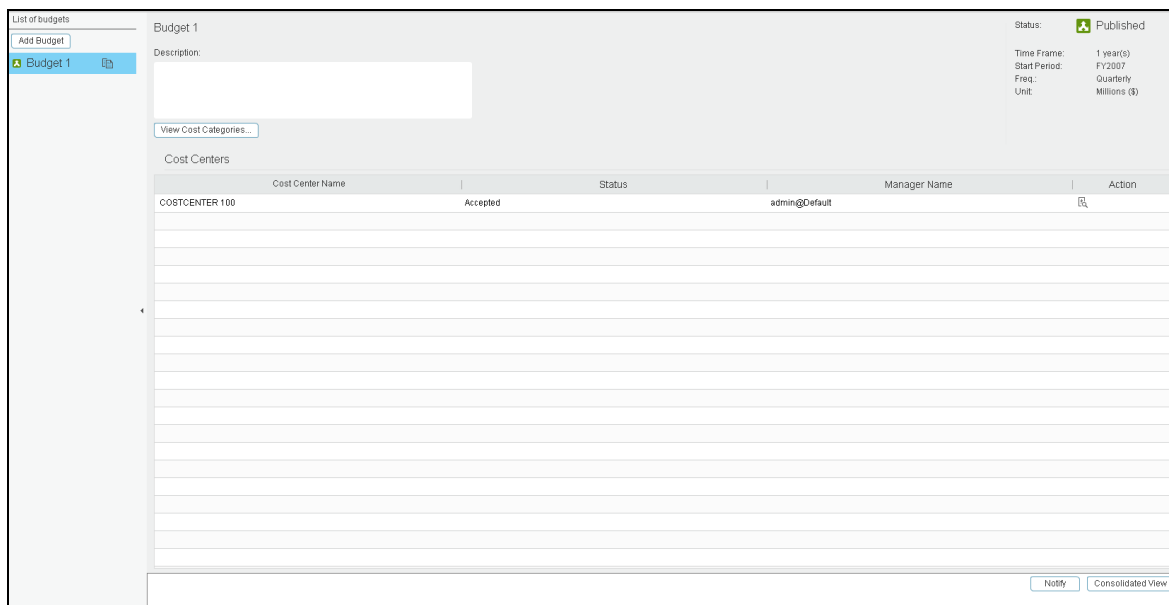
1. メインメニューバーで、**[財務]** > **[予算管理]** をクリックします。
2. コストセンター領域でコストセンター予算を選択し、**[通知]** を選択します。

[通知管理]画面が開きます。
3. 通知対象となるコストセンターマネージャーを選択します。
4. **[送信]** をクリックします。既定のメールクライアントが開き、選択したコストセンターのコストセンターマネージャーに送信する電子メールの下書きが表示されます。メールの内容は編集できます。
5. **[送信]** をクリックします。

UIの説明




予算のメインページ





注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦管理]、[予算管理]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。



<左ペイン>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
	クリックすると、[予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで新しい予算を作成できます。詳細については、「 [予算の新規作成/編集] ダイアログボックス 」(100ページ)を参照してください。
	選択した予算のコピーを作成。 クリックすると、選択した予算をコピーできます。 [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスが開き、選択した予算の構成が表示されるので、変更を加えることができます。詳細については、「 [予算の新規作成/編集] ダイアログボックス 」(100ページ)を参照してください。 統合予算をコピーして、新しい予算のテンプレートとして使用できます。
	選択した予算を削除。 クリックすると、選択した予算を削除できます。 発行された予算は削除できません。





UI要素	説明
<予算名>	<p>予算の名前と、ステータスを示すアイコンが表示されます。</p> <p> ドラフト: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [保存] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 定義済み: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [最終確定] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 完了済み: すべてのコストセンターマネージャーが担当のコストセンター予算のステータスを [完了済み] にし、そのコストセンターすべてを含む予算を予算コーディネーターが [承認済み] にすると、予算のステータスは [完了済み] になります。</p> <p> 発行済み: 予算コーディネーターが、ステータスが [完了済み] の予算で [統合ビュー] をクリックしてから [発行] をクリックすると、予算ステータスは [発行済み] に変わります。このステータスは変更できません。</p>

<一番上の領域>

左ペインで予算を選択すると、右ペインに詳細が表示されます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。



UI要素	説明
名前	予算の名前。名前は240文字に制限されます。
説明	予算の説明。

UI要素	説明
ステータス	<p>予算のステータス。次のいずれかです。</p> <p> ドラフト: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [保存] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 定義済み: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [最終確定] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 完了済み: すべてのコストセンターマネージャーが担当のコストセンター予算のステータスを [完了済み] にし、そのコストセンターすべてを含む予算を予算コーディネーターが [承認済み] にすると、予算のステータスは [完了済み] になります。</p> <p> 発行済み: 予算コーディネーターが、ステータスが [完了済み] の予算で [統合ビュー] をクリックしてから [発行] をクリックすると、予算ステータスは [発行済み] に変わります。このステータスは変更できません。</p>
タイムフレーム	予算のタイムフレーム。可能な値: 1、2、または3年。
開始期間	予算期間の開始日付。
頻度	予算の粒度。
単位	予算の単位。[千] または [百万] を選択できます。

コストセンター

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。


UI要素	説明
コストセンター名	コストセンターの名前。
ステータス	<p>予算のステータス。次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 未開始 • 進行中 • 承認済み • 完了済み • 通知済み • 拒否済み

UI要素	説明
マネージャー名	コストセンターマネージャーの名前。
アクション	<p>次のいずれかを選択します。</p> <p> - コストセンターの予算データを確認および管理します。クリックすると、コストセンターの予算ビューが開きます。詳細については、「コストセンターの予算データ入力または完了マークの追加」(103ページ)を参照してください。</p> <p> - 予算定義が最終確認されていないため、予算データを確認または管理できません。</p>
編集	<p>[予算の新規作成/編集]ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスでは、権限に応じて既存の予算を編集できます。詳細については、「[予算の新規作成/編集]ダイアログボックス」(100ページ)を参照してください。</p>

予算の作成

Budget Coordinatorは、予算の作成と編集、コストセンターとコストカテゴリの追加、予算定義の最終確定を実行できます。

アクセス方法:

- 予算を作成するには、[財務] タブをクリックし、[予算管理] を選択します。予算のメインページで、 をクリックします。
- 予算を編集するには、[財務] タブをクリックし、[予算管理] を選択します。予算のメインページが開いたら、左ペインで予算名を選択し、[編集] をクリックします。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

- ユーザーに割り当てられた役割と権限、および組織内でのユーザーの役割によっては、このページの一部の機能が使用できない場合があります。
- また、ライフサイクル中の1つのステップが正常に完了していない場合、その次のステップに進めない場合があります。たとえば、予算情報を入力しない限り、予算を最終確定することはできません。

● タスク

主なタスク: 「[予算管理](#)」(88ページ)

本項では次のタスクについて説明します。

「[ユースケースシナリオ](#)」(97ページ)

「[予算の作成](#)」(98ページ)

「[予算へのコストセンターの追加](#)」(98ページ)

「[予算に含めるコストカテゴリグループの作成](#)」(98ページ)

「[コストカテゴリグループへのコストカテゴリの追加](#)」(98ページ)

「[予算定義の最終確定](#)」(98ページ)

「[完成したコストセンター予算の確認、承認、拒否](#)」(99ページ)

ユースケースシナリオ

詳細については、『IT Executive Scorecardスタートアップガイド』の[使用例 - ITFM - 予算テンプレートの作成](#)を参照してください。

予算の作成

1. [財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、[予算の追加] をクリックします。
2. 必須フィールドに入力します。
3. [保存] をクリックします。

予算へのコストセンターの追加

1. [財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、予算を選択します。
2. ソース領域でコストセンターを選択します。また、[Ctrl] キーを押すとコストセンターを複数選択できます。
3. 矢印をクリックすると、選択したコストセンターが[選択したコストセンター]領域に移動します。これにより、このコストセンターは予算に追加されます。
4. [保存] をクリックします。

予算に含めるコストカテゴリグループの作成


1. [財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、予算を選択します。
2. [選択したコストカテゴリ]領域で[グループの作成]をクリックすると、[新規グループ]フォルダーが追加されます。
3. [新規グループ]をクリックし、コストカテゴリグループの名前を入力します。例：ハードウェア。
4. [保存] をクリックします。

コストカテゴリグループへのコストカテゴリの追加

1. [財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、予算を選択します。
2. [選択したコストカテゴリ]領域で、コストカテゴリに追加するグループをクリックします。
3. ソースペインでコストカテゴリを選択します。複数のコストカテゴリを選択するには、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。
4. 矢印をクリックすると、選択したコストカテゴリが、選択したグループに移動します。
5. [保存] をクリックします。

予算定義の最終確定

Manage Consolidated Budget の権限がある場合、予算の定義を最終確定できます。

1. メインメニューバーで、[財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、予算を選択します。
2. [アクション] 列で、最終確定するコストセンター予算の隣にある [このコストセンターの予算データを確認および管理します。] をクリックします。


[コストセンターの予算ビュー] ダイアログボックスが開きます。

3. [最終確定] をクリックします。
4. [OK] をクリックして、予算の最終確定を実行することを確認します。

[コストセンターの予算ビュー] ダイアログボックスが閉じます。予算ステータスは [定義済み] のままです。

完成したコストセンター予算の確認、承認、拒否

Manage Consolidated Budgetの権限がある場合、完成したコストセンター予算の確認、承認、拒否を実行できます。

1. メインメニューバーで、[財務] > [予算管理] をクリックします。予算のメインページで、予算を選択します。
2. [アクション] 列で、確認したいコストセンター予算の隣にある [このコストセンターの予算データを確認および管理します。] をクリックします。

[コストセンターの予算ビュー] ダイアログボックスが開きます。

3. コストカテゴリグループを選択し、予算額をレビューします。
4. コストセンター予算を承認するには、[承認] をクリックします。コストセンターマネージャーに変更を求めるには、[拒否] をクリックします。コストセンター予算を拒否した場合、コストセンターマネージャーに電子メールが送信され、予算が拒否されたことと、変更が必要なことが通知されます。コストセンターマネージャーが予算を編集して完了のマークを付けた後で、もう一度承認または拒否を行うことができます。
5. コストセンター予算の変更内容を確認し、[保存] をクリックします。
6. [閉じる] をクリックします。
7. レビューするすべてのコストセンター予算に対して手順1～6を繰り返します。

UIの説明

[予算の新規作成/編集]ダイアログボックス

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦管理]、[予算管理]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。

New/Edit Budget
✕

*Name:

Description:

*Time Frame (years):

*Start Period:

*Freq.:

*Unit:

Available cost centers

Cost Center Name	Manager Name
COSTCENTER 100	admin@Default
COSTCENTER 1000	admin@Default
COSTCENTER 200	admin@Default
COSTCENTER 300	admin@Default
COSTCENTER 400	admin@Default
COSTCENTER 500	admin@Default
COSTCENTER 600	admin@Default

*Selected cost centers

Cost Center Name	Manager Name

Available cost categories

- Business insurance
- Clothing equipment
- Cloud Infrastructure
- Cloud Infrastructure
- Cloud Infrastructure
- Cloud Infrastructure

*Selected cost categories * Create Group

▶ New Group

<一番上の領域>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
名前	予算の名前を入力します。名前は240文字に制限されます。
説明	予算の説明を入力します。説明は255文字に制限されます。
期間 (年)	予算の期間を選択します。可能な値: 1、2、または3年。
開始期間	予算の期間を開始する会計年度を選択します。
頻度	<p>予算のデータ入力の間隔を選択します。次のように選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月: コストセンターマネージャーは各月の予算額を入力できます。 毎四半期: コストセンターマネージャーは各四半期の予算額を入力できますが、月ごとの額は編集できません。 毎年: コストセンターマネージャーは各会計年度の予算額を入力できますが、月ごとまたは四半期ごとの額は編集できません。
単位	予算額の単位を選択します。[千] または [百万] が選択できます。

<コストセンターの領域>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
利用可能なコストセンター	<p>使用可能なコストセンターが表形式で表示されます。</p> <p>コストセンター名/マネージャー名を選択して矢印をクリックすると[選択したコストセンター]の表に移動します。</p>
選択したコストセンター	<p>選択したコストセンターです。</p> <p>コストセンター名/マネージャー名を選択して矢印をクリックすると、[使用可能なコストセンター]の表に移動します。</p>

<グループの領域>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
------	----

<p>グループの作成</p>	<p>クリックすると、予算に含めるコストカテゴリグループを作成できます。表示されるボックスに、コストカテゴリグループの名前を入力します。作成したグループには、必要なコストカテゴリを含めることができます。</p> <p>また、[新規グループ]の名前を変更して、新しいグループを作成することもできます。</p> <p>コストカテゴリの追加先は、コストカテゴリグループのみです。</p>
<p>利用可能なコストカテゴリ</p>	<p>利用可能なコストカテゴリが表形式で表示されます。</p> <p>[利用可能なコストカテゴリ]でコストカテゴリ、[選択したコストカテゴリ]でグループを選択し、右矢印をクリックすると、コストカテゴリがグループに追加されます。</p>
<p>選択したコストカテゴリ</p>	<p>グループとコストカテゴリが表形式で表示されます。</p> <p>[利用可能なコストカテゴリ]でコストカテゴリ、[選択したコストカテゴリ]でグループを選択し、右矢印をクリックすると、コストカテゴリがグループに追加されます。</p>

<ボタン>


ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
保存	クリックして変更を保存します。
閉じる	クリックするとページを閉じます。
最終確定	予算を確定する場合にクリックします。

コストセンターの予算データ入力または完了マークの追加

コストセンターマネージャーは、コストセンターの予算データを入力し、入力完了した予算データに[完了済み]マークを付けます。

アクセス方法:

[予算のリスト]と[コストセンター]領域(ページ下部)で予算を選択し、[アクション]列のをクリックします。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

- ユーザーに割り当てられた役割と権限、および組織内でのユーザーの役割によっては、このページの一部の機能が使用できない場合があります。
- また、ライフサイクル中の1つのステップが正常に完了していない場合、その次のステップに進めない場合があります。たとえば、予算情報を入力しない限り、予算を最終確定することはできません。

● タスク


主なタスク: [「予算管理」\(88ページ\)](#)

本項では次のタスクについて説明します。

[「コストセンターの予算データの入力」\(103ページ\)](#)


[「コストセンター予算に完了のマークを付ける」\(104ページ\)](#)

コストセンターの予算データの入力

1. [予算のリスト]と[コストセンター]領域(ページ下部)で予算を選択し、編集するコストセンター予算の横にある[アクション]列のをクリックします。
2. [頻度]ドロップダウンリストで頻度を入力します。
3. 列に値を入力します。
4. [保存]をクリックします。

注: 予算データは、Microsoft Excel形式でエクスポートまたはインポートすることもできます。

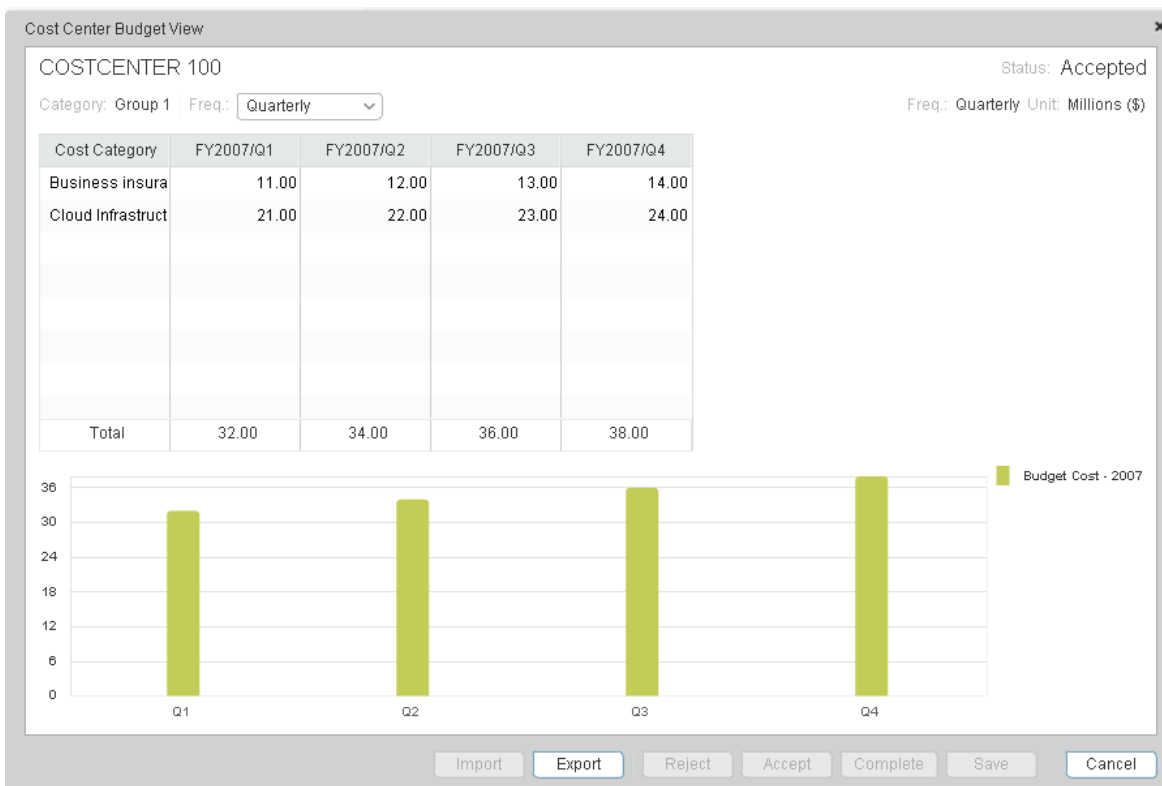
コストセンター予算に完了のマークを付ける

1. [予算のリスト]と[コストセンター]領域(ページ下部)で予算を選択し、編集するコストセンター予算の横にある[アクション]列のをクリックします。
2. [完了]をクリックします。

UIの説明

コストセンターの予算ビュー

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦]、[予算]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<p><コストセンター情報></p>	<p>この情報は、左上に表示されます。</p> <p><コストセンター名>: コストセンター予算の名前です。</p> <p>カテゴリ: コストセンター予算のカテゴリです。</p> <p>頻度: コストセンター予算の粒度を選択します。表内の予算の値を変更する際には、コストセンターの[頻度]フィールドと、右上にある[頻度]フィールドで指定されている予算の頻度と同じ値を指定する必要があります。また、これ以外のフィールド値を使用して、予算のビューを変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎月: コストセンターマネージャーは各月の予算額を入力できます。 • 毎四半期: コストセンターマネージャーは各四半期の予算額を入力できますが、月ごとの額は編集できません。 • 毎年: コストセンターマネージャーは各会計年度の予算額を入力できますが、月ごとまたは四半期ごとの額は編集できません。 • <表>: コストカテゴリグループごとに、次の内容が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ [コストカテゴリ]: コストカテゴリの名前。 ■ <列>: 各列は、タイムフレームの粒度に基づいて表示されます。列ごとに予算を入力します。表の最後の行には、すべてのカテゴリの予算を期間ごとに合計した値が表示されます。
<p><グラフ></p>	<p>コストセンター予算がタイムフレームごとに表示されます。</p>
<p><予算情報></p>	<p>この情報は、右上に表示されます。</p> <p>ステータス: コストセンター予算のステータス。[承認済み] または [拒否済み] のいずれかです。</p> <p>頻度: 予算で指定された粒度。可能な値: [毎月]、[毎四半期]、[毎年]。</p> <p>単位: 予算額の単位。次のいずれかです。[千] または [百万] を選択できます。</p>
<p>インポート</p>	<p>クリックして、インポートする予算 (Excel形式) を選択します。[保存] ボタンまたは [完了] ボタンをクリックしてから、Excel形式で予算をインポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インポートできるデータは、コストセンターと予算が同じもののみです。 • Excelファイル内のデータで変更可能なのは、コストカテゴリ表内の列のみです。これ以外のフィールドの値は変更しないでください。

UI要素	説明																																																																																																
<p>エクスポート</p>	<p>予算をExcelファイルにエクスポートします。次のダイアログボックスが開きます。</p> <div data-bbox="467 359 1060 730" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Export Budget Data ✕</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <p>Consolidated budget data was exported. Click the Save button to select location for download.</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> Save Cancel </div> </div> <p>[保存] をクリックし、ファイルのダウンロード先を選択します。既定のファイル名は、<予算名>_<コストセンターの予算名>.xlsです。このファイルの名前は変更できません。</p> <p>次に、ファイルの構造を示します。</p> <table border="1" data-bbox="467 936 1382 1444" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: left;">A1 fx Cost Center</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">A</th> <th style="width: 40%;">B</th> <th style="width: 15%;">C</th> <th style="width: 15%;">D</th> <th style="width: 25%;">E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Cost Center</td> <td colspan="3">COSTCENTER 100</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Budget Name</td> <td colspan="3">Budget 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Description</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Start Date</td> <td colspan="3">FY2007</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit of Measure</td> <td colspan="3">Millions</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Number of Years</td> <td colspan="3">1</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Work Mode</td> <td colspan="3">Quarterly</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Group 1 Categories</td> <td>FY2007/Q1</td> <td>FY2007/Q2</td> <td>FY2007/Q3</td> <td>FY2007/Q4</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Business insurance</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Cloud Infrastructure</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>Total</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>スプレッドシートでは、各コストカテゴリに対して各期間の適切な金額を、月ごと、4半期ごと、または年ごとに入力できます。</p> <p>予算スプレッドシートを編集する際には、以下のガイドラインに従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 行または列の追加や削除は行わない。 • ファイル先頭のサマリー情報は編集しない。 • 列見出しは編集しない。 • 各コストカテゴリの行の各期間に対応する額だけを編集する。 	A1 fx Cost Center					A	B	C	D	E	1	Cost Center	COSTCENTER 100			2	Budget Name	Budget 1			3	Description				4	Start Date	FY2007			5	Unit of Measure	Millions			6	Number of Years	1			7	Work Mode	Quarterly			8					9					10					11	Group 1 Categories	FY2007/Q1	FY2007/Q2	FY2007/Q3	FY2007/Q4	12	Business insurance	11	12	13	14	13	Cloud Infrastructure	21	22	23	24	14						15						16	Total	32	34	36	38
A1 fx Cost Center																																																																																																	
A	B	C	D	E																																																																																													
1	Cost Center	COSTCENTER 100																																																																																															
2	Budget Name	Budget 1																																																																																															
3	Description																																																																																																
4	Start Date	FY2007																																																																																															
5	Unit of Measure	Millions																																																																																															
6	Number of Years	1																																																																																															
7	Work Mode	Quarterly																																																																																															
8																																																																																																	
9																																																																																																	
10																																																																																																	
11	Group 1 Categories	FY2007/Q1	FY2007/Q2	FY2007/Q3	FY2007/Q4																																																																																												
12	Business insurance	11	12	13	14																																																																																												
13	Cloud Infrastructure	21	22	23	24																																																																																												
14																																																																																																	
15																																																																																																	
16	Total	32	34	36	38																																																																																												

UI要素	説明
	<p>スプレッドシートを保存して閉じます。</p> <p>編集したExcelファイルはインポートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インポートできるデータは、コストセンターと予算が同じもののみです。 • Excelファイル内のデータで変更可能なのは、コストカテゴリ表内の列のみです。これ以外のフィールドの値は変更しないでください。
拒否	<p>Budget Coordinatorは、このボタンをクリックするとコストセンター予算を拒否できます。統合予算のステータスが[拒否済み]に変更されます。</p>
承認	<p>Budget Coordinatorは、このボタンをクリックするとコストセンター予算を承認できます。統合予算のステータスが[承認済み]に変更されます。</p> <p>統合予算を発行するには、そこに含まれるコストセンター予算をすべて承認する必要があります。</p>
完了	<p>Budget Coordinatorは、このボタンをクリックするとコストセンター予算を[完了]としてマークできます。統合予算のステータスが[完了]に変更されます。</p> <p>統合予算を発行するには、そこに含まれるコストセンター予算をすべて承認する必要があります。</p>
保存	<p>クリックして変更を保存します。</p>
閉じる	<p>変更内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。</p>

統合予算

予算コーディネーターは、予算作成ワークフローのどの時点でも統合予算を表示できます。

アクセス方法:

予算のメインページのリストから予算を選択します。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

- ユーザーに割り当てられた役割と権限、および組織内でのユーザーの役割によっては、このページの一部の機能が使用できない場合があります。
- また、ライフサイクル中の1つのステップが正常に完了していない場合、その次のステップに進めない場合があります。たとえば、予算情報を入力しない限り、予算を最終確定することはできません。

● タスク

主なタスク: 「[予算管理](#)」(88ページ)

本項では次のタスクについて説明します。

「[完成したコストセンター予算の確認とコストセンターマネージャーへの通知](#)」(108ページ)


「[統合予算の発行](#)」(109ページ)

「[統合予算のコピー](#)」(109ページ)

「[統合予算の表示](#)」(109ページ)

完成したコストセンター予算の確認とコストセンターマネージャーへの通知

統合予算の管理権限がある場合、完成したコストセンター予算の確認、承認、拒否を実行できます。コストセンターマネージャーは、コストセンターに必要な金額を要求し、この要求を予算コーディネーターが承認または拒否します。

1. メインメニューバーで、[財務]>[予算管理]をクリックします。
2. レビューの対象となるコストセンター予算ごとに、次の手順を実行します。
 - a. 予算のメインページのリストから予算を選択します。
 - b. [アクション]列で、コストセンター予算の横にある [このコストセンターの予算データを確認します] アイコンをクリックします。[コストセンターの予算ビュー]ダイアログボックスが開きます。
 - c. コストセンター予算を承認するには、[承認]をクリックします。コストセンターマネージャーに変更を求めるには、[拒否]をクリックします。

- d. **[通知]** をクリックすると、予算のステータスが変更されたために予算編集が必要なことを、コストセンターマネージャーに通知します。コストセンターマネージャーが予算を編集して**[完了]** のマークを付けた後で、もう一度承認または拒否を行うことができます。


統合予算の発行

統合予算を承認した後、予算を発行すると、財務アナリストが配賦シナリオで予算を使用できるようになります。**統合予算の管理権限**がある場合、統合予算を発行できます。

1. メインメニューバーで、**[財務]** > **[予算管理]** をクリックします。
2. ページの下にある **[統合ビュー]** ボタンをクリックします。
[統合予算ビュー] 画面が開きます。
3. **[発行]** をクリックします。ページが閉じます。予算ステータスは **[発行済み]** に変わります。

統合予算のコピー

予算コーディネーターの権限を持っている場合は、統合予算を新規予算のテンプレートとしてコピーできます。

1. メインメニューバーで、**[財務]** > **[予算管理]** をクリックします。
2. コピーしたい予算を予算リストで選択し、 **[選択した予算のコピーを作成します]** ボタンをクリックします。**[予算の新規作成/編集]** ダイアログボックスが開き、コピー元の予算の詳細が表示されます。
3. 新規予算の名前を入力し、フィールドを適切に変更します。
4. **[保存]** または **[最終確定]** をクリックします。

統合予算の表示

統合予算の管理権限がある場合、予算作成ワークフローのどの時点でも統合予算を表示できます。財務アナリストまたはCIOの権限を持っている場合、予算コーディネーターが予算を承認または発行した後で、統合予算を表示できます。

1. メインメニューバーで、**[財務]** > **[予算]** をクリックします。
2. 予算リストから予算を選択し、**[統合]** ボタンをクリックします。

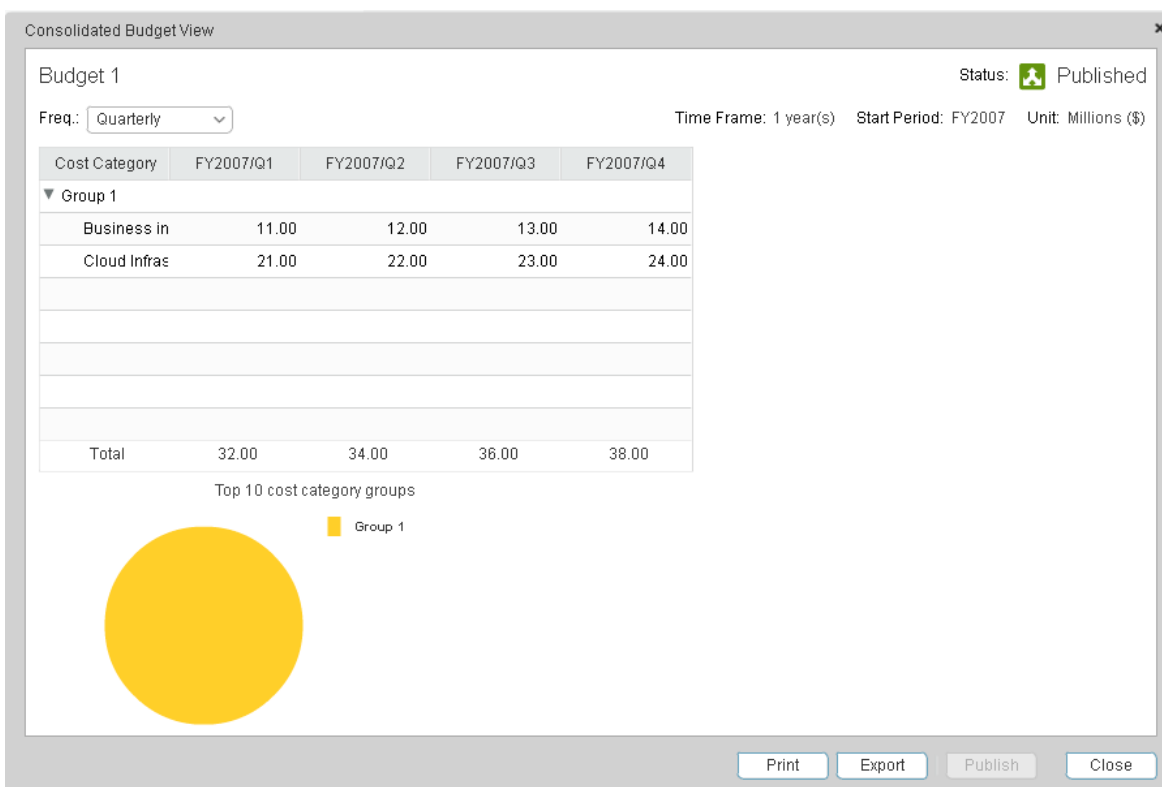
[統合予算ビュー] 画面が開きます。画面の左下にある円グラフでは、予算額が上位10のコストカテゴリグループについて、予算配分が表示されます。円グラフの扇形の上にマウスポインターを移動すると、コストカテゴリグループが割り当てられている予算の割合が表示されます。ページ上部の表には、予算内のすべてのコストセンターについて、各コストカテゴリに指定された額が表示されます。

UIの説明

[統合予算ビュー] ページ





[統合予算ビュー] ページでは、権限に応じて、統合予算を表示したり、統合予算の承認と発行を行ったりできます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』の[ユーザーと役割](#)を参照してください。

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦]、[予算]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<コストセンター名 >	統合予算の名前。

UI要素	説明
<p>ステータス</p>	<p>統合予算のステータス。</p> <p> ドラフト: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [保存] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 定義済み: [予算の新規作成/編集] ダイアログボックスで予算を作成して [最終確定] ボタンをクリックすると、このステータスになります。</p> <p> 完了済み: すべてのコストセンターマネージャーが担当のコストセンター予算のステータスを [完了済み] にし、そのコストセンターすべてを含む予算を予算コーディネーターが [承認済み] にすると、予算のステータスは [完了済み] になります。</p> <p> 発行済み: 予算コーディネーターが、ステータスが [完了済み] の予算で [統合ビュー] をクリックしてから [発行] をクリックすると、予算ステータスは [発行済み] に変わります。このステータスは変更できません。</p>
<p>頻度</p>	<p>予算を表示する粒度を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎月: コストセンターマネージャーは各月の予算額を入力できます。 ● 毎四半期: コストセンターマネージャーは各四半期の予算額を入力できますが、月ごとの額は編集できません。 ● 毎年: コストセンターマネージャーは各会計年度の予算額を入力できますが、月ごとまたは四半期ごとの額は編集できません。
<p>タイムフレーム</p>	<p>予算で指定されたタイムフレーム。1年、2年、3年のいずれかを指定できます。</p>
<p>開始期間</p>	<p>予算の期間が始まる会計年度です。</p>
<p><表></p>	<p>この表には、予算に含まれるすべてのコストセンターについて、各コストカテゴリで指定された金額が表示されます。</p> <p>グループ (フォルダーのアイコン) をクリックして、カテゴリのツリーを展開できます。</p> <p>編集可能なセルは、予算に対して定義されている間隔に対応するものだけです。</p> <p>たとえば、頻度が [毎年] の場合、年間合計を表示した列だけが編集可能です。2つの年の列の間には、4つの四半期の列と12の月の列があります。年の列は3つまでしか存在できず、これらの列だけが編集可能です。</p>
<p>上位10のコストカテゴリグループ</p>	<p>左側の円グラフには、予算額が最も大きい10個のカテゴリグループの予算配分が表示されます。</p>

UI要素	説明
<右側の円グラフ>	右側の円グラフには、選択したグループ内で予算額上位10のコストカテゴリが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 予算を定義するには、コストカテゴリグループを定義する必要があります。• 予算ステータスが[定義済み]になれるのは、少なくとも1つのコストカテゴリグループが予算に対して選択されている場合のみです。
単位	予算額の単位。[千]または[百万]を選択できます。
印刷	クリックするとダイアログボックスが開き、統合予算ビューの詳細な内容を印刷できます。
エクスポート	統合予算ビューの詳細データをエクスポートします。
閉じる	クリックするとダイアログボックスを閉じます。
発行	クリックすると予算が発行され、財務アナリストが配賦シナリオで予算を使用できるようになります。

コストエクスプローラー

コストの分析は、予算の作成と計画にとって不可欠です。コストエクスプローラーは、インタラクティブな複数ディメンションのコスト分析を行うツールであり、分析を簡単に切り替えることができます。

コストエクスプローラーでは以下の作業を実行できます。

- 表示するディメンションと測定を定義する。
- 同じシナリオの複数の構成を保存する。
- グラフの並び順を変更する。
- すべてのディメンションでフィルターをかける。
- 通貨でフィルターをかける。
- 構成リンクをほかのユーザーにメールで送信する。

アクセス方法:

[財務] タブをクリックし、[コストエクスプローラー] を選択します。

詳細情報

タスク

UIの説明

● 詳細情報

構成

コストエクスプローラーの構成には、シナリオのグラフ表示を作成するための設定が含まれます。シナリオに対して複数の構成を定義して、異なるビューを実現することができます。グラフ表示は容易に変更して追加の分析を提供できます。

[測定]

コストエクスプローラーでは、コスト測定を比較することにより、計画コストと実績コストの差異に関する情報を表示できます。コストエクスプローラーは、ユーザーがどの測定を比較できるかを検証します。

分析には以下の測定を含めることができます。

- 計画と実績の現在の合計。これはグラフに表示されている最新の値です。
- 計画と実績の累計。表示されているすべての期間の額を含みます。
- 差異の値。これは計画コストと実績コストの比較を示します。

- 実績値と累積値の差異の割合。
- 一部の測定は、ほかの測定と組み合わせることができません。

タスク

本項では次のタスクについて説明します。

- 「ユースケースシナリオ」(114ページ)
- 「構成の追加」(114ページ)
- 「シナリオ構成の編集」(115ページ)
- 「コストエクスプローラー」(113ページ)
- 「構成の表示と分析」(115ページ)
- 「グラフの並べ替え」(115ページ)
- 「構成へのフィルターの追加」(115ページ)
- 「コストエクスプローラーで配賦管理シナリオを開く」(116ページ)


ユースケースシナリオ

詳細については、『IT Executive Scorecardスタートアップガイド』の[使用例 - ITFM - コストエクスプローラーによる配賦シナリオの分析](#)を参照してください。

構成の追加

1. [財務] > [コストエクスプローラー] をクリックします。
2. [シナリオの選択] でシナリオを選択します。
3. [設定] タブで設定を行います。
詳細については、「[\[コストエクスプローラー\] ページ](#)」(116ページ)を参照してください。
4. [グラフの更新] をクリックして、構成変更の結果を表示します。


注: [グラフの更新] をクリックすると、構成の変更を反映することができます。

5.  をクリックして、設定を新しい構成として保存します。ダイアログボックスに名前を入力し、[保存] をクリックします。

シナリオ構成の編集

1. [財務] > [コストエクスプローラー] をクリックします。
2. [シナリオの選択] でシナリオを選択します。
3. フィールドを編集します。

詳細については、「[\[コストエクスプローラー\] ページ](#)」(116ページ)を参照してください。

4. [グラフの更新] をクリックして、構成変更の結果を表示します。
5.  をクリックして設定を保存します。

構成の表示と分析

1. [財務] > [コストエクスプローラー] をクリックします。
2. [シナリオの選択] でシナリオを選択します。
3. [グラフの更新] をクリックすると構成が表示され、分析が行われます。

グラフの並べ替え

1. [財務] > [コストエクスプローラー] をクリックします。
2. [シナリオの選択] ドロップダウンリストでシナリオを選択します。
3. [グラフのソート基準] となるビューをドロップダウンリストから選択します。これは、グラフを選択した順序で表示します。
4. [グラフの更新] をクリックして、並べ替えの結果を表示します。
5. 変更を保存します。

構成へのフィルター追加

1. [財務] > [コストエクスプローラー] をクリックします。
2. [シナリオの選択] でシナリオを選択します。
3. [構成] ドロップダウンリストで構成を選択します。
4. [フィルター] タブで、ドロップダウンリストからディメンションを選択し、値のチェックをオンまたはオフにします。

5. [グラフの更新] をクリックして、結果を表示します。
6. 変更を保存します。

コストエクスプローラーで配賦管理シナリオを開く

1. [財務] > [配賦管理] をクリックします。
2. [シナリオのリスト] でシナリオを選択します。ステータスが[完了済み] のシナリオを選択してください。
3. [コストエクスプローラーでテスト] をクリックします。

コンテキストに応じて [コストエクスプローラー] ページが開きます。シナリオの表示と分析が実行可能になります。

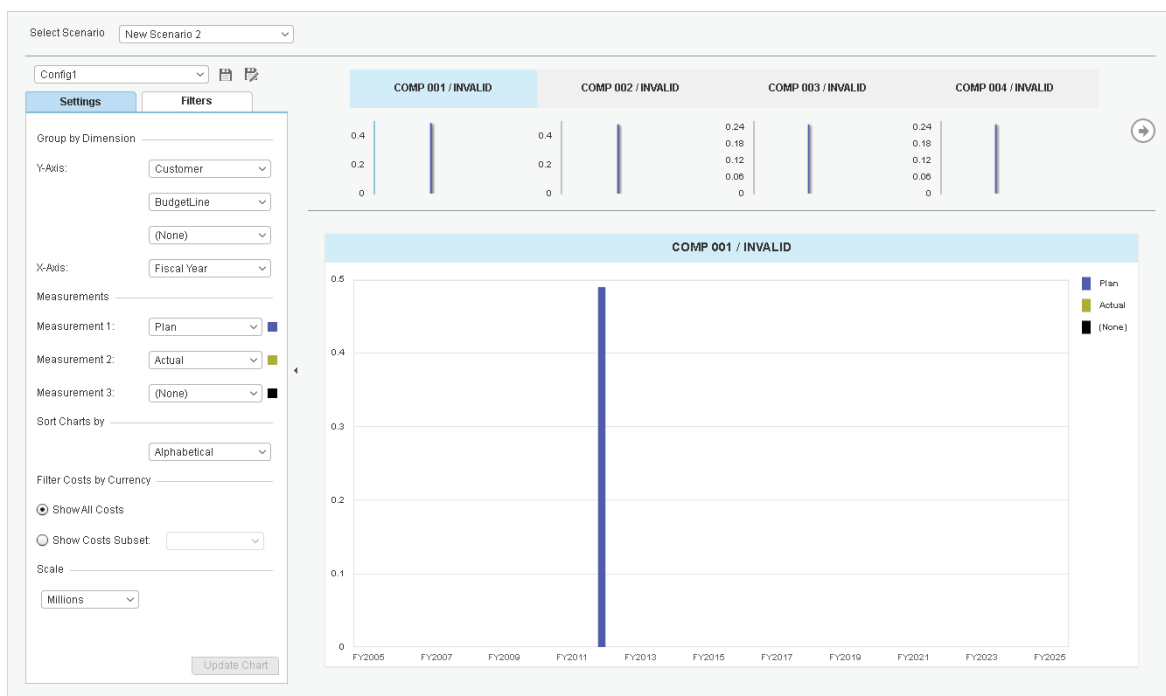
4. [配賦に戻る] をクリックすると、コンテキストに応じて [配賦管理] ページに戻ります。

UIの説明

[コストエクスプローラー] ページ

[コストエクスプローラー] ページでは、配賦結果をインタラクティブに表示してフィルターをかけることができます。結果は、計画コストと実績コストの差異を示すグラフで表示され、グラフビューも簡単に構成できます。

注: Executive Scorecardで、別のタブに移動した後 [財務] タブに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表示を更新するには、[配賦]、[予算]、[コストエクスプローラー] のいずれかのタブをクリックしてください。




<一番上の領域>


ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
シナリオの選択	分析して配賦の結果を表示するシナリオを選択します。 選択内容を変更すると、グラフが更新されます。 このドロップダウンリストは、[財務]> [コストエクスプローラー]をクリックしてコストエクスプローラーにアクセスすると表示されます。
配賦に戻る	[配賦管理] ページでコストエクスプローラーを開くと、このボタンが表示されます。コンテキスト内でこのボタンをクリックすると、[配賦管理] タブに戻ります。

<左ペイン>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<構成>	適切な構成を選択します。構成とは、選択したY軸、X軸、測定のセットを指します。
	保存: 変更を保存します。

	<p>名前を付けて保存: 別の名前で構成を保存します。次のダイアログボックスが開きます。構成の名前を入力し、[名前を付けて保存]をクリックします。</p> <div data-bbox="467 331 1052 827" style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">Save Configuration ×</p> <p style="text-align: center;">Insert name:</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 10px;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> Save Cancel </div> </div>
<p>グラフの更新</p>	<p>分析する構成を選択してこのボタンをクリックすると、グラフが表示されます。</p> <p>構成、通貨フィルター、並び順、フィルターを変更した後に[グラフの更新]ボタンをクリックすると、グラフが更新されます。</p> <p>[グラフの更新]をクリックすると、構成の変更を反映することができます。</p>

[設定] タブ

- **[ディメンションでグループ化]**

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
------	----

<p>Y軸</p>	<p>ディメンションを選択します。</p> <p>最大で3つのディメンションを選択できます。ディメンションはグループにまとめてグラフで表示されます。</p> <p>グループ化のオプションを使用すると、複数のグラフを表示できます。</p> <p>注: [財務] タブでは、既定のディメンションを使用して、配賦とコストを作成できます。また、ディメンションをFinancialManagementコンテキストに追加し、ディメンションを元に配賦とコストを作成することもできます。財務環境のニーズに合わせて、既存のディメンションの名前を変更することも可能です。これらの新しいディメンションまたは名前が変更されたディメンションは、このフィールドに表示されます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のIntegration with HP Project and Portfolio Management (PPM) and Impact on ITFMを参照してください。</p>
<p>X軸</p>	<p>ディメンションを選択します。既定は[会計月]です。</p> <p>注: [財務] タブでは、既定のディメンションを使用して、配賦とコストを作成できます。また、ディメンションをFinancialManagementコンテキストに追加し、ディメンションを元に配賦とコストを作成することもできます。財務環境のニーズに合わせて、既存のディメンションの名前を変更することも可能です。これらの新しいディメンションまたは名前が変更されたディメンションは、このフィールドに表示されます。詳細については、『IT Executive Scorecard管理者ガイド』のIntegration with HP Project and Portfolio Management (PPM) and Impact on ITFMを参照してください。</p>

• [測定]

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
------	----

測定 1/2/3	<p>ドロップダウンリストから、測定を3つまで選択します。</p> <p>既定の測定は、[計画]と[実績]です。</p> <p>測定は、[実績]、[計画]、[計画に対する差異]、[差異 (%)]、[実績 (累積)]、[計画 (累積)]、[差異 (累積)]、[差異 (%) (累積)] のいずれかです。</p> <p>それぞれの測定は、測定リストで指定された色でグラフに表示されます。</p> <p>一部の測定は、ほかの測定と組み合わせることができません。</p>
-----------------	---

• [グラフのソート基準]

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
並べ替えの基準	<p>ドロップダウンリストからビューを選択します。これは、グラフを選択した順序で表示します。</p> <p>[アルファベット順]、[実績 (累積)]、[計画 (累積)]、[差異 (累積)]、[実績 (最新期間)]、[計画 (最新期間)]、[差異 (最新期間)]、[差異 (%) (最新期間)]、[実績 (最大)]、[計画 (最大)]、[差異 (最大)]、[差異 (%) (最大)]、[差異 (%) (累積)]。</p> <p>すべてのグラフの並べ替えスコアが一致する場合、グラフはアルファベット順に並べられます。</p>

• [コストを通貨でフィルター]

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
すべてのコストを表示	<p>すべてのコストを表示します。</p> <p>これが既定値です。</p>
コストのサブセットを表示	<p>通貨を選択します。その通貨のコストのみが表示されます。</p> <p>選択した通貨のコストが存在しない場合、グラフには何も表示されません。</p>

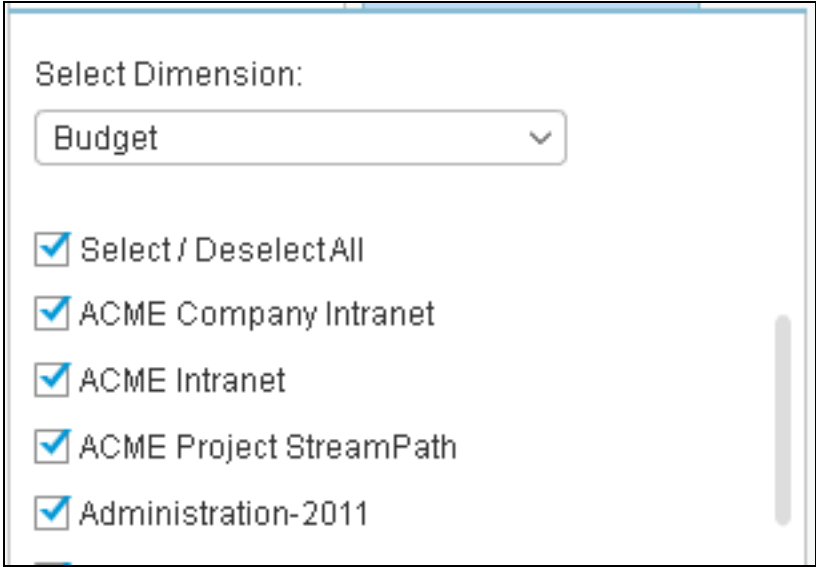
• [スケール]

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

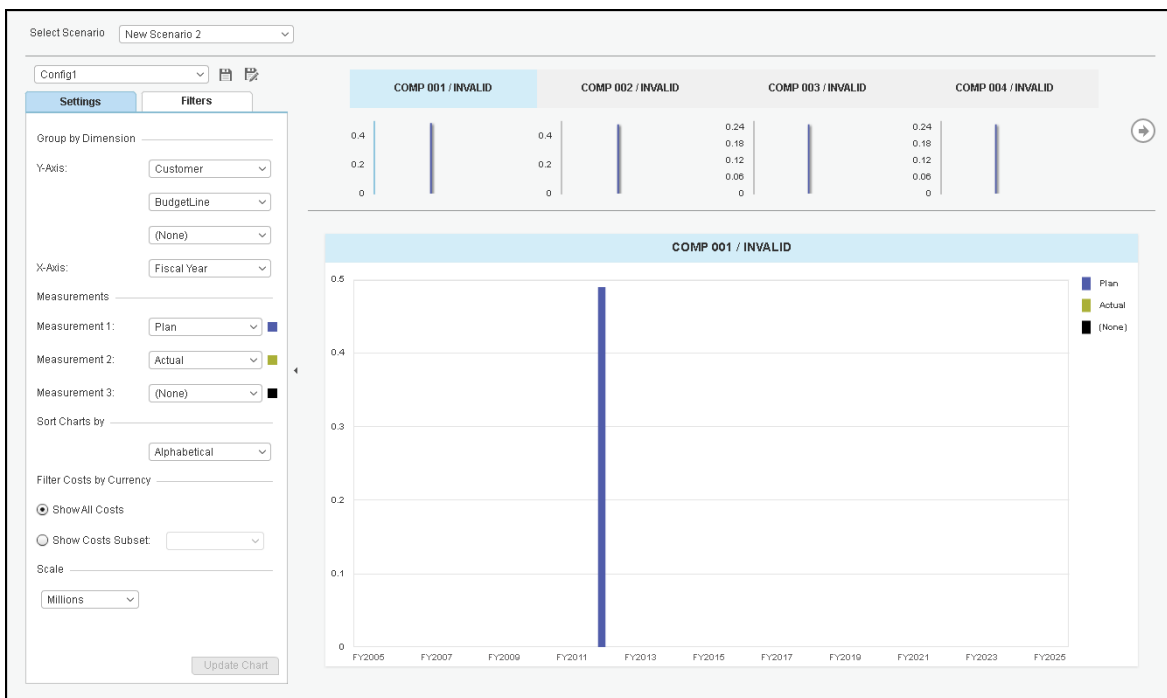
UI要素	説明
スケール	ドロップダウンリストから通貨のスケールを選択します。[千] または [百万] を選択できます。

[フィルター] タブ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

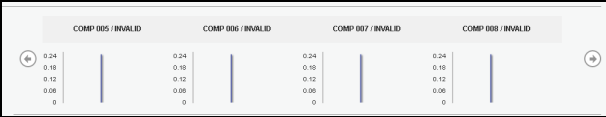
UI要素	説明
ディメンションの選択	<p>グラフで表示するディメンションを選択します。</p> <p>ディメンションを選択すると、その値が下に表示されます。グラフで表示する値を選択します。選択しない値は除外されます。</p> 

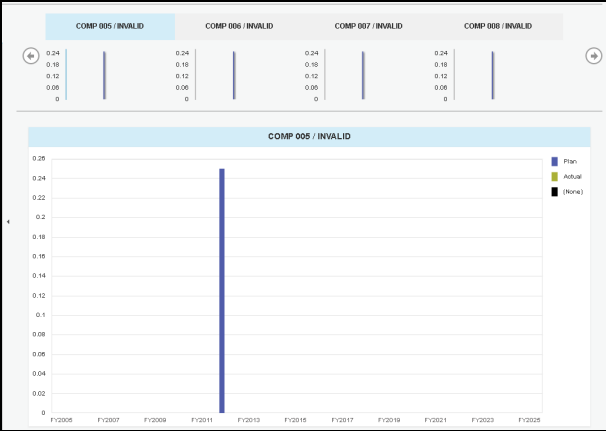
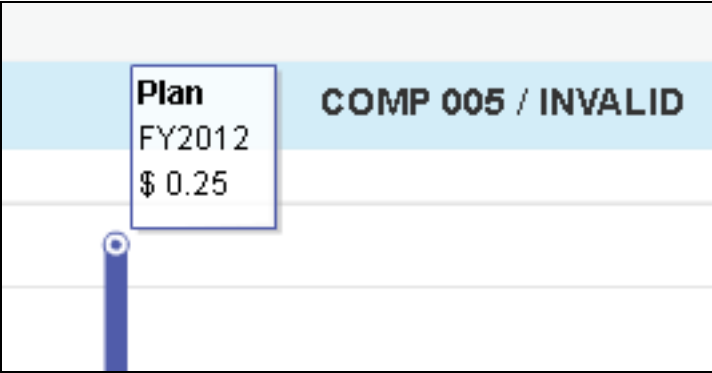
<右ペイン>



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付きで示されます)。

UI要素	説明
------	----

<p><サムネイルグラフのリスト></p>	<p>グラフの上部分には、サムネイルグラフがRolodexリストで表示されます。各グラフには、Y軸で選択した3つのディメンションについて、3番目のディメンションの各選択値、2番目のディメンションの各選択値、1番目のディメンションの各選択値の組み合わせごとにバーが表示されます。バーは、X軸で選択した項目の各値に対して選択した測定値を表します。</p> <p>左ペインを開いた場合、表示されるサムネイルは4つのみです。左ペインを閉じると、6つまでサムネイルを表示できます。</p> <p>たとえば、次のように選択したとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初のディメンションはCustomer。Customerの値はAとB。 2番目のディメンションはBudget Line。Budget Lineの値はAdmin Software/Q1、Admin Software/Q2、Admin Software/Q3、Admin Software/Q4。 X軸は [会計年度]。 測定は、[実績]と[計画]。 <p>一番上のグラフには、サムネイルのグラフが表示されます。グラフには、実績値と計画値が会計年度ごとに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算明細: Admin Software/Q1 - 顧客: A 予算明細: Admin Software/Q2 - 顧客: A 予算明細: Admin Software/Q3 - 顧客: A 予算明細: Admin Software/Q4 - 顧客: A 予算明細: Admin Software/Q4 - 顧客: B 予算明細: Admin Software/Q1 - 顧客: B 予算明細: Admin Software/Q2 - 顧客: B 予算明細: Admin Software/Q3 - 顧客: B
<p>➡➡</p>	<p>矢印でサムネイルをスクロールできます。</p> <p>左端のサムネイルまで達すると、左矢印は消えます。右端のサムネイルに達すると、右矢印は消えます。</p> 

<p><下のグラフ></p>	<p>サムネイルをクリックすると、グラフが拡大されて<下のグラフ>領域に表示されます。</p>
<p><凡例></p>	<p>構成で選択した測定と、その表示色が示されます。</p>
<p><メイングラフ></p>	<p><サムネイルグラフのリスト>で選択したグラフを拡大したグラフが表示されます。選択したサムネイルはハイライトされます(左下を参照)。</p>  <p>バーの上にマウスポインターを置くと、X軸とY軸の値がツールヒントに表示されます。</p>  <p>選択した構成で表示されるバーの数が多すぎてわかりにくい場合には、バーを省略することができます。</p>

組織の財務パフォーマンスの表示

次のダッシュボードページに、組織の財務パフォーマンスを表示できます。

- ダッシュボードの[コスト配分の概要] ページは、組織のCIO、IT財務マネージャー、IT財務アナリスト、ITマネージャー向けのページであり、ビジネスサービス、組織、顧客、プログラムの状態を、財務レコードの計画 (PoR) の視点から表示します。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost Distribution Overview Page](#)を参照してください。
- ダッシュボードの[財務の概要] ページは、組織のCIO、IT財務マネージャー、IT財務アナリスト、ITマネージャー向けのページであり、ビジネスサービス、組織、顧客、プログラムの状態を、財務レコードの計画 (PoR) の視点から表示します。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Financial Summary Page](#)を参照してください。
- Bill of IT Web Intelligence (Webi) レポートでは、選択した会計年度について、選択した顧客が利用した上位10のビジネスサービスのコストを表示します。上位10のビジネスサービスは、コストが最も高いビジネスサービスに対応します。レポートのデータを更新すると、顧客名と会計年度の入力を求められます。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Bill of IT](#)を参照してください。
- Cost of Service Cost Categories Web Intelligence (Webi) レポートでは、コストカテゴリごとのコストのブレイクダウンを、選択した会計年度、選択したビジネスサービスについて表示します。レポートを選択すると、ビジネスサービスおよび会計年度の入力を求められます。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service Cost Categories Page](#)を参照してください。
- Cost of Service CI Types Web Intelligence (Webi) レポートでは、CIタイプごとのコストのブレイクダウンを、選択した会計年度、ビジネスサービス、コストカテゴリ別に表示します。レポートを選択すると、ビジネスサービス、会計年度、およびコストカテゴリの入力を求められます。コストカテゴリとしては、ハードウェア、ソフトウェア、およびライセンスがあります。たとえば、ハードウェアコストカテゴリには、コンピューター、プリンター、サーバーなどのさまざまなCIタイプが含まれる場合があります。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service CI Types Page](#)を参照してください。
- Cost of Service CI Type Models Web Intelligence (Webi) レポートでは、会計年度、ビジネスサービス、コストカテゴリ、モデルごとのコストのブレイクダウンを、選択した会計年度、ビジネスサービス、コストカテゴリ、CIタイプ別に表示します。レポートを選択すると、ビジネスサービス、会計年度、コストカテゴリ、およびCIタイプの入力を求められます。コストカテゴリとしては、ハードウェア、ソフトウェア、およびライセンスがあります。たとえば、ハードウェアコストカテゴリには、コンピューター、プリンター、サーバーなどのさまざまなCIタイプが含まれる場合があります。各CIタイプには、いくつかのモデルが含まれます。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Cost of Service CI Types Models Page](#)を参照してください。
- Multi-Dimensional Cost Comparison Analysis Web Intelligence (Webi) レポートでは、選択した顧客/ビジネスサービス/組織/サプライヤーに関する以下の情報が、選択した会計年度の四半期ごとにグラフと表で表示されます。選択した期間中で差異が最も大きい10の顧客/ビジネスサービス/組織/サプライヤーのそれぞれの計画コストと実績コストの差異の額。選択した期間中で差異が最も大きい10の顧客/ビジネスサービス/組織/サプライヤーのそれぞれの計画コストと実績コストの差異の割合

(%)。選択した期間中で実績コストが最も大きい10の顧客/ビジネスサービス/組織/サプライヤーのそれぞれの実績コスト。選択した期間中で計画コストが最も大きい10の顧客/ビジネスサービス/組織/サプライヤーのそれぞれの計画コスト。詳細については、『IT Executive Scorecard Reports Reference Guide』の[Multi-Dimensional Cost Comparison Analysis Report](#)を参照してください。

タスク

ユースケースシナリオ

詳細については、『IT Executive Scorecardスタートアップガイド』の[使用例 - ITFM - 配賦に基づく財務データの分析 \(ダッシュボード\)](#)を参照してください。

ドキュメントフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on IT Executive Scorecard 9.50

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、SW-Doc@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

